

タイトル	芸術文化主導の自治体政策（2）： 自信の窓 が開くときを求めて
著者	中井，征夫； NAKAI， Masao
引用	北海学園大学法学研究， 54(3)： 212-107
発行日	2018-12-30

論 説

芸術文化主導の自治体政策 (2)
—〈自信の窓〉が開くときを求めて—

中 井 征 夫

はしがき

本稿は、急激な人口減少傾向にある北海道内の市町村に対して、打開策の一助になればとの考えから取りまとめたものである。

最近の激しい人口減少は、「致命的な生存の問題」とも呼ばれ、ほとんどの町や都市の深刻な問題となっている。

生存団体として選ばれるためには、それぞれの市や町、中央政府と地方政府の役割だけでなく、民間の非営利と営利事業体の役割にも注意を払う必要がある。

本論文は、全体としてキングドンのいわゆるウインドウモデルを基礎とした小島廣光の改訂モデルに「自信の窓」を追加して再設計した上でその名称を改訂版協働の窓モデルと変更している。

ここでは、主に写真によるまちづくりの東川町、美術館によるまちづくりの美咲市、演劇によるまちづくりの富良野市の三事例について述べたものである。

具体的には、芸術文化政策が成果をあげた場合協働の参加者等は大いなる自信を得ることがあるとした上で、次の2つの事柄を確認しようとしている。(1)芸術文化政策がどのような過程で成功したのか、(2)自信によって新たな政策を創出するという好循環となっているか、である。特に(2)を重要視するが、それは、他の自治体におけるなんらかの方策の参考に寄与するものと考えからである。

なお、自信の窓が開く条件として、外部人材、経済性、協働性そして市民の支持という4条件を設定した。本稿が、例えば人口が小規模な自治体であろうとも、人を呼び込むなどで元気になる契機となることを大いに期待する。

目次

はしがき

第3章 美術館のまち美唄の戦略的協働

- 第1節 前史(第1期)
- 第2節 協働形成期(第2期)
- 第3節 協働実現期(第3期)
- 第4節 協働展開期(第4期)
- 第5節 年代記分析の説明
 - 1 参加者と協働の場
 - 2 問題の流れ
 - 3 解決策の流れ
 - 4 組織のやる気の流れ
 - 5 活動の流れ
 - 6 4つのパッケージ

第4章 演劇のまち富良野の戦略的協働

- 第1節 前史(第1期)
- 第2節 協働形成期(第2期)
- 第3節 協働実現期(第3期)
- 第4節 協働展開期(第4期)
- 第5節 年代記分析の説明
 - 1 参加者と協働の場
 - 2 問題の流れ
 - 3 解決策の流れ
 - 4 組織のやる気の流れ
 - 5 活動の流れ
 - 6 4つのパッケージ

第5章 自信の窓

- 第1節 自信の窓の概要
- 第2節 写真のまち東川
 - 1 君の椅子
 - 2 水道普及率ゼロのまちづくり
 - 3 東川米
 - 4 行政サービスの事例
 - 5 「自信の窓」通過候補
- 第3節 美術館のまち美唄
 - 1 利雪のまちづくり
 - 2 行政サービスの事例
 - 3 その他
- 第4節 演劇のまち富良野
 - 1 フラノマルシェ
 - 2 行政サービスの事例

終章 本研究の結論と残された課題

参考文献等

第3章 美術館のまち美唄^{びばい}の戦略的協働

北海道美唄市は、開基90年・市制施行30周年にあたる1980年を見すえ、4年前の1976年にイタリアを拠点に活動する美唄市出身の彫刻家安田侃に記念碑の制作を依頼している。このため彼は、故郷初作品となる記念碑の構想を練るためイタリアから数度里帰りし、1980年に美唄市我路ファミリー公園に大理石の「炭山の碑」を完成させている。

一方、彼がこれまでに国内へ納めた作品は、企業の支援を得て北海道札幌郡広島町（現北広島市）の中央公民館の1975年「飛翔^{ひしょう}」（北海2.7.3）と、緑葉公園に1979年「新生」（広島町広報82.9.15、北海2.7.31）との二作品である。

なお、「炭山の碑」設置の経緯については、次の事項があげられる。

美唄市の人口は、1915年の三菱美唄鉱や1928年以降の三井鉱等の閉鉱により、54年に約91,000人を擁する炭都であった。しかしながら、国のエネルギー政策の転換や炭鉱のガス爆発事故により多くの犠牲者を出したこと等から、1963年三井石炭鉱業・美唄鉱の閉山、「1967年三菱鉱業・茶志内鉱、1972年三菱大夕張炭鉱・美唄鉱、1973年三美鉱業・南三美鉱等（と次々に）閉山」（空知総合振興局2015：49-51）している。閉山後、市は炭住街など跡形もなくなる炭鉱の面影を残す「記憶と、人々の思い等」（久米2014-98）を形として表すために、記念碑制作を安田に依頼している。

安田は、職を求めて散り散りとなった人々、「地中に眠る、死者の魂を、その地中の闇から吸い上げて天に放ち、家族らの元に返す」（久米2014-99）という思いを込めて、3年もの歳月をかけて作品を制作している。なお、この「炭山の碑」には、次の碑文が刻されている。「美唄の炭坑は閉じ、多くの坑夫達は散りぢりに山を去った。石炭を掘り、盆踊りにぎわいも楽しくそれぞれに忘れ得ない生活のなりわいがあった。時代は過ぎ去り、人々は役割を終えて、もう誰もいない、ただ、静かに地底に眠り歴史を話しかける炭山だけが生きている」（北海道新聞社2002-118）。なお、大量の大理石の調達では、イタリアのジョルジョ親方の好意が伺われる。

安田は、1996年8月に英国マンチェスターのブリッジウオーターホールに高さ1.5m、長さ約3.65m、カララ大理石製のタッチストーンを展示しており、「その際には、エリザベス女王が除幕」（Manchester

Evening News 96.8.5) 式典にご臨席されており、「女王に謁見し解説している」(北海 1.3.28-夕刊)。

天皇皇后両陛下は、2003年7月に当美術館を行幸啓されており、その際作家はご案内役を北海道より依頼され努めている。

第1節 前史 (第1期)

市民有志の会発足まで (～1998年12月まで)

1 市民 (作家)

後に、「安田侃彫刻美術館アルテピアッツァ美唄」となる「栄小学校」の児童数は、炭鉱最盛期の1,250人からわずかに「62人」(久米 2014-143)に激減し、その後1981年に「閉校」(北海 13.4.28)している。

なお、更科源蔵作詞による栄小学校校歌の二番は、「山底深く 埋もる火と 心に眠る 地の泉 深く探りて 掘り進み 明るく伸びる 栄小」(山内栄治作曲 2004-11)とまさに炭住街の学校を象徴している歌詞の内容であった。一方、栄幼稚園は、1970年に校舎の1階に併設され現在も存続している。なお、安田がこの小学校跡地を利用することとなったのは、先の炭山の碑の「設置の際に基礎設計などを担当していた市建設課長の堂田賢治から彫刻の場として使ってみないかとの提案を受ける」(久米 2014-143)とともに、炭住街の盛衰を受け止め、人々の営みや炭鉱の活気を記憶として持ち続けていきたいとの思いがあったからである。

時を同じくする1986年に安田は、ローマから「トスカナ北西部の大理石の産地ピエトラサンタにある築200年」(安田 2014)の農家跡をアトリエに改築し転居している。

安田は、1983年洞爺湖畔に「ゆかりの碑」(久米 (2014-102) と、1984年肺結核で倒れた教職員の慰霊に「回生」(久米 2014-103)を、さらに1987年になって「意心帰」を設置しており、「意心帰」などの「彫刻と景観(洞爺湖や中島)とのフォルムは実に美しくマッチしている。……ただ残念なことに「回生」の背後にその後遊覧船の発着場が建設されてしまい……空間が大きく弱められた」(佐藤 1990-140)という芸術作品や景観を生かすという配慮が不足していたようである。

市民とのかかわりのある大きな出来事としては、1998年に旧栄小学校改修のため美唄等の市民有志を中心とした「アルテピアッツァ友の会」

(北海 98.5.23) が発足し、芸術活動の支援として大きな役割を果たしている。

なお、指定管理者の「NPO 法人アルテピアッツァびばい」と施設の「安田侃彫刻美術館アルテピアッツァ美唄」との混同を避けるため、条例等で定めがある場合を除き前者を NPO 法人びばいに、後者を彫刻美術館と表記する。ちなみに、アルテピアッツァ (Arte Piazza) とは、「芸術広場」の意という。

この彫刻美術館が開設された背景には美唄市を始め、作家の「誰もが気軽に立ち寄れる空間を築き後世に伝えたい」(安田 2014) との思いや、1975 年頃から始まった地元の開業医や市の若手職員そして市域内外市民の熱意があったからである

2 行政 (美唄市)

美唄市は、空知地方のほぼ中央部に位置し、国道 12 号線、国鉄函館本線、「北海幹線用水路」(美土里ネットほっかい 2008) を挟んで西部は、「石狩泥炭地の美唄原野」(松下 1985-71) であり、ラムサール条約登録湿地の宮島沼 (41 ha) などがみらる平坦な地形である。このように泥炭地の土壌地帯ではあるが、索道客土¹等や基盤整備事業等により道内有数の穀倉地帯として変貌を遂げている。

一方、東部は、夕張山地に続く山岳地帯でかつては産炭地として繁栄していたが、先述の通り国のエネルギー政策の転換等に伴い各炭鉱とも閉山となった。

1979 年に樹立された炭鉱跡地再開発計画では、栄小学校跡地再利用等について検討を開始している。その後、開基百年と市制施行四十年記念式典を 1990 年 9 月に挙行するとともに、翌年から旧栄小学校体育館の改修工事を、国土庁の平成三年度ふるさと C & C² モデル事業の指定を受け着手している。そして、芸術文化交流施設彫刻美術館の設立根拠となる「アルテピアッツァ美唄条例」は、1992 年 3 月に制定され、「自治省の若者定住促進緊急プロジェクトの指定を受け」(彩草 2005-242)、旧栄小学校校舎 (北海 13.9.14) の整備に取り掛かっている。

¹ 索道(さくどう)客土とは、泥炭土壌の改良を目的に、国道や国鉄(当時)の鉄路そして農業用水路を跨いで土を運び入れる必要性からロープウェイを利用した。

² C & C 事業は、過疎地域の空き家等の有効活用で交流の場に活用する事業。

1992年には、「改修された旧体育館の交流スペースやアートスペースに加え、野外スペースの整備や「無何有(むかう)」、「回生」などの野外常設展示を終え7月にオープン」(北海13.4.28)している。芸術広場での演奏会に際しては、ジャズシンガー、ピアニスト、サクソ奏者、チェリスト、ジャズピアニスト、そして二人の詩人(大岡信、谷川俊太郎)も駆けつけている。

「彫刻美術館」の第一期全体整備基本計画は、1993年に策定するとともに、レクチャー棟、野外アプローチ等を整備後、「真無(まむ)」や「吹雪」など5作品を展示している。

1996年には、一般駐車場とトリフォリオ(trifoglio, cloverの意味)広場や、「水の広場整備」(北海96.11.14)で「50トンもの大理石」(北海94.10.24-夕刊)のステージ(縦10m×横20m)、その上に「天モク」を設置しているが、「安田はピエトラサンタの石工職人ジョルジョらとともに1994年から取り組んだものである」(北海94.12.15)。なお、「天モク」は、天と地を繋ぐ意味が込められているとされるが、「天聖」と「天モク」について、美術評論家等の解説書の一部を参考までに掲載する。「天聖・天モクは一見対称性を持ち計算された幾何学的な形であるが、まず粗削りの表面が完璧な対称性を崩している。「天聖」は空間を大きく四角に切り込み、「天モク」は地との接点に僅かな隙間を持つ、その空間が、あたかも相対性理論で説明される湾曲した時空を生み出し、そこから遥かに広がる宇宙の鼓動が聞こえてくるようだ」(Moretti 2008-63)。さらに、彫刻美術館の7ha(7万m²)に及ぶ構内に入ると、「取り巻く空間全体の中心に丘の上の天聖と、それに対峙する天モク、そこから足元に向かって流れてくる水路がつながる。天空から丘に降りてくる自然の精霊の「気」は、「天聖」の枠を抜け、天モクの下のおわずかな隙間を通り、水路をまっすぐに掠め、少しずれてある地上の「地人」に伝えられる。この自然の気流を空間の軸に送り込む魂の軌道によってアルテピアッツァの空間全体の中核が創られている」(久米2014-149)と論評されるなど、その神秘的なたたずまいへの言及は枚挙にいとまがない。

美術館のまち年代記

表 3-1 年表 市民有志の会発足までの協働前史

(第1期、～1998年)

年	月	市民	行政	企業その他
1869	8	(注記) 紙面の都合で主語を記載しない場合は、主に作家安田侃に関わる事柄である。	蝦夷地から北海道に改称	アメリカのお雇い外国人・地質学者ライマンらの調査隊はビバオイで石炭を発見する。 Benjamin Smith Lyman (～1875年)
88			北海道庁の本庁舎落成	上川道路・現国道十二号線の美唄・滝川間は、日本一長い直線道路が着工する。29.2km 完成は、1890年。
90	6		沼貝村設置	・第一回衆議院議員総選挙
91	6		屯田兵入植(1894年～400戸)	・日本鉄道上野―青森間開通
1915	4			三菱美唄炭鉱・開鉱
1919			北海道農事試験場・美唄泥炭地試験場	
24				北海幹線用水路・赤平～南幌着工。竣工は、1928年。
25	6		町制施行・沼貝町	・東京六大学野球開始
26	6		美唄町に改称	・十勝岳大噴火(5月)
28	8			三井美唄炭鉱・開鉱
29	4			・北海幹線用水路完成
41	3		太平洋戦争開戦	三菱美唄炭鉱・爆発事故
44	5			三菱美唄炭鉱・爆発事故
45	1	美唄町で出生。	ポツダム宣言受諾	・ソ連軍が北方領土を占領
47	5			・日本国憲法施行
49	4	栄小学校の児童は、主として隣接する三菱美唄炭鉱従業員の子弟である。	栄小学校が、開校	・湯川秀樹ノーベル賞受賞
50	4		市制施行・美唄市警察予備隊創設(*)	・朝鮮戦争開戦～53年 ・北海道開発庁設置～2001年国交省の北海道局に再編
	8			

芸術文化主導の自治体政策 (2)

年	月	市民	行政	企業その他
52	10		保安隊に改組（＊）	
53		第一回 美唄雪まつり開催	第一回 市民文化祭開催	
54	7		自衛隊となる（＊）	・洞爺丸転覆
55				泥炭地の土壌改良は、索道客土で行う。峰延三号溜池の採土場からは、縄文時代晩期の土器が出土する。
56	4		人口 92,150 人、17,139 戸	・売春防止法が施行
63	4	北海道教育大学岩見沢分校の美術・彫塑科・彫刻を専攻。	翌 64 年市長・沢田孝夫が就任	・ケネディ大統領暗殺事件 三井美唄・三井石炭鉱業閉山 （株）美唄ガス設立
65	10		東明工業団地造成	・日韓基本条約締結（6月）。
66		「第八回学生美術展全道展」 「裸婦立像」で文部大臣賞。	美唄川の氾濫で東明の家屋が浸水（8月）	・日本の総人口一億人を突破 ・中国文化大革命～76年迄
67		第 22 回全道展の「トルソ」で全道展会友に推薦される。		三菱鉱業（株）茶志内閉山
		東京藝術大学大学院彫刻科修士課程へ入学する。		・初の建国記念日 ・恵庭事件無罪判決
68				美唄炭鉱ガス爆発事故 ・小笠原諸島の日本復帰
69		第 24 回全道展の会友賞受賞。 東京藝術大学大学院修了。		・日本の GNP 世界第二に
70		伊政府招聘留学生として渡伊しローマ・アカデミア美術学校でペリクレ・ファッツィーニに師事する。	栄小学校に幼稚園を併設する	
71		ローマ・アカデミア・デッサン展等で受賞する。		・イタイイタイ病原告側勝訴 札幌市営地下鉄と地下街開業

年	月	市民	行政	企業その他
72		ヴァチカン市国サンピエトロ大聖堂では、ミケランジェロ制作のピエタが壊された。 普段関わりを持たない市民が白い花で埋め尽くしていた。		<ul style="list-style-type: none"> ・札幌五輪開催 ・沖縄返還（5月） 三菱大欠炭鉱(株)美唄が閉山
		石職人のクアーデルニ親方を紹介され、午後に親方のもとに通う。		
73		ギャラリー 88、ローマで個展を開催。「生誕」シリーズ等出品しファッツィーニに認められる。		三美鉱業(株)南三美閉山（5月） ・第一次石油危機
74		クアーデルニ親方が他界。ピエトラサンタに転居する。 後に石工職人ジョルジョ・アンジェリ親方の工房で制作を始める。(親方は、イサム・ノグチの大理石作品に永年関与)		<ul style="list-style-type: none"> ・気象庁アメダス運用開始
75	9	一時帰国。渡伊以降も伊日に数々の作品を出品する。	市役所庁舎が、竣工する。	三島富士エースゴルフクラブは、「対話」を設置する。 (参考) 1971年に山浦砂利工業の採石場では、 <i>Bison</i> の化石が発掘される。
		美唄の病院長や市の職員ら市民は、安田侃作品の応援的な役割を果たす。	札幌郡広島町は、山浦砂利工業の寄贈で「飛翔」を設置。 国設スキー場開設	
76		ローマに戻る	美唄市は、開基九十年・市制三十年の節目、炭鉱の記憶等のため、安田侃に記念碑の制作を依頼する。 ※	<ul style="list-style-type: none"> ・北海道庁爆破事件 ・ロッキード事件 ・新自由クラブ結成
	美唄経済センターで個展を開催する。			
77		この年、ジョルジョの工房でイサム・ノグチと出会う。	我路ファミリー公園開園	<ul style="list-style-type: none"> ・有珠山が噴火・泥流被害 空知工業団地事業開始
78	6	第33回全道展（道立近代美術館）で会員に推挙される。	陸上自衛隊美唄駐屯地開設（3月）	
		三島富士エースゴルフクラブは、「棒」を設置する。		

芸術文化主導の自治体政策 (2)

年	月	市民	行政	企業その他
79	10	「新生」Rebirth が、広島町の緑葉公園に設置される。(台座 5m、彫刻 2m の高さ)	広島町(穴田輝行町長)は、旭ダウ(株)より作品を受贈する。	現・ダウ化工札幌は、工場設立十周年記念で作品を寄贈する。
			美咲市は、炭鉱跡地再開発計画を樹立する(栄小跡地等)。	・第二次石油危機
80	9	ゆかりの碑の制作を依頼され洞爺湖畔の現地を訪問する。	開基 90 年・市制施行三十年記念式典を挙げる。	・北陸などで豪雪、翌三月迄
			美咲市我路ファミリー公園に、故郷初作品の「炭山の碑」が設置される。 ※	・王貞治本塁打 868 号
			美咲市長に獣医の滝正が就任する(1996 年まで)。	
			道立近代美術館に「生誕」が収蔵される。	
81	3	ゆかりの碑の制作を始める。	栄小学校が、閉校する。(最大時 1,250 人が 62 人に)	・北炭夕張炭鉱ガス突出事故 ・石狩川中流域で水害が発生
	10	ヴァチカン宮殿非公開の謁見の間で、恩師 ファッツィーニ彫刻のキリストの「復活」を再拝見する。	美咲川と産化美咲川の合流地点の元村橋北部付近で氾濫。 台風 12 号、15 号による出水	北海道の五六水害。
82			道立近代美術館に「対話」が収蔵される。(4 月) 美咲ダムが完成する。 奈井江町本町公園に「吹雪」が設置される。	・東北新幹線盛岡駅まで開業
83	11	「ゆかりの碑」を虻田町(現洞爺湖町)の道立教員保養所跡地に設置する。		・大韓航空機墜落事件発生
84	11	洞爺湖畔に肺結核で死亡した道立教職員の慰霊に「回生」を設置(現洞爺湖町)する。	道立近代美術館に「無何有」(ブロンズ)が収蔵される。	空中核工業団地分譲開始 ・日経平均株価一万円大台に
85	10	東京上田ウエアハウスの彫刻展で「天聖と天モク」を出品	「炭山の碑」の基礎設計を担った市建設課長の堂田賢治は作家に旧栄小の利用を提案。	・青函トンネル本坑が貫通
		安田作品を後世に伝えたいと市民有志が奮闘する。 ※	市は、九月に核兵器廃絶平和都市を宣言する。	

年 月	市 民	行 政	企業その他
86	市民有志が韓国天安の望郷の丘に静江廟を建立する。		・伊豆大島三原山噴火(11月)
	3 ビエトラサンタで築二百年の農家跡をアトリエに改築し転居する。		軽井沢の現(財)セゾン現代美術館で「天聖、天モク、地人」が永久保存される(堤清二)。
87	9 有珠山噴火の泥流で、犠牲となった子らの慰霊碑として洞爺湖畔に「意心婦」を設置。	道央道美唄インター開業	・国鉄分割民営化
88	12 虻田町に洞爺湖彫刻公園設置準備委員会が発足する。	旧栄小体育館に安田侃作品を収蔵する。	・青函トンネル開業 ・札幌市営地下鉄東豊線開業
89			旭川日赤病院は「無題」設置
			・北京で天安門事件が勃発
90	ミラノ彫刻の道展で世界三十人の一人として出品する。	札幌芸術の森野外美術館は、「間」(げん)を設置する。	・ミラノでワールドカップが開催される。 ・大学入試センター試験開始
		開基百年・市制施行四十年記念式典を挙げる(9月)。旧炭鉱町の整備計画を樹立。 ※	・東独が西独に編入し統一 ・イラクがクウェートに侵攻し湾岸戦争に発展する。 岩内町荒井記念館(現荒井美術館)に「天光散」Dragonが設置される。
91	4 ミラノ「彫刻の道」91展は、安田の個展。ヴィットリオ・エマヌエーレ二世通りに12点。そのうち「掃門」は、同市に寄贈されパルコ・ソラーリに永久設置される。	美唄市は旧栄小学校体育館の改修を着工した。 ※	「棒」が、富士エースゴルフクラブから、沼津市淡島ホテルに移設される。
		平成3年度国土庁「ふるさとC&Cモデル事業」を指定。	恵佑会札幌病院は「天秘」を設置する。 ・旧ソビエト連邦が消滅
92	3 平成3年度第42回芸術選奨文部大臣新人賞を受賞する。	アルテピアッツァ美唄条例が制定される。 ※	・暴対法施行 ・PKO協力法成立

芸術文化主導の自治体政策 (2)

年	月	市民	行政	企業その他
92	5	美唄市民栄誉賞を受賞する。	旧栄小学校校舎や校庭等は、整備後芸術文化交流施設の彫刻美術館として開設される。	横浜市の長延寺は「帰門、無何有、無縁」を、そして後年に「新生と生誕」を設置。
	7	芸術広場オープン等において次の音楽家等が駆けつける。 遠藤郁子 ピアニスト 黒岩静江 ジャズシンガー 遠藤郁子 ピアニスト 坂田明 サックス奏者 林峰男 チェリスト 山下洋輔 ジャズピアニスト 詩人・大岡信、谷川俊太郎	「無何有、回生、裸婦立像、トルソ(石膏等)」等七点と写真パネルを常設展示する。 平成4年度自治省「若者定住促進緊急プロジェクト」の指定を受ける。	ハイテクセンタービルを設置 ※ 以下、アルテピアッツァ美唄を彫刻美術館とする。
93		「ザイラー ピアノ デュオ 廃校コンサート」を開催し高い評価を得る。	「彫刻美術館」全体整備基本計画を策定する。第一期の工期は、平成八年度である。	・細川連立政権誕生 ・北朝鮮がノドン一号試験射 ・北海道南西沖地震発生(7月12日 M7.8 奥尻島)
			レクチャー棟、野外アプローチ等を整備し「真無や吹雪」等五作品を展示する。	
			北海道は、「北海道地域文化選奨」の副賞として「妙夢」を選定する。(2002年まで)	
94	8	ピエトラサンタ国際彫刻賞を受賞する。	一般駐車場とトリフォリオの広場を整備する。	・選挙改革法案が成立する
	9	安田侃野外彫刻展(英国ヨークシャー・スカルプチャー・パーク)を開催し、出品作のうち「生誕」Birthが永久設置される。「多光」TAKOOは、50 ^ト の大理石原石で制作する。(94年9月～95年5月)	野外ステージは、縦10m、横20mであり、その上に「天モク」Shadow and Voidを設置する。 廃校の体育館・芸術施設に新たに「息吹」を設置する。	
	12	ピエトラサンタの石工職人ジョルジョらとともに「彫刻美術館」に大理石の舞台を設置し、行事で彫刻の家・安田侃と法学の夕べが開催された。		

年	月	市民	行政	企業その他
95	3	北海道国際文化協会より第十回「北海道国際文化交流賞」を受賞する。	美唄市は、「天聖」を購入する。	<ul style="list-style-type: none"> ・阪神淡路大震災発生 ・地下鉄サリン事件 ・空知炭鉱閉山～道内最後の坑内掘り内陸炭鉱
	8	「世界のヴェルシリア賞」を伊国で受賞する。		
96	3	シニアワーク東京に「生思有感」を設置する。	水の広場を整備後大量の大理大理石を敷設し「天聖と天モク」を設置する。	東京国際フォーラムに「意心帰」が設置される(1月)。
	8	英国 Manchester の The Bridge-water Hall に「意心帰」を設置し安田は、開館式典で Queen Elizabeth II に謁見する。	市長に井坂紘一郎が就任する	<ul style="list-style-type: none"> ・Yahoo! JAPAN 開始 ・クローン羊「ドリー」がスコットランドで誕生
97	1	作品数は、野外10点、アートスペース6点となる。	農場離着陸場が開港する。	・北海道は、時のアセスメントを導入する。
	6	彫刻美術館フォーラム in 美唄 ・北海道文化財団文化講演会で、作家は、大岡信講演「私の好きな詩」に対談で出演する。	札幌コンサートホール kitara に「相響」など三点を設置。	日赤横浜は、「天泉」を設置する。
			中津川市アートピア付知文芸プラザで「天翔」を設置。	ベネッセアートサイト直島は、コンテンポラリーアートサイトに「天秘」を設置する。
			酒田市美術館に「翔生」が設置される。	
		水の広場が完工する。	板橋区山之内ロータスガーデンに「天秘」が設置される。	
1998	5	旧栄小学校校舎改修のため、市民有志を中心にアルテピアッツァ友の会が発足する。 ※	横浜国際プールに「天秘」を設置する。	「白いたまご」が、札幌小学館ビルに設置(11月)される。
	7	作家は、彫刻美術館「13th サローネ・ディタリア・アルテピアッツァ・現代彫刻と音楽のひとつ」で「現代彫刻の世界」との演題で講演する。	彫刻美術館第一期整備計画が完成する。 ※ ・特定非営利活動促進法施行 (NPO 法)	

当年表は、聞き取りのほか、次の機関が発行する資料や文献で補い作成した。
『北海道新聞』、北海道通産局、美唄市、水土里ネットほっかい、北広島市、樽見(2003)、久米(2014)、『美唄市史』、彩草(2005)、美唄市議会会議録、北海道経済産業局北海道新聞社(2002)、認定NPO法人アルテピアッツァびばい(以下:ポポロだより)。

第2節 協働形成期 (第2期)

市民ギャラリー開設から NPO 法人設立まで (1999 年～2005 年まで)

1 市民 (作家)

安田は、彫刻美術館の取り組みが評価され、2002 年に「村野藤吾賞や井上靖文化賞を受賞」(圓山 2006-15) している。なお、村野賞の選考委員の一人である池原義郎は、「こころの視座に立つこの (旧小学校の) 再生プロジェクトは、人々に感銘深い共感を与え、そこに時代へのひとつの重要な示唆があるように思う」と評している。作家は、「人の心や気持ちがあふれる場を創ることを、彫刻を通してやってきました。これからも人々の感性に語りかけるような空間を創っていきたい」(ポポロ日より 2015・4) と述べている。

翌 2003 年の北海道立近代美術館と彫刻美術館で同時開催の「安田侃の世界展一天にむすび、地につなぐ」にむけては、イタリアからの作品輸送費の不足分を補うべく寄付を募る目的で、「安田侃の世界展サポーター会議」が発足している。海運や陸運にかかる輸送費³が多額を要するためである。サポーター会議のメンバーは、「幹事 41 名、サポーター 786 名」(久米 2003) に及んでおり、議長には建築家の圓山彬雄が就いている。なお、市民組織は、この活動の経験から多くの「市民参加」(北海 03.7.2) の必要性を実感している。

今上天皇皇后両陛下は、2003 年 7 月彫刻美術館に「行幸啓」(北海 3.7.3-夕刊) されている。美唄市の広報誌によれば、「日頃ひっそりとしている道道・美唄富良野線の沿道には、4,000 人を超える市民らがつめかけ、旗を振って両陛下をお迎え」、お見送りをしている。なお、多くの市民は、両陛下はもちろんのこと、日頃接するこのない高橋はるみ知事やお歴々の随行者に驚くとともに、日頃さほど関心を示さなかった彫刻美術館に対し、世界に誇れる施設と気づかされた模様である。従って、このような北海道史に残る大きな出来事を経て市民の多くは、「清掃活動の一環である落ち葉拾い」(北海 5.10.26) 等々に対し積極的に参加する契機となっている。

³ 大理石の重量は 1,520～2,860 kg/m³ と重く、ブロンズ像は容積が大きいため特に輸送費が嵩んだことであろう。

彫刻美術館における両陛下へのご案内役は、北海道より依頼された作家が務めている。天皇陛下は、「本日は楽しみにして参りました。本当に良いものを創られましたね。これからもずっと、この場所を守ってくださいね」（タック編 2005：85）とお言葉を残されている。「帰門（きもん）」のご説明では「鬼門」と受け止められたのか一瞬表情を変えられたご様子のため、「鬼門ではなく、日常のしがらみを捨て我に帰る門との説明に（美智子さまも）大変ご関心を示されていた」（安田 2014）ご様子とされる。なお、「帰門」について安田は、「日常から離れて自分の心に帰っていけることを」（彩草 2005-244）を願う想いを表しているという。

なお、この年の来館者数は、「35,000人」（美唄市議会会議録 2004.6-86）に達している（参考説明：入場料は、一切徴収していない）。

「NPO 法人びばい」の設立発起人会は、2004年に設立され翌年4月の「設立準備会」（メロディ 2005・6）で、250名の参加と賛同を得て後にNPO法人となる「NPO 法人びばい」（北海 5.4.2）を立ち上げ、設立趣旨書を2005年4月10日に定めている。その後は、「設立総会」（北海 5.4.15）を経て磯田憲一ら役員を選出し、8月に法人が認証されている。

一方、作家のイタリアにおける当時の出来事として、2000年7月には、「フィレンツェ街における彫刻・安田侃彫刻展」が開かれており前日の記者会見で、「歴史のある街に抽象彫刻を置く意義を問う記者に対し、パオルッチ地区芸術文化局監督官は、「自然が創り出した形と人間が創り出した形の違いが分かりますか？ 安田の作品は知識がなくても感じることができる。21世紀は感性の時代なのです」（久米 2014-126-128）と説得したとされる。

2 行政（美唄市、北海道。国）

美唄市と市教育委員会は、1999年旧栄小学校二階に市民ギャラリーを開設するとともに13点の安田作品を設置したことから市民参加増の契機となった。さらに2000年には、体育館 626 m²、旧校舎 649 m²、野外彫刻空間の約7万 m²の初期整備を完工し、開拓百十周年・市制施行五十年式典を挙行している。

なお、旧栄小学校の整備状況については、「北海道開発局（2000）」による「第3章の活用事例集」から以下、参考までに摘記する。

「主な改修工事とポイント～旧小学校体育館：鉄骨の見える天井アーチ、木製の床など昔の面影を再現し、床面張替・強化、内装・照明工事

及び事務室やトイレの整備、アートスペース、展示空間以外にも演奏会や各種活動などに利用。旧小学校：床の補強や断熱材を入れるなど大掛かりな補強工事を実施。野外芸術空間：水の広場など自然景観と彫刻の調和した空間を構成。工事経費など初期整備工事（2000年完了）570百万円、内訳 補助金（国、道）90百万円、地方債 295百万円、美唄市 185百万円」

一方、翌2001年には、2002年度から2011年度までの工期で彫刻美術館第二期整備事業の基本計画と実施設計に向けての準備を行っており、その主な概要は、次の通りである。

2002年には、彫刻の丘と車いす利用者専用駐車場工事を、「天翔の丘と音の広場」を拡充整備計画に計上し、12月から第二期整備を開始している。2005年3月には、市議会が、「アルテピアッツァ美唄整備基金条例」（北海5.3.30）を可決している。そして、「音の広場」工事や、作家との寄託契約で展示作品27点を締結しており（石巻市議報告2012.10.25）、総作品数が41点となっている。そのほかの関連事項は、次の通りである。2001年に北海道「北のまちづくり賞」で知事賞を受賞。1999～2000年度の43事業における集客数は11,806人、で延べ47,606人である。2003年には、指定管理者制度導入を検討開始するとともに、今上天皇皇后陛下が平成15年7月3日（木）芸術文化交流施設彫刻美術館に「行幸啓され施設概要をご聴取（され）引き続きご視察された」（宮内庁）。

2005年度には、指定管理者制度で「三施設の公募」（北海5.11.18）を実施しており、次年度に「NPO法人びばい」が管理運営を受託している。

市政全般等で主な内容は、2002年10月に環境省が宮島沼を国指定鳥獣保護区とラムサール条約登録湿地に指定している。市では全国明るい雪自治体会議・第五回雪サミットを開催している。

2004年には、市長に桜井道夫が就任し、2011年まで務めている。同年に北海道幹線用水路が北海道遺産に選定。2005年には、市役所ロビーが雪冷房を実施している。

一方で、北海道は2002年知事公館庭園に「意心帰」を、岩見沢市は東山公園に「天秘」を設置している。

3 企業

各企業等は、安田の作品をそれぞれ設置している。2000年「意心帰」

がJR 東日本総合研修センター（白河）。2002年「翔生」がJR 美唄駅、「妙夢」が電通本社（汐留）とJR 札幌駅。2003年「意心帰」が大阪びあ関西支社と伊東市野間自由幼稚園。「妙夢」が伊国ピエトラサンタ駅前広場。「生誕」がトヨタUグループ本社プリズムビルにそれぞれ設置されている。

札幌駅の設置時には、企画を彫刻美術館設立の応援団の一人であったJR 北海道アートデザイン企画室の勝見渥が担い、設置に反対者が多い中であって、後の2008年に社団法人北海道観光振興機構会長の職務も併任することとなった社長の坂本眞一がゴーサインを出している。

作家と懇意である東京都内の経営者は、「彫刻美術館の一助に」（北海5.3.30）と美唄市に寄付を申し出ている。美唄市に関するこの期の特記事項では、JA びばいが、2000年に雪蔵でコメの貯蔵を開始するとともに、企業が雪冷房マンションを1999年建設している。そして、「空知の炭鉱関連施設と生活文化」が、2001年10月22日公表の北海道遺産に認定されている。

表3-2 市民ギャラリー開設からNPO法人設立までの協働形成期

（第2期、1999年1月～2005年12月）

年	月	市民	行政	企業その他	
1999	9	一層市民参加の促進 ※	川口市立西公民館は「天遊」など五点を設置する。	・男女共同参画社会基本法が成立	
			旧校舎二階に市民ギャラリーを開設する。 ※	雪冷房マンションが完成する（世界初） ※	
2000	3	「ゆかりの碑」が泥流被害に遭遇する。	開拓百十周年・市制施行五十年記念式典を挙げる。	・有珠山が噴火（3月31日）	
			伊国フィレンツェ主催の安田侃彫刻展が、ビッティ宮ポーポリ庭園などで開催～10月。	中津川市アートピア付知文芸に「意心帰」が設置される。	白河市 JR 東日本総合研修センターは「生思有感や意心帰」を設置する。（3月）
			翌年同庭園内に「天秘」が永久設置される。	初期整備工事の内容 ① 体育館 626 m ² ② 旧校舎 649 m ² ③ 野外彫刻空間（敷地総面積約7万 m ² ）	安田は、何だ、これはが理想で素朴な感動を与える作品に心掛けている。
			ブッチーニ野外劇場でオペラ「蝶々夫人」の舞台美術を担当し、「意心帰」などを舞台に配置する。	岡崎市美術博物館は「天光散&ひとつがふたつ」を設置する。	JA びばいは、雪蔵工房で玄米を貯蔵し、雪蔵米の銘柄で販売する。 ※
		スペイン領カナリア諸島ガラチーコに「天聖と天モク」設置			

芸術文化主導の自治体政策 (2)

年	月	市民	行政	企業その他
2001	8	オペラ「蝶々夫人」日本公演で舞台美術を担当する。	東京都庭園美術館は「風」を永久設置する。	・認定NPO法人制度が成立 法人の組織や活動が適正かつ公益性が高い。 ①企業の寄付～一定割合が経費に参入可。②個人の寄付～一定割合を所得等から控除。③法人税が一定条件で減税になる「みなし寄付金制度」。④相続財産の寄付～その分相続税が非課税。 ・米国で同時多発テロ(9/11)
		プッチーニ財団「プッチーニ特別賞」を受賞する。	札幌ドームは「ひとつがふたつ」を設置する。(6月)	
	9	旭川の彫刻フェスタで彫刻トークを行う。	彫刻美術館の第二期整備事業計画が策定される。 (2002～2011年度まで) 1999～2000年度は、43事業で11,806人集客、開設後延べ47,606人。	
		「北の創作椅子展」で最終審査を担った。(中札内村)		
10	彫刻美術館が、北のまちづくり賞部門で北海道知事賞を受賞する。			
2002	1	第九回：井上靖文化賞を受賞する。	彫刻の丘と車椅子用駐車場をを整備する。	・小泉首相訪朝 美唄駅は、「翔生」を設置する。
				5
	9	伊国で「詩のアルピ・アプアーネ特別賞」を受賞する。	岩見沢市は「天秘」を、北海道は、「意心帰」を知事公館に設置する。	JR北海道アートデザイン企画室の勝見渥は、札幌駅に「妙夢」の設置を企画する。
		作品展で輸送費の不足が課題となる。 ※	宮崎美術館が「天泉」を購入	坂本眞一 JR北海道社長は、「妙夢」設置に尽力する。
	10	彫刻美術館で作家の村野藤吾賞受賞記念講演会を実施。	宮島沼は、ラムサール条約の登録湿地等となる。	・太平洋炭鉱閉山 炭鉱関連施設が北海道遺産に認定
12	「安田侃の世界」展の支援を目的として、市民有志による「安田侃の世界展サポーター会議」が発足する。 ※	彫刻美術館の整備事業第二期事業が開始される。 ※ 美唄市で雪サミットが開催する・全国明るい雪自治体会議		
2003		北海道より天皇のご案内役を依頼され務める。7月3日	立川の自治体大学は、「天翔」を設置する(3月)。	
		「安田侃の世界展サポーター会議」	新潟コンベンションセンターは、朱鷺メッセに「天秘」を設置する。	
		市民参加組織の必要性 ※	美唄市は、指定管理者制度導入について検討を開始する。 「天翔の丘」が完成する。	

年 月	市 民	行 政	企業その他
2003	「安田侃の世界展」天にむすび、地につなぐ、が道立近代美術館と彫刻美術館で同時開催される。出展：56点 期間：6月6日～7月13日	共催：道立近代美術館 共催：美唄市 彫刻の丘整備 天皇后両陛下は、彫刻美術館を行幸啓される（7月）。 ※	共催：北海道新聞社、 共催：NHK 北海道ビジョン ・個人情報保護法が成立 大坂びあ関西支社は、同社に「意心帰」を設置する。
	「安田侃の世界を語る」安田侃・道立近代美術館長水上武夫対談。	「風」が、東京都庭園美術館に設置。寄贈式典。（9月）	
	トスカーナ知事賞を受賞する。		
2004	5 イサム・ノグチと谷口吉郎生誕百周年記念「万来舎」写真展、記念講演会が彫刻美術館で開催される。	青森南高校は、「意心帰」を設置する。	伊東市の野間自由幼稚園は、「意心帰」を設置する。 「妙夢」が、ピエトラサンタ駅前広場に設置される。
	10 NPO 法人設立発起人会が、組織される。 ※	市長に桜井道夫が就任する。 （2011年6月まで） 北海幹線用水路が北海道遺産に選定される。	トヨタUグループ本社は、ビルに「生誕」を設置する。 ・拉致被害者家族五人が帰国
2005	2 写真甲子園 2004 の作品展が、彫刻美術館のギャラリーで開催される。 （青森南高、沖縄真和志高、旭川工業高校の3校）	市議会は、三月二十五日に議案第二十号で、アルテピアッツァ美唄整備基金条例を可決する。 音の広場工事。作品の委託契約を締結（作家と市）で27点となる（総作品数は41点）。	都内の企業が、彫刻美術館の整備費にと美唄市に寄付を申し出る。（230万円） ・知床世界遺産に登録
	4 四月十日の設立準備会で二百五十名の参加と賛同を経て立ち上げる。		ゆかりの碑が掘り起こされる。
	アルテピアッツァびばい設立総会を開催する。	市役所は、ロビーに雪冷房を採り入れる。	トルナーレ日本橋に「翔生」が設置される。
	6 フランチェスコ教会前で個展を開催する。	岩手県は、いわて県民情報流通センターアイーナに「天秘」を設置する。 指定管理者制度～三施設公募	「アルテピアッツァびばい」とする。 ※ ・鳥根県議会竹島の日を制定
8 NPO 法人が認証される。 ※			

当年表は、聞き取りのほか、次の機関が発行する資料等で補い作成した。
『北海道新聞』朝刊、全道版、空知版。美唄市教育委員会、北海道開発局、久米（2014）、ポポロだより（NPO 法人）。

第3節 協働実現期 (第3期)

指定管理者受託から内閣府元気再生キックオフ事業選定まで
(2006年～2009年まで)

1 市民 (作家・NPO 法人)

NPO 法人びばいは、彫刻美術館の指定管理者制度下の管理運営を2006年から受託している。2007年には、体験工房「ストゥディオアルテ (Studio Arte)」と、喫茶「カフェアルテ」がオープンし運営を受託する。体験工房で作家の全面的な協力により市民が大理石等の彫刻を行う「こころを彫る授業」を実施する。2008年には、日本NPO学会の「NPO夏の北海道セミナー」が開催された。

2009年には、①作家が文化庁長官賞を受賞、②NPO 法人びばいが北海道新聞社の「北の未来奨励賞」(北海9.10.7)を受賞、③年間に芸術鑑賞に訪れた人は「三万人」(北海9.7.4)である。④平成21年度「地方元気再生事業」(加藤2014-111)では、美唄元気再生「こころを耕すプロジェクト」キックオフ事業(内閣府900万円)に採択され、「NPO事務局に加藤知美」(北海10.6.14)が加わった。⑤札幌駅の「妙夢」が、市民の愛情によりキラリと磨かれた(読売9.4.21)。⑥例年のことながら美術館周辺の落ち葉拾いなどでは、ボランティアが「市民が支える広場」(読売9.5.10)として大活躍した。

2 行政 (美唄市、北海道。国)

美唄市は、2006年①NPO 法人びばいに、公設の彫刻美術館の管理運営を委託するにあたってNPO 法人びばい(作家、市民)と協議を開始した。②「宮島沼水鳥・湿地センター」(北海15.4.26)が2007年に開設された。③炭鉱メモリアル森林公園が、2007年経済産業省の近代化産業遺産に認定された。

さらに同市は、2008年6月に「美しきまちづくり条例」(平成20年3月28日条例第14号)を制定している。

3 企業 (マスコミ)

各企業等は、作家の作品をそれぞれ設置している。三菱商事が2006年「天空」を本社ビルに。東京ミッドタウンが「妙夢と意心帰」を。鹿

島建設が2007年「意心帰」を。2008年に代々木ゼミナールタワーが「意心帰」を。IKEUCHIが「相響」を。2009年に光塩短大（札幌）が「意心帰」を。米国セントルイスシティーガーデンが「帰門」を、それぞれ設置している。

北海道新聞社は、「NPO 法人びばい」を表彰（北の未来奨励賞）している。NHK 教育は、「2008年2月に新日曜美術館のアートシーンのコー

表 3-3 指定管理者受託から内閣府元気再生キックオフ事業選定までの協働実現期

（第3期、2006年1月～2009年12月）

年	月	市民	行政	企業その他
2006	4	運営の安定化の必要性 ※ 指定管理者制度の管理運営を受託する。 ※	指定管理者制度による管理運営の委託で、作家、行政そして市民との本格的な協働となる。 兵庫県は、芸術文化センターに「天秘」を設置する。	・米国産牛肉に海綿状脳症の部位混入問題 三菱商事は、本社ビルに「天空」を設置する。
	10	市民有志は、釜山の公園に慰霊碑「静江」を設置する。 より一層市民参加の必要性を痛感する。 ※		五稜郭病院「風」を設置する。
		アルテの風音・上杉春雄ピアノリサイタル公演を実施。		東京ミッドタウンに「妙夢と意心帰」が設置される。
				北海幹線用水路が疏水百選に選定される。北海土地改良区
2007	4	「ストゥディオアルテ」体験工房と喫茶「カフェアルテ」が、オープンする。 ※	宮島沼水鳥・湿地センターがオープンする。	・中国 GDP 伸び率が10.7% ・夕張市が財政再建団体となる。
		安田侃のころを彫る授業が実施される。 ※	高橋昭五郎彫刻展が開催される（音威子府村主催）。	鹿島建設は、「意心帰」を設置する。
	8	ころのふるさとアルテ祭り	炭鉱メモリアル森林公園が、経済産業省の近代化産業遺産の認定遺産となる。	
	9	「ローマ展」の成功で確固たる評価を得る。 時に触れる展をローマトラヤヌス帝の市場で開催する。		
	12	アカシア幼稚園長マンフレード神父が芸術は、国境や時間を越えて創る人と見る人をつなぐものと述べる。		

芸術文化主導の自治体政策 (2)

年	月	市民	行政	企業その他
2008	6	伊国記念日を祝うイタリアワインと管弦楽の夕べを開催する。 ※	イタリア共和国との文化交流事業（道サミット関連資料）で伊日財団、伊文化会館、美唄市、市教委の共催によるマツシモ・カタラーニ展が開催される。 美しきまちづくり条例を制定する。	<ul style="list-style-type: none"> ・中国製冷凍ギョーザ事件 ・新テロ特措法が施行 ・洞爺湖サミット開催 ・バラク・オバマ米大統領に ・ツール・ド・北海道が開催
		NHK が日曜美術館で報道する。 ※		
	7	日本 NPO 学会の夏の北海道セミナーが当館で行われる。		
		伊国功労勲章「連帯の星」を賜る（3月）。		
		トラヤヌス帝の市場に「意心帰」が設置される。		
ブッチーニ野外劇場に「意心帰・天聖・天モク」を設置。	東京の代々木ゼミナールは、「意心帰」を設置する。 IKEUCH は、「相響」を設置する。 米の品種おぼろづきが、都庁でデビューする。			
2009	内閣府の元気再生事業を受託する。 ※		光塩短期大学は、「意心帰」を設置する。	
	非営利法人の熟練者が参入する。 ※ 札幌駅の「妙夢」が、市民の愛情でキラリと輝いた。	石のステージで補修工事を実施する。 芸術鑑賞に年間約三万人が訪る。	<ul style="list-style-type: none"> ・皆既日食を観測 文化庁長官賞受賞（安田侃） 伊日財団主催の賞を受賞 Japan Awards 賞 セントルイスのシティーガーデンは「帰門」を設置する。 	
	NPO 法人は、北のみらい奨励賞を受賞する。 ※			

当年表は、聴き取りのほか、次の文献や資料で補い作成する。『北海道新聞』、『読売新聞』、久米（2014）、NPO 法人、内閣府、加藤（2014）、農林水産省、日本 NPO 学会。

ナー」（アルテ便り 8.2.27）で彫刻美術館や安田侃のローマ展の様子などを放送している。札幌テレビ放送は「55 分のドキュメントで『心を彫る 時を刻む—安田侃と彫刻美術館』」を放送している（アルテ便り 8.2.27）。

第 4 節 協働展開期（第 4 期）

アルテ市民ポポロ制度発足から NPO 法人認定まで
（2010 年～2016 年 4 月まで）

1 市民（作家・NPO 法人）

NPO 法人びばいは、2010 年・地域づくり「総務大臣賞」（北海 10.1.6）を、2013 年第三回地域再生大賞優秀賞（全国地方新聞社と共同通信社）と第 20 回北海道地域「文化選奨」（北海 13.2.19）をそれぞれ受賞している。

安田は、2010 年に第 64 回北海道新聞文化賞（社会部門）と文化庁長官表彰を、2013 年に「北海道文化賞」（朝日 13.10.10）を、2015 年に北海道功労賞をそれぞれ受賞している。

地域を越えて彫刻美術館を支え合うを趣旨とする「アルテ市民ポポロ⁴」制度は、ポポロ会員が年三千元、中学生以下のコポポロ会員と市内在住の美唄ポポロ会員が年五百円、団体会員が年三万円として 2010 年に発足。「美唄の芸術は我らが守る」（読売 10.5.30）制度として脚光を浴びた。

同年の 7 月には、「真無」コンサートが開催され、鑑賞者でかってないほどの賑わいを呈した。翌 2011 年には、作家の来道の機会をとらえて「北海学園大学法学部カフェ」（NPO 法人びばい）を、7 月 9 日に開催している。

「安田侃野外彫刻展—街に触れる」は、札幌市内の駅前通りや狸小路など五つの通りで、同年 9 月に開催されている。

作家作品の「じん肺根絶の碑」が、北海道じん肺基金によって彫刻美術館に 2011 年 10 月に寄贈されている。

「彫刻美術館」20 周年記念安田侃作品展「触れる」は、2012 年 7 月に開催された。

2013 年に NPO 法人びばいは、美唄市緊急雇用創出推進事業として、保存記録のアーカイブ事業を受託している。一方で、彫刻美術館の清掃にボランティアで札幌から来ている武田真美江は、この年も元気で生きがいの一つとしている（北海 13.7.26）という。さらに、作家の彫る授業には、遠く福岡県から大学教授も参加している。

日本建築家協会は、2013 年の作家の講演会「イタリア・アートと歴史とまちづくり」を主催している。そのほか NPO 法人びばいのスタッフ

⁴ ポポロとは、イタリア語とエスペラント語で popolo、人々、市民、民衆の意味とされる。なお、当 NPO 法人びばいの磯田憲一が、「サントリー地域文化賞」（北海 9.10.17）を授賞している。一方で、北島三郎（北海 15.11.3）が、北海道新聞文化賞を受賞し、正賞に作家制作の「意心帰」が贈られている。

は、休みを利用して洞爺湖畔にあるゆかりの碑を清掃している。なお、同法人は、道民税控除の指定 NPO 法人となっている (北海 13.12.26)。

旭川彫刻ファンド市民の会は、2011 年に市民や企業・団体の「寄附」を募り旭川駅に「天秘」を設置している (北海 11.11.24)。除幕式で作家は、「ゆったりと、静かに、彫刻と対峙してほしい。……彫刻が行きかう人たちを見守っている」と述べるとともに、市民の会の世話役は、「安田さんに (以前)、駅に彫刻をおきたいのだけれど、資金面でちゃんと集まるかどうか心配だ……と相談した時に、安田氏は、「お金のことは心配しなくてもいい。皆さんが精一杯集めてくれたお金でいい」と述べた」という (maneno)。2013 年に旭川駅では、市民が「作品周辺の清掃や、西御料地小の合唱、緑ヶ丘小の吹奏と団塊バンド演奏等で彫刻作品の市民への定着化」に取り組んでいる (北海 13.11.20)。

NPO 法人びばいは、2014 年 2 月にこれまでの活動や市民ボランティアなどの協力、そして、先に述べた「アルテ市民ポポロ」制度などが評価され、北海道所管の認定 NPO 法人 (北海道、平成 26 年～平成 31 年) として認定されている。

なお、彫刻美術館は、一般市民が気取ることなく芸術作品に触れられる場、コンサートを始め各種の展示や「こころを彫る授業」等の場、幼児からお年寄りまで市内外の人たちとの交流の場、炭住街で育ち遠隔地等から駆け付けた人々の心のふるさととして、また、木造校舎に郷愁を覚えかつ安心感が得られるなど多くの市民の交流の場として、そして市民が安らぎを得られる場となっている。

彫刻美術館に対し作家は、「ここには、都会の公園にある遊具は、ひとつもない」(圓山 2006-12)、しかしながら「幼稚園や彫刻美術館、芸術文化交流広場そして公園でもあるとともに、誰もがもとに戻れる空間、喜びも悲しみも全てを内包した、自分自身と向き合える空間を創ろうと欲張ってきました。この移り行く時代の多様さのなかで、次世代に大切なものをつないで行く試みは、人の心や思いによってのみ紡がれます」(安田 2014、NPO 法人びばい) と述べている。

2014 年にニューヨークのクリスティーズ社の社長らは、彫刻美術館を「神々が宿るような丘」(北海 16.4.4) と評価している。これが縁となってニューヨークの「ロックフェラープラザにあるクリスティーズ社で 2016 年 2 月～3 月に Kan Yasuda 展」(ポポロだより 16.4.7) が開催されている。

2018年には、市民会議が主催し毎日新聞社が共催するなどで設けられた「エクセレントNPO大賞」(第5回)の市民賞を受賞している。「大地とアートの融合を通じて地域再生に取り組む」(毎日18.1.19)こと、また、応援する市民を構成員として捉えていることを評価している。

2 行政(美唄市、北海道。国)

美唄市は、市制施行六十年(2010年)にあたり音の広場に「真無(まむ)」を設置している。これは、重量が30トン、高さ2.5m、幅約4m、奥行が1.7mで枠の中に球体があり、単体では当施設最大の作品である。同年の7月には、駐日伊大使ビンチェンツォ・ペトロネが彫刻美術館に来園し安田作品を絶賛している。翌2011年には、美術館にブロンズ像の「天秘」を設置し、第二期整備事業が竣工するとともに「市長に高橋幹夫が就任」(メロディ2015.7)している。

なお、平成25年度の美唄市公開目録情報では、彫刻美術館の敷地図や整備基金そして条例の一部改正の「保存年限を99年」(住民情報サイト)とするなどの関係書類保存に関する整備を促進している。2012年現在の彫刻美術館にある作品数は、市有財産が15点、作家の寄託作品が29点、その他1点の計45点である。

中央政府として国は、2012年に改正NPO法を施行し認定NPO法人の認定を国から都道府県知事や政令指定都市の長に権限を委譲している。2016年の美唄市議会では、彫刻美術館に関する条例改正案が可決され、新年度より「安田侃彫刻美術館アルテピアッツァ美唄」となり、博物館法に基づき学芸員の配置や調査研究、学校教育への協力等も行う組織へと移行した。この時期の、美唄市に関する他の事項は、次の通りである。2014年度文化芸術創造都市部門の文化庁長官表彰を受賞する。ハイテクセンター内に雪冷熱システムによるホワイト・データセンタ誘致に本格的に取り組む。

2013年に新藤義孝総務大臣が訪れ、彫刻美術館等を視察するとともに、市民手作りの食事に大感激する。2016年度から市では、サイクリングによるまちづくりにも取り組む方針である。美唄市は、全国市町村で第1号となる受動喫煙対策のため「受動喫煙防止条例」を12月11日に公布している(北海15.10.28)。

なお、市の構想による「コンパクトシティ」(毎日18.1.16)は、公共施設を集中させるとともに、まちなかに居住区域を設けようとするもの

で今後の動きが注目される。

3 企業

2011年には、「天秘」が光塩学園調理栄養専門学校(札幌)に設置されている。

2015年3月現在、アルテ市民ポポロ制度で応援している企業・団体は、(有)東オートセンター、(株)岸本組、(学)光塩学園、札幌アルト(株)、札幌通運(株)さくらスマイル引越センター、(株)シー・アイ・エス計画研究所、玉田産業(株)、長延寺、医療法人はまなす医院、東戸公認会計士事務所、美唄市医師会、美唄市市議会銀塊、美唄匠の会、広瀬建設工業(株)、北星学園大学、北海道クリーン・システム(株)、医療法人社団北海道こども心療内科氏家医院、北海道中央防災病院せき損センター、村松法律事務所、(有)TOSHIO SHIMIZU ART OFFICE、他1社である(50音順)。

表3-4 アルテ市民ポポロ制度発足からNPO法人認定までの協働展開期

(第4期、2010年1月～2016年4月)

年	月	市民	行政	企業その他
10	1	地域づくり総務大臣表彰を受賞する。 ※	美唄市市制施行六十年セレモニーが実施される。(5月)	・アイスランドで火山が噴火 ・殺人事件の時効が廃止に
		アルテ市民ポポロ制度を発足させる(NPO法人)。	音の広場に施設最大の作品となる「真無」を設置する。 ※	夕張市が全国唯一の財政再生団体に移行。
	7	「真無」野外コンサートが大盛況であった。 ※	敷地面積が、7万m ² になる。	安田侃は、第六十四回北海道新聞文化賞と、文化庁長官表彰を受賞する。
		より広範の市民とのかかわりを痛感する。 ※	駐日イタリア大使のピンチエンツォ・ペトロネが、安田作品を絶賛する。	
加藤知美は、アルテ市民の広報に奮闘する。	渋谷区大和田文化センターは「天秘と帰門」を設置する。			
		美唄の芸術は、我らが守ると市民団体が活躍する。	創成川公園に「生棒、生誕、天秘」が設置される。	

年 月	市 民	行 政	企業その他
11	イタリア トリノ「時に触れる」展 ヴァレンティーン公園に10作品を設置する。	彫刻美術館に「天秘」を設置する。 市長に高橋幹夫が就任する。	特定非営利活動促進法改正案と新寄付税制関連法案が成立～絶対値基準や仮認定制度、税額控除方式らの導入、認証手続きの簡素化などが実現。
	7 北海学園大学法学部カフェ20周年記念で安田侃作品展	彫刻美術館の整備事業第二期が竣工する。※	光塩学園調理栄養専門学校は「天秘」を設置する。 ・石勝線特急脱線炎上事故
	8 「触れる」を開催する。		
	9 札幌 「安田侃野外彫刻展一街に触れる」で駅前通り、地下歩行空間、創成川、大通り公園、狸小路などで開催し、それぞれの通りが果たしてきた役割などを散策の中で意識される作品の配置であった。	美唄市公開日録情報では、彫刻美術館に関する次項書類の保存年限を定めている。保存年限三年 ・市民ギャラリー利活用事業 ・総括・月次事業報告 保存年限五年 ・指定管理者制度 ・安田侃彫刻作品の寄託契約 ・行政財産一部使用許可 ・モニタリング 保存年限九十九年 ・敷地図、・条例一部改正	美唄市と浦臼町を結ぶ美浦大橋が開通（渡船は廃止）。 旭川駅に「天秘」が市民の有志で設置される。
	10 「じん肺根絶の碑」が設置される。北海道じん肺基金が、作家に依頼していたものを寄贈。 ※		シチリア「現代の神話」展（11年12月～12年2月） シチリア Taormina の古代ギリシャ・ローマ劇場に「意心帰」を設置している。
12	3 「ここを彫る授業」を実施	彫刻作品45点（市～15点、寄託29点、その他1点）	積雪量百七十三 cm 観測史上最高値を記録した。
	5 「林峰男チェロリサイタル」などが行われる。	改正 NPO 法が施行。認定は知事か指定都市の長に改正。	英国ケンブリッジの美術館で「天聖、天秘、天モク、意心帰」を出品する。
	7 彫刻美術館の二十周年記念で作品展触れるが開催される。	雪冷熱システムでデータセンター誘致に取り組む。 （美唄ハイテクセンター内に）	（雪屋姫山商店美唄支店開設十五年に本社を移転する。
	NPO 法人の財政事情は厳しいのが実態である。 ※		
13	1 NPO 法人びばいが、第三回地域再生大賞・優秀賞を受賞する。全国地方新聞社等北海道地域文化選奨も受賞する。 ※	総務大臣新藤義孝が、来訪する（3月）。 北海道は、当非営利活動法人を道民税控除対象に指定する。	・ネット選挙が解禁 ・JR 北海道が事故等多発 旭川の彫刻ファン্ড市民の会が、「天秘」周辺を清掃等。
	北海道文化賞を受賞する。		
	アーカイブ事業に着手する。 ※		
	NPO のスタッフが非番時に洞爺湖町の碑を清掃する。		安田侃講演会「イタリア・アートと歴史とまちづくり」 （日本建築家協会の主催）

芸術文化主導の自治体政策 (2)

年	月	市民	行政	企業その他
14	2	NPO 法人びばいが、認定 NPO 法人となる。※	美唄市は、文化庁長官表彰を受賞する。文化芸術創造部門 (表彰状は 15 年 6 月)	・日本創成会議が消滅自治体の試算を発表する。
		認定 NPO 法人への寄付者は、所得控除適用のほか、税額控除を選択することができる(地方税含む最大 50%) 等。	NY の Christie's の社社長が彫刻美術館を神々が宿るような丘と評価する。	・期限切れ肉使用の中国企業返品の再出荷も報道される。
		ドメニコ・ジョルジ駐日イタリア大使が私的に来館する。	新東川小学校に「帰門」、隣接の交流施設に「意心帰」が設置される(東川町)。	彫刻美術館の周辺に熊出没と七月十四日にラジオで警告。クマ駆除される。彫刻美術館から 800 m で、地元猟友会が仕留める(体長約 1.2 m)。
		伊国大使が公的に来園する。		
		当館に来ると安らいだ気持ちになるという市民が徐々に増えつつある。		・平成 26 年 8 月豪雨 市民参加と企業の参加増 ※
15	10	アルテ文庫に取り組む。	美唄市は受動喫煙防止条例を全国市町村に先駆けて市議会で可決される。	作家が北海道功労賞を受賞する。
		アルテ〇〇学校を開催する。		
		台湾から延べ 5.5 千人が来訪する。(9 月中旬～10 月中旬)		北島三郎が、北海道新聞文化賞を受賞し正賞に「意心帰」が贈られる。
		NPO の理事長が、サントリー地域文化賞を受賞する。	ふるさと美唄応援寄附金には彫刻美術館の応援コースも設けられる。	
16	2	Kan Yasuda の展覧会がロックフェラーセンター内に所在する Christie's 社で開催する。	自転車観光・サイクリングを通じたまちづくりに取り組む Velo-city Global 台北 2016 で	・北海道新幹線新函館北斗と新青森間が開業する。
			市長が国際自転車会議に出席	・熊本地震が四月に発生 益城町で震度 7 を記録。
	4	安田侃彫刻美術館アルテピアッツァ美唄が、博物館法に基づく博物館(美術館)に登録される。	・八月に台風が三回道内上陸 ・日本ハムが優勝する。	

当年表は、聞き取りのほか、次の文献や官公庁等の資料で補い作成する。
『北海道新聞』、久米(2014)、ポポロだより、樽見(2007)、内閣府、北海道文化庁、
『読売新聞』、美唄市。

表 3-5 美術館のまち分析結果

		協働前史（第1期） ～1998年12月 市民有志の会発足まで	協働形成期（第2期） 1999年1月～2005年12月 市民ギャラリー開設からNPO法人 設立まで
協働 activist		①安田侃、②花田太郎、③市の若手 等 ④沢田孝夫⑤滝正⑥井坂紘一郎（政 府）	①安田侃（作家）、⑦市民の若手等 ⑥井坂紘一郎、⑧勝見渥（企業）
参加者		①美唄市 ②美唄市教育委員会 ③市民有志	①美唄市 ②美唄市教育委員会 ④安田侃の世界展サポーター会議 ⑤NPO法人設立発起人会（前山勇 治）
協働の場		①美唄市 ②旧栄小学校体育館	①美唄市 ③「彫刻美術館」
問題 の 流 れ	アジェンダ A		アジェンダ（問題①）
	問題 1	①ファミリー公園に「炭山の碑」を 設置（やまのひ）（1980年）	②安田侃の世界展サポーター会議 が発足（2002年）
	問題の窓	①開基90年（市制施行30年）に際 し炭鉱の記念碑の制作を依頼（1976 年）	②安田侃の世界展作品の輸送等の 財源不足（2002年）
解 決 策 の 流 れ	諸解決策 B		諸解決策（解決策①～②）
	解決策 1	①旧栄小学校体育館の改修工事着 工 ②アルテピアッツァ美唄条例の制 定 （1991年）と（1992年）	③市民ギャラリー開設（1999年） ④NPO法人設立発起人会が発足 （2004年）
	解決策の窓	①彫刻作品を後世に伝えたい（1985 年） ②開基百年、旧炭鉱町整備（1990 年）	③一層市民参加の促進（1999年） ④市民参加組織の必要性（2003年）
活 動 の 流 れ	活動 1	①旧栄小学校改修のため、市民有 志と市吏員の若手による有志の会 発足 ②「彫刻美術館」第一期整備計画が 完成する（旧体育館のアートのス ペースと彫刻公園）。 （1998年）	③「彫刻美術館」第二期整備事業が、 開始する。（2002年） ④アルテピアッツァびばいが、 NPO法人として設立。（2005年）
	活動状況 D		活動状況（活動①～②）

芸術文化主導の自治体政策 (2)

組織のやる気の流れ		
組織のやる気の窓	①アルテピアッツ市民有志の会発足 (1998年)	②天皇后両陛下が行幸啓 (2003年)
組織のやる気	①美唄市民のやる気 (1998年)	②市民とNPO法人の一層のやる気 (2003年)
組織のやる気状況C		組織のやる気状況 (組織のやる気①)
自信の窓		
アジェンダ 諸解決策・組織のやる気状況・活動状況の四つの結び付き (A、B、D、C)	【アジェンダ(問題①)、諸解決策(解決策①～②)、組織のやる気状況(組織のやる気①)、活動状況(活動①～②)】の間には、相互に部分的に結びついていた。 (A-1、B-1、D-1、C-1の間)	【アジェンダ(問題①～②)と諸解決策(解決策①～④)及び組織のやる気状況(組織のやる気①～②)と活動状況(活動①～④)】は、部分的に結びついていたが、パッケージを構成しなかった。①利雪のまちづくりが生成された。
	協働実現期 (第3期) 2006年1月～2009年12月 指定管理者受託から内閣府元氣再生 キックオフ事業選定まで	協働展開期 (第4期) 2010年1月～2016年4月 アルテ市民ポポロ制度発足から NPO 法人認定まで
協働 activist	①作家、⑨森田肇 (市民) ⑥井坂紘一郎、⑩桜井道夫 (政府)	①作家、⑩桜井、⑫高橋幹夫 (政府) ⑪NPO 法人役員等 (市民)
参加者	①美唄市 ②美唄市教育委員会 ⑥NPO 法人 ⑦マスコミ	①美唄市 ②美唄市教育委員会 ⑥NPO 法人 ⑦マスコミ ⑧企業
協働の場	①美唄市 ③「彫刻美術館」	①美唄市 ③「彫刻美術館」
問題の流れ	アジェンダ A	アジェンダ (問題①～②)
	問題 1	③指定管理者制度の管理運営を受託 (2006年)
	問題の窓	③NPO 法人運営の安定化の必要性 (2006年)
解決策の流れ	諸解決策 B	諸解決策 (解決策①～④)
	解決策 1	⑤安田侃・こころを彫る授業を開始 ⑥非営利法人の熟練者が参入 (2007年)、(2009年)
	解決策の窓	⑤より一層の市民参加の必要性 (2006年)
		④緊急雇用創出推進事業受託 (13年) ④NPO 法人の財政事情は厳しい (2012年) 諸解決策 (解決策①～⑥) ⑦真無野外コンサート大盛況 (10年) ⑧じん肺根絶の碑・寄贈設置 (11年) ⑥より広範の市民とのかかわり (10年)

活動の流れ	活動 1	⑤ストゥディオアルテ～体験工房「カフェアルテ」喫茶開始(2007年) ⑥コンサート等の充実化(2008年) ⑦内閣府元気再生事業を受託(2009年)	⑧音の広場に真無・施設最大・設置(10年) ⑨アーカイブ(保存記録)事業(13年) ⑩市民参加増と、企業の参加(14年)
	活動状況 D	活動状況(活動①～④)	活動状況(活動①～⑦)
組織のやる気の流れ			
組織のやる気の窓	③日曜美術館で放送(2008年) ④北のみらい奨励賞を受賞(2009年)	⑤地域づくり総務大臣賞受賞(10年) ⑥北海道地域文化選奨を受賞(13年)	
組織のやる気	③NPO法人の一層のやる気(2008年)～(2009年)	④市民とNPO法人のさらに一層のやる気(10年)～(13年)	
組織のやる気状況 C	組織のやる気状況(組織のやる気①～②)	組織のやる気状況(織のやる気①～③)	
自信の窓		①利雪のまちづくり	
アジェンダ諸解決策・組織のやる気状況・活動状況の四つの結び付き(A、B、D、C)	協働 activist は、【A、B、C、D】に部分的(市民・政府・マスコミ)なパッケージを構成し協働が実現した。	協働 activist は、【アジェンダ(問題①～④)、諸解決策(解決策①～⑧)、組織のやる気状況(組織のやる気①～④)活動状況(活動①～⑩)】の完全なパッケージを構成。	

第5節 年代記分析の説明

1 参加者と協働の場

協働アクティビストとは、戦略的協働の事業推進において主要な参加者を指しており、第1期から第4期においていわゆる協働の形成期、実現期、展開期等に活躍している各個人で、主として市民代表や作家などの活動家、首長等や企業等の代表者などである。彼らの役割は、小島(2011-23-24)らによれば参加者の特定や解決策の推進など7つが示されている。

協働アクティビストの中で、全期間を通じ継続的参加者は、①安田侃である。

彼は、美唄市出身で主としてイタリアを拠点にして大理石やブロンズを中心に彫刻作品を手掛けている世界的な彫刻家であり、美唄市を始め国内外に多くの作品が配置されるとともに、美術館において市民に

彫刻の手ほどきをするなど多くの活躍をしている。

一時的な参加者で第1期における市長職の④沢田孝夫は、美唄市の開基90年と市制施行30年の節目の年に際し、懸案であった炭鉱の記憶等に関わる記念碑として作家作品の「炭山（やま）の碑」を設置し記念事業を終え市長職を退任する。

後任の市長は、⑤滝正が80年から96年まで担い彫刻美術館事業を⑥井坂紘一郎に引き継いでいる。②開業医の花田太郎は、③市の若手等と共に、美唄市出身でイタリアで活躍しながら当時知名度がなかった作家の作品に理解を示し、市民等に親しまれる文化的な作品である旨を掲げ応援団として活躍した。

第2期の首長は、③井坂が引き続き担っている。⑦市民の若手等や企業に所属する⑧勝見渥らは、長期にわたり多くの市民やイタリアと美唄を行き来する作家らと共に彫刻美術館の第二期整備事業で活躍している。

第3期には、⑥井坂と⑩桜井道夫の両首長が、市教育委員会関係者⁵、そして、市議会議員団や、市民代表であるNPO法人びばいの⑨森田肇（市民）らと共に「指定管理者制度」の制定や委託や受託などの手続きなどに取り組んでいる。

第4期には、作家を始め首長の⑩桜井と⑫高橋幹夫、美唄市諸団体関係者そして、⑪NPO法人びばいの役員等と共に協働で運営に参加した。同法人事務局の加藤知美の言葉を借りれば、「安田、市、市民、全国の支援者の方々の熱意」がNPOの運営をサポートしている。

継続的な協働の参加者は、美唄市と美唄市教育委員会である。一時的な協働の参加者は、第1期の③市民有志、第2期の④安田侃の世界展サポーター会議とNPO法人設立発起人会、第3期と第4期のNPO法人びばいら市民グループと、第3期と第4期のマスコミそして第4期の企業である。

協働の参加者である①美唄市や②美唄市教育委員会（政府）、③～⑥の市民組織、⑦マスコミ、⑧企業の資源は、それぞれ次のようであった。

行政は、炭鉱の記憶施設と、文化によるまちづくりを推進するための財源やハード面の技術と、関連する条例の制定などの資源を持っていたが、文化芸術の運営に必要なネットワークや専門知識を持っていなかった

⁵ 教育委員長、教育長、教育部長ら

た。

市民は、世界的な作家の芸術作品を市民が気軽にふれあえる場としての企画や施設の維持管理という基礎的な資源を持っていたが、施設の運営に必要な資金などは持っていなかった。マスコミは、時に作家の「エリザベス女王への謁見」(久米 2014-170) や、今上天皇皇后両陛下の彫刻美術館への行幸啓などの報道を通じ、当施設が世界的な芸術・文化施設である旨の情報を発信するという資源を持っていたが、個々の運営に関するノウハウなどは持っていなかった。

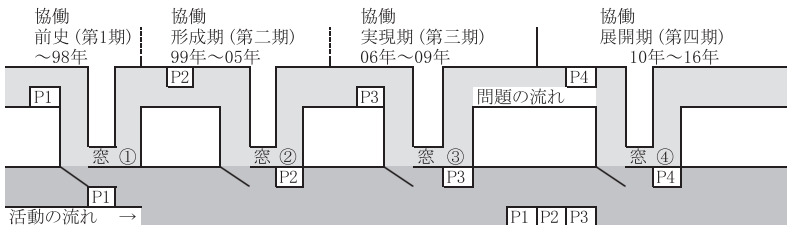
企業は、アルテ市民ポポロ制度に理解を示し団体会員になる資金を持っていたが、まちづくりへの熱意は持っていなかった。

協働の場としては、協働アクティビストの各個人が主として美瑛市と彫刻美術館の会合を活用した。

2 問題の流れ

第 1 期に、問題の窓①「開基 90 年（市制施行 30 年）に際し炭鉱の記念碑の制作を依頼」が開いた。この窓が開いたことを契機に問題① (P1) 「ファミリー公園に炭山の碑（やまのひ）を設置」が認識・定義され、問題の流れの中に投げ込まれた。問題① (P1) は、開いている問題の窓①を通過して、活動の流れの中に浮遊した。

図 3-1 協働の窓モデル概念図のうち「問題の窓」と「問題」(Problematic : P)



(運営・管理者は、継続及び期ごとに人の出入りがある協働アクティビスト)

第 2 期に、問題の窓②「安田侃の世界展作品の輸送等の財源不足」が開いた。この窓が開いたことを契機に問題② (P2) 「安田侃の世界展サポーター会議が発足」が認識・定義され、問題の流れの中に投げ込まれた。問題② (P2) は、開いている問題の窓②を通過して、活動の流れの中に浮遊した。特に問題①に関して協働アクティビストの沢田らは、開

基 90 年の記念事業とともに、炭鉱の度重なるガス爆発事故による犠牲者を悼む鎮魂という背景が存在していた。

同じく協働アクティビストの市民の若手や勝美は、問題の窓②を認識しているが、その背景には札幌で開催される世界展と、炭鉱を支えてきた従業員の多くの子弟が通っていた旧校舎・校庭等再利用の、彫刻美術館で同時開催される世界展を成功させなければという強い使命感を持っていた。このように協働アクティビストは、協働の契機となる問題を認識し行動していた。

第 3 期に、問題の窓③「NPO 法人運営の安定化の必要性」が開いた。この窓が開いたことを契機に問題③ (P3)「指定管理者制度の管理運営を受託」が認識・定義され、問題の流れの中に投げ込まれた。問題③ (P3) は、開いている問題の窓③を通して、活動の流れの中に入り浮遊した。

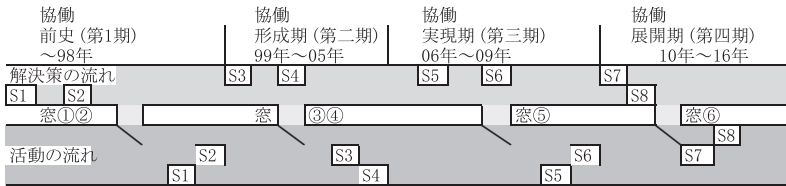
第 4 期に、問題の窓④「NPO 法人の財政事情は厳しい」が開いた。この窓が開いたことを契機に問題④ (P4)「緊急雇用創出推進事業受託」が認識・定義され、問題の流れの中に投げ込まれた。問題④ (P4) は、開いている問題の窓④を通して、活動の流れの中に入り浮遊した。

第 4 期の問題の窓④にあるように、NPO 法人の厳しい財政事情を踏まえ、問題③と④にみられる指定管理者制度による管理運営と緊急雇用創出推進事業の受託とともに、新たな対応策として市民自らが生み出す「アルテ市民ポポロ制度発足」を創設したことなどから、協働の実現可能性が高まった。

3 解決策の流れ

第 1 期に、解決策の窓①「彫刻作品を後世に伝えたい」が開いた。この窓が開いたことを契機に、解決策① (S1)「旧栄小学校体育館の改修工事着工」が生成・特定化され、解決策の流れの中に投げ込まれた。解決策① (S1) は、開いている解決策の窓①を通して、活動の流れの中に入り浮遊した。同じ第 1 期には、解決策の窓②「開基百年に際し、旧炭鉱町の整備」が開き、これが契機となって解決策② (S2)「アルテピアッツァ美唄条例の制定」が生成・特定化され、解決策の流れの中に投げ込まれた。解決策② (S2) は、開いている解決策の窓②を通して、活動の流れの中に入り浮遊した。なお、概念図には、解決策の窓①と②とをまとめている。

図 3-2 協働の窓モデル概念図のうち「解決策の窓」と「解決策」(Solution : S)



(運営・管理者は、継続及び期ごとに人の出入りがある協働アクティビスト)
 (解決策の窓は、期ごとに二カ所ある場合にあっても一つとして表示している)

彫刻作品を「後世に伝えたい」(安田 2014) とは作家が、まだ未整備であった旧栄小学校体育館で大理石の彫刻に取り組んでいる時に、好奇心の旺盛な栄幼稚園の「園児らに毎日窓の外からのぞかれながら、この子らが大きくなっても心に残るような作品に仕上げたい」(安田 2014) との思いがあったからである。

第 2 期に、解決策の窓③「一層市民参加の促進」が開いた。この窓が開いたことを契機に、解決策③ (S3)「市民ギャラリー開設」が生成・特定化され、解決策の流れの中に投げ込まれた。解決策③ (S3) は、開いている解決策の窓③を通して、活動の流れの中に入り浮遊した。同期においても解決策の窓④「市民参加組織の必要性」が開いた。この窓が開いたことを契機に、解決策④ (S4)「NPO 法人設立発起人が発足」が生成・特定化され、解決策の流れの中に投げ込まれた。解決策④ (S4) は、開いている解決策の窓④を通して、活動の流れの中に入り浮遊した。

なお、市民ギャラリーは、旧栄小学校木造校舎の二階にあり、重さが数百キロ程度と小型ながら親しみのあるもので、時に階下の幼稚園児らが作品に戯れている様子が見られるといった状態である。

第 3 期に、解決策の窓⑤「より一層の市民参加の必要性」が開いた。この窓が開いたことを契機に、解決策⑤ (S5)「安田侃・こころを彫る授業を開始」と後年度に解決策⑥ (S6)「非営利法人の熟練者が参入」が生成・特定化され、解決策の流れの中にそれぞれ投げ込まれた。解決策⑤ (S5) と解決策⑥ (S6) は、年度を隔て開いている解決策の窓⑤を通して、活動の流れの中に入り浮遊した。

解決策⑥ (S6) は、後に活動⑦で示される「内閣府元気再生事業」の受託が契機となるとともに NPO のネットワークなどから実現している。

なお、2010年度の地域を超えた市民の巻き込みを狙いとした、アルテ市民ポポロ制度の立ち上げは、改正NPO法の施行⁶(2012年)などが契機となっており、後に奏功し認定NPO法人(2014年)に認定されている。

第4期に、解決策の窓⑥「より広範の市民とのかかわり」が開いた。この窓が開いたことを契機に、解決策⑦(S7)「真無(まむ)野外コンサート大盛況」と次年度に解決策⑧(S8)「じん肺根絶の碑・寄贈設置」が生成・特定化され、解決策の流れの中にそれぞれ投げ込まれた。解決策⑦(S7)と解決策⑧(S8)は、年度を隔て開いている解決策の窓⑥を通過して、活動の流れの中に入り浮遊した。

なお、解決策⑦「真無野外コンサート大盛況」とは、彫刻公園の音の広場における30トンもの大理石を使用して造られた「真無」において行われたコンサートである。鑑賞に当たっては、地元の市民だけでなく地域を超えた多くの人々とともに享受しており、まさに、「より広範の市民とのかかわり」といった状況である。そして、「じん肺根絶の碑」は、炭坑や金属鉱山で働いていた人々がじん肺で苦しんだ労苦をしのび、北海道じん肺基金が作家に依頼したものを当彫刻美術館に寄贈されている。作家は、「大きく息を吸い込んで呼吸している肺を表現(聴き取り)して制作されたものという。

第2期において市は、2000年に開拓百周年・市制施行五十年記念式典を終え、彫刻美術館整備事業・第二期の策定を控えていたが、一般市民の関心は必ずしも高いとは言えなかった。このため、協働アクティビストの井坂らは、解決策の窓③「一層市民参加の促進」と解決策④「市民参加組織の必要性」を痛感し協働の参加者らと検討するとともに、協働アクティビストの勝見らを含む参加者らと市民の理解と組織作りに奔走している。このような中であって彫刻美術館は、2001年に北海道創設の「北のまちづくり賞」で知事賞を受賞している。そして、2003年には、

⁶ 特定非営利活動促進法(認定NPO法)は、2011年に改正された。主な改正点の概要は、次の通りである(内閣府等を参照)。^①優遇税制(税額の控除)認定NPO法人へ寄付した企業団体は、最大で寄付額の約半分が減税される。^②認証手続きの簡素化、柔軟化された。^③国税庁から主たる事務所の知事や政令市の長に所轄が変更された。^④NPO法人会計基準の採用。^⑤認定基準に絶対値基準(三千万円寄付者が)年平均100人以上)が設けられた。^⑥仮認定制度も創設された。

美唄と札幌で「安田侃の世界展」開催が決定し、イタリアから作品を輸送することになるが、大理石製でとにかく重く、ブロンズ製の彫刻作品では大きな容積であることなどにより、輸送費が大幅に不足することとなった。このため、「安田侃の世界展サポーター会議」が建築家を議長に結成され輸送費等の不足分を寄付で賄っている。

今上天皇皇后両陛下は、2003年7月3日に彫刻美術館を行幸啓され、沿道には4000人を超える市民が歓迎するとともに、4月に当選し報道でしか見たことがない高橋はるみ知事を始め随行員の多さに二度もびっくりしている様子が伝えられている。このため、市民の当施設への関心は、これを契機に爆発的な伸びを示したとされる。

4 組織のやる気の流れ

第1期には、組織のやる気の窓①「アルテピアッツァ市民有志の会発足」が開いた。これを契機に組織のやる気①(M1)「美唄市民のやる気」が生成され、組織のやる気の流れの中に投げ込まれた。組織のやる気①(M1)は、開いている組織のやる気の窓①を通して、活動の流れの中に入り浮遊した。

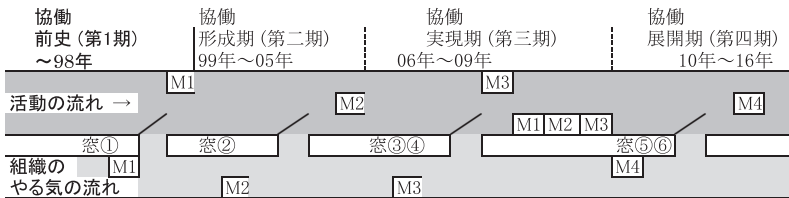
第2期には、組織のやる気の窓②「天皇皇后両陛下が行幸啓」が開いた。この窓が開いたことを契機に組織のやる気②(M2)「市民とNPO法人の一層のやる気」が生成され、組織のやる気の流れの中に投げ込まれた。組織のやる気②(M2)は、開いている組織のやる気の窓②を通して、活動の流れの中に入り浮遊した。

なお、当期には、活動③「彫刻美術館第二期整備事業開始」と活動④「NPO法人として設立」を契機としてやる気が一層高まっている。

第3期には、組織のやる気の窓③(NHK教育の)「新日曜美術館で放送」と組織のやる気の窓④「北のみらい奨励賞を受賞」が開いた。これを契機に組織のやる気③((M3)「NPO法人の一層のやる気」が生成され、組織のやる気の流れの中に投げ込まれた。組織のやる気③(M3)は、開いている組織のやる気の窓③④を通して、活動の流れの中に入り浮遊した。

一方当期には、NPO法人の運営資金が枯渇すると、組織そのものが消滅するかもしれないという協働の危機が発生した。この協働の危機を乗り越えなければならないとNPO法人の一層のやる気が高まっている。この結果、美唄市の指定管理者制度の管理運営を受託するための努力を

図 3-3 協働の窓モデル概念図のうち「組織のやる気の窓」と「組織のやる気」
(Motivation : M)



(運営・管理者は、継続及び期ごとに人の出入りがある協働アクティビスト)
(組織のやる気の窓は、期ごとに二カ所ある場合にあっても一つとして表示している)

開始している。

第4期には、組織のやる気の窓⑤「地域づくり総務大臣賞を受賞」と後年度に組織のやる気の窓⑥「北海道地域文化選奨を受賞」が開いた。

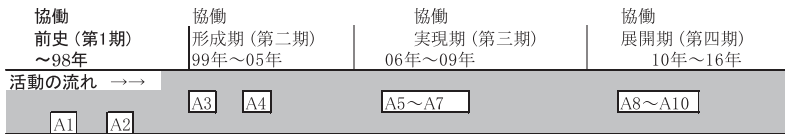
これを契機に組織のやる気④ (M4)「市民とNPO法人のさらに一層のやる気」が生成され、組織のやる気の流れの中に投げ込まれ、組織のやる気④ (M4)は、開いている組織の窓⑤と⑥を通して活動の流れの中に入り浮遊した。

なお、第3期の「日曜美術館で放送」と第4期「総務大臣賞受賞」及び「北海道地域文化選奨を受賞」を契機に、自然と調和した彫刻広場に興味を持つ市民のやる気とNPO法人のさらに一層のやる気が高まった。これら2つの組織のやる気は、協働への社会的注目度が大きくなった場合に高まっている。

5 活動の流れ

協働が必ずしも意図しない偶然性が生じた活動として、活動⑦ (A7)「内閣府元気再生事業を受託」があげられる。この事業は、内閣官房の地域活性化統合事務局が所管している事業で、彫刻美術館の協働とはまったく無関係に展開された活動にすぎなかった。しかし、これがきっかけとなって、子どもたちに対する芸術文化活動の支援や、市の基幹産業である農業への理解を含める食育への実施などから、関連団体との連携とともに体験による交流を促進する契機となった。さらに、NPO法人びばいには、解決策⑥ (S6)「非営利法人の熟練者が参入」し、非営利活動法人のマネジメントに詳しい加藤知美が参加している。協働アクティビスト各個人は、この偶然生じた活動を協働を意図した通常の活動に結び

図 3-4 協働の窓モデル概念図のうち「活動」(Activity : A)



(運営・管理者は、継続及び期ごとに人の出入りがある協働アクティビストである)

つけ対応している。

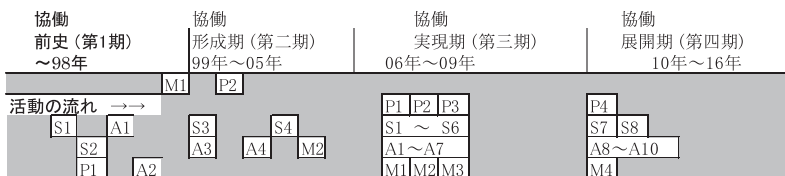
6 4つのパッケージ

第1期と第2期においては、活動等が部分的に結びついていましたが、パッケージを構成しなかった。

第3期には、協働アクティビストが、完全なパッケージを構成した。すなわち、問題 (P)、解決策 (S)、活動 (A)、組織のやる気 (M) を結び付け、パッケージを構成している。これにより、組織のやる気③ (M3) 「NPO 法人の一層のやる気」を含む協働が実現した。

第4期に次の3種類の窓が、ほぼ同時に開いた。解決策⑦ (S7) 「真無野外コンサート大盛況」(2010年)、組織のやる気の窓⑤ 「地域づくり総務大臣賞を受賞」(2010年)、活動⑧ (A8) 「音の広場に真無(まむ)・施設最大・設置」(2010年)である。これにより、協働の実現可能性が高まっている。

図 3-5 協働の窓モデル概念図のうち「4つのパッケージ」



(運営・管理者は、継続及び期ごとに人の出入りがある協働アクティビストである)

第4章 演劇のまち富良野^{ふらの}の戦略的協働

富良野市は、北海道のほぼ中央部に位置し、西方に芦別岳などの夕張山系、東方に十勝岳などの大雪山系に挟まれた富良野盆地の中心的な都市である。市の南方には、市域(60,071 ha)の約38%(22,716 ha)を占める東京大学大学院農学生命科学研究科附属演習林北海道演習林があるなど環境に恵まれた地域である。

なお、富良野市の「農産物生産状況」(富良野市2014)は、①水稲685.8 ha、②畑作：麦類2,278.7 ha、豆類201.4、甜菜^{てんさい}(beet)577.7、馬鈴薯^{ばいしょ}(じゃがいも)206.0、③野菜：玉ねぎ1,502.9、人参181.7、メロン175.0、スイカ132.0、スイトコーンほか713.2、④畜産：肉用牛4戸196頭、養豚3戸3,436頭、酪農28戸4,823頭、飼料作物2,009 haと面積の合計は8,673.4 haである。

1977年には、脚本家倉本聰の移住とアルペンスキーW杯フラノ大会⁷が開催されている。そして1981年になって倉本の原作によるテレビドラマ「北の国から」は、麓郷木材工業^{ろくごう}株の仲世古善雄が所有する山林を主舞台として、地元の全面的な協力の下その制作が開始されている。

なお、この放送によって富良野の注目度は、急激に向上し1984年当時の観光入込客数が250万人(富良野市)に達している。

当の作家は、1984年に俳優や脚本家の養成を目的とした富良野塾を開塾・主宰している。この富良野塾の活動を支援し地域の演劇活動に期待をよせる篠田信子ら市民グループは、1997年に市内に小劇場設立の必要性を呼びかけて富良野演劇文化財団設立準備会を発足させている。

富良野市の高田忠尚市長らは、地域の活性化にも関心を寄せていたことから、演劇によるまちづくりの可能性にも期待を寄せることとなった。

このような経緯から市民グループは、演劇の拠点づくりとしての「これまでにない全く新しい発想を持った拠点づくりの必要性が浮かびあがってきた」(FIELDS2013)。そして小劇場が建設されたならば、我らが面倒を見ると富良野演劇文化財団設立準備会を発足させている。1998年には「特定非営利活動促進法」(NPO法)が制定され、これを機会ととらえた先の設立準備会のメンバーは、その名称を「ふらの演劇工房」と改称し、1999年2月にNPO法人として国内第一号の認証を受けている。

⁷ 当ワールドカップ富良野大会は、以後1995年まで10回開催されている。

一方、この認証が全国に報じられ注目された背景には、非営利活動法人に対する運営費や人件費の財源が寄付行為に依存することにに対し懸念があったものと考えられる。

確かに寄附の実態については、「米国の一世帯当たり平均寄附額が82,940円であるのに対し、共同募金主体の日本では、3,200円」（樽見2007-235）という状況であった。

しかしながら、NPO法人活動に対する市民参加や、マスコミへの露出度が増すにつれ、富良野市民の理解も増加へと転じつつあったという。

富良野市は、幾多の懸案事項への対応策を経て2000年に「富良野演劇工場及び管理に関する条例」を制定して公設の小劇場「富良野演劇工場」（以下：条例等で定めがある場合を除き演劇工場とする）を設置し、演劇工場の運営・運営をNPO法人に委託するとともに、2004年度からは指定管理者制度を導入して同法人を委託先としている。なお、先ほど述べた観光入込客数については、「北の国からのブームが沈静化」（元田2009-132）した現在では、「177万人、うち宿泊客数44万人」（2013年富良野市）程度の水準となっている。

第1節 前史（第1期）

全国初のNPO法人設立前まで（～1997年）

1 市民

先述した劇場の設立などを呼び掛けた篠田信子は、作家の倉本が移住した翌1978年に社会福祉法人北海道社会事業協会富良野病院医師の夫と共に転入している。そして、1997年には、先述した富良野演劇文化財団設立準備会の発足に際し、事務局長に就くとともに事業内容の充実化に向け奔走している。

なお、作家は、1976年に自作・脚本によるTBS系列日曜劇場千回記念番組「幻の町」を小樽で収録している。「特別出演の北島三郎に対し見物者が大喝采。……この北島人気を把握するため青森や黒石を巡る演歌の公演に同行した。北島と客席とのやり取りを見ると、年齢や性別、職業や身分など一切の区別がなく、対等であった。これまでは上からの目線で仕事をしてきたが、テレビドラマは大衆の作品だとし、これからは市民の目線でドラマを書く」（日経15.8.19）と述べている。

一方、富良野市は、1969年に北海道のほぼ中央部ということで毎年7

月下旬に「へそ祭り」を開催している。1979年に青年会議所理事長の仲世古善雄は、「市民劇団ラ・ノンブリ (nombril 仏語のへそ) を」(北海 12.7.25 夕刊) K. C らと立ち上げている。これらの活動は、現在でも市民劇団「へそ家族」として継続している。

2 行政 (富良野市、国)

富良野市は、1966年に「富良野町と山部町が合併」(富良野市史 1994) して誕生している。1972年には、富良野市ぶどう果樹研究所を開設し六年後に「ふらのワイン」として販売している。富良野チーズ工房は、1983年に設立する。さらに、1980年代には、生ゴミの埋め立て処分による「スイカやメロン畑におけるカラスや狐の食害」(北海 16.5.10) が多発するとともに悪臭が問題となっていた。このため、市では、生ゴミの堆肥化に取り組んでいる。

国は、1974年になって国土庁の設置と、1987年に総合保養地域整備法 (通称リゾート法) を施行している。

3 企業

西武鉄道グループ元オーナーの堤義明は、1974年に北の峰プリンスホテルそして、1988年に清家清設計による富良野新プリンスホテルを開業している。

日本国有鉄道は、1981年に石勝線を開通させており、北海道東部に向かう特急列車は、臨時便を除き富良野駅を通過していない。その後、国鉄は、1987年4月に廃止され北海道旅客鉄道株式会社等に分割民営化となり事業継承されている。

演劇のまち年代記

表 4-1 全国初の NPO 法人設立前までの協働前史

(第 1 期、～1997 年 12 月)

年	月	市民	行政	企業その他
1896			富良野原野殖民地区画の策定	・民法施行
1897		福岡県出身の中村千幹らは、筑後組合農場を興す。		

年 月	市 民	行 政	企業その他
1899		富良野村戸長役場の開庁 東京大学が木材収入を目的に演習林を設置する。	・商法施行
1900		旭川間の鉄道が敷設・開通	・未成年者喫煙禁止法が施行
1903		下富良野村戸長役場の開庁	・ライト兄弟が動力飛行成功
1908		下富良野村から、南富良野村が分村する。	・刑法が施行。1907年には、旭川～釧路間の鉄路が開通。
13		滝川と富良野間に鉄道が開通する。(現根室本線)	北海道中央経緯度観測標が設置する(市指定文化財)。
26			・上富良野町等の十勝岳周辺では、泥流に被災する。
33			・えりも町は、昭和三陸津波被災する。
35	倉本聰こと山谷聲が出生(1934年12月31日出生)		・全道で冷害凶作や水害に見舞われる。
44	山谷が山形県上山に学童疎開		・東南海地震発生(12月)
45	山谷が岡山金光町に学童疎開		
47		第一回全道滑降競技会が開催される(スキー)。	・日本国憲法 S22.5.3 施行 ・学校教育法 S22.4.1 施行 ・私的独占の禁止及び公正取引の確保に関する法律が施行
49		東山地区に平沢小学校が開校	・刑事訴訟法・少年法施行
55	東京大学文学部入学。俳優座の劇団等に参加(山谷聲)。	旧山部村は、世界連邦平和都市宣言に道内初として加盟する。	・社会党が再統一、保守合同。富良野芦別道立公園が誕生。
56		富良野町となる	・日本が国際連合に加盟
58			富良野芦別道立公園が、道立自然公園に指定(4市1町)。
59			・伊勢湾台風

芸術文化主導の自治体政策 (2)

年 月	市 民	行 政	企業その他
60			<ul style="list-style-type: none"> ・日本国とアメリカ合衆国との間の相互協力及び安全保障条約の協定が成立する。 ・所得倍増計画策定
1963	作家は、脚本家となる。		・ケネディ大統領が暗殺
66		富良野市がとなる。 市長に高松竹次が就任する。	・中華人民共和国文化大革命
70		ごみの分別化を開始する。 北海へそ祭りが再開する。	
72		富良野市ぶどう果樹研究所が開設され、六年後から「ふらのワイン」を販売する。	・連合赤軍あさま山荘事件
74		国土庁設置	堤義明ら西部グループは、北の峰プリンスホテルを開業する。
77	作家が富良野に移住する※	オーストリアのシュラートミンク市と友好都市提携。	アルペン・スキー W 杯 ブラノ大会が開催 (1995年迄 10 回)。
78	篠田信子が、転入する。 市民演劇への関心 ※	市長に滝口國市郎が就任する 兵庫県西脇市と友好都市を締結する。	ふらのワインが発売される。
79	ごみの埋め立て処分で、スイカやメロンのカラスや狐の食害と悪臭が問題視される。		仲世古善雄青年会議所理事長らは、劇団ラ・ノンブリを立ち上げる。
81		ごみ分別収集で生ゴミの堆肥化が促進される。	北の国からの放送が始まり富良野が注目される。 ※
82			<ul style="list-style-type: none"> ・浦河沖地震発生 ・「駅」キネマ最優秀脚本賞
83	作家は西布礼別心和農場の原野を借地し、富良野塾を建設	(株)ふらの農産公社設立十年後富良野チーズ工房設立。	<ul style="list-style-type: none"> ・インターネットが誕生 ・「北の国から・83 冬」
84	作家が富良野塾を開設する※		<ul style="list-style-type: none"> ・電電公社民営化法成立 ・「北の国から・84 夏」 ・「昨日・悲別で」

年 月	市 民	行 政	企業その他
85			「昨日、悲別で ON STAGE」 (舞台初演年度)
86			「ライスカレー」 山路ふみ子文学財団特別賞
87	富良野塾四期生に高齢者が入塾する。	総合保養地域整備法～通称リゾート法施行・法律第71号	「北の国から 87 初恋」 ・北海道旅客鉄道が設立する
88			「谷は眠っていた」を上演。 ・十勝岳噴火、群発地震多発
89			・消費税導入3% 「北の国から 89 帰郷」
90		九十年代前半に大手不動産社のリゾート構想に対し市は、田園風景を守ると回答する。	「今日、悲別で」 「火の用心」 ギャラクシー賞大賞
92			「北の国から 92 巣立ち」
94		高田忠尚が市長に就任する。	・関西国際空港が開港
95			新富良野プリンスホテル前にニングルテラスを開設する。 「北の国から 95 秘密」
96	篠田らが市民の組織化に奔走 ※		・衆議院選小選挙区比例代表 モンブラン国際文化賞受賞
97	9 市民が富良野演劇文化財団設立準備会を設立 ※		・消費税が5%に

当年表は、聴き取りのほか、次の資料等で補い作成した。
『北海道新聞』、樽見（2007）、活性化計画、富良野市、北海道町村課、北海道、ふらの観光協会。

第2節 協働形成期（第2期）

ふらの演劇工房設立から市民プロデューサー育成事業開始まで
(1998年～2003年)

1 市民

第1期の富良野演劇文化財団設立準備会は、1998年にふらの演劇工房と改称して篠田信子が事務局長に就くとともに、NPOの法人格取得を目指し設立総会を開催している。このように同年のNPO法の施行は、構想実現に向けての大きな原動力となっている。当初財団法人の設立には、「約三千万円に上る基本財産集めが壁となっていた」（読売99.1.1）だけに渡りに船であった。

年末には、特定非営利活動法人の申請書類を北海道上川支庁（現上川総合振興局）に厳寒の早朝から協働の参加者で司法書士の藤田嗣人が運転する国産オフロード・スポーツ用多目的車で駆け付け「朝一番で提出」（一般財団法人地域創造15号）している。翌1999年の2月には、「NPO法人の国内第一号」（小島2009）として認証を受け、NPO法人ふらの演劇工房（以下：ふらのNPO法人とすることがある）の定時総会で理事長に篠田悠一を選出するとともに、演劇工場の管理・運営を受託する旨を加えた定款に改正している。なお、NPO法人の仮事務所は、末広町に開設している。

当時の高田市長は、作家やふらのNPO法人の役員らと協議するとともに懇談を重ねている。その中でNPO側は、市長に創る、癒す、育むという豊かさを実感する要素によって、演劇によるまちづくりを提案する。

翌2000年2月にNPO法人は、富良野市教育委員会と演劇工場の管理・運営に関する協議を開始するとともに、4月の新年度予算から管理・運営の委託額を二千万円と提示され受託している。

富良野市は、限られた歳出予算であることから、外構工事の全てを賅うことが困難であった。このため、ボランティアが率先してNPO法人の役員らと共に、駐車場と道路の法面の石積み^{のりめん}などに汗だくで格闘したという。

2002年には、市民劇団「へそ家族」（朝日15.10.19）が誕生している。

なお、演劇工場の工場長には、当初篠田信子が就いていたが、その後、

作家主宰の富良野塾十期生であった太田竜介が首都圏から移住し引き継いでいる（2002年）。

1998年には、富良野協会病院の介護老人保健施設ふらのに「長崎県から作業療法士の川口淳一が着任」（樽見 2003-126-128）し高齢者や幼稚園児らを対象に演劇リハビリテーションを開始するとともに、翌年にはNPO法人と協働で市民を対象に演劇リハビリテーション事業として引き継がれ、老人保健施設でのワークショップや演劇リハビリ指導者ワークショップ（work shop 以下 ws）を開始する。

さらにNPO法人の活動は、舞台公演のほか映写技術 ws、映画、舞台技術初級講座、朗読 ws、北海道舞台塾ふらの等事業、音楽会の開催、北海道へそ祭りへの参加、演劇工場まつり、小中生対象の演劇アカデミーの開始、観客等の足を確保するためにバスのチャーター、市民プロデューサー養成事業、NPO法人の会員（賛助会員三千円、議決権付正会員一万円）制度の設置、さらに市民や企業のボランティア・スタッフ（約120名）との協働による運営体制への確立など多岐にわたり行っている（出所：NPO法人）。

2 行政（富良野市・教育委員会、国）

国は、1998年に「特定非営利活動促進法（NPO法）」の施行や、「中心市街地活性化に関する法律」を施行している。

富良野市長は、作家やNPO法人の役員らとの三者協議を実施している。演劇工場の諸設備の設計・施工には、作家の意向が十分に反映されており、舞台は袖に至るまで広く使いやすく、リハーサルも容易であり、ヒノキ材でないために大道具などの舞台工作も容易で飛び跳ねる役者の膝も痛めることなく、さらに、客席は詰められる長腰掛けを設置するとともに、衣装製作室の工夫や、観客室の後部別室にはガラス張りの親子室を設けるなど様々な工夫⁸がなされた。そして、劇場の場所は、中心市街地から大きく離れている里山に設置するなど、従来の芸術・文化施設の多くにみられるような画一的タイプとは全く異なった、新しい発想のもとに創られた劇場の誕生であった。

富良野市は、2000年に「富良野演劇工場設置及び管理に関する条例」を制定するとともに、予算を確保するため「補助金等に係る予算の執行

⁸ 演劇工場より聴き取り。

の適正化に関する法律（昭和30年法律第179号）」に基づき目的外使用などの規制が特に厳しい、国からの補助金の申請や地方債の発行などで財源確保に努めており、工場の運営は法人格を持った民間団体に委託するとの方針の下、同年の演劇工場完成後、いわば「公設民営」（樽見2003-68-69）としてNPO法人に引き渡している（10月）。

高田市長、澤井教育長そして、作家やNPO法人との三者懇談は、次年度以降も引き継がれ実施されている。

国は、2003年に「地方自治法の一部を改正（平成15年9月2日施行）」している。これにより、公の施設の管理は、指定管理者制度の導入で法人その他の団体⁹に行わせることができることとなった。

3 企業等

富良野商工会議所は、1999年に「北の文化フォーラム」を開催するなどNPO法人が実施する活動に協力している。

ふらの農協（JAふらの2018年現在1283戸）は、2001年に上川南部5市町村の7農協¹⁰が合併して誕生しており、関連事業として労務の請負、食料・雑貨店、葬祭・法要（株富良野紫雲社）など手広く手掛けている。

地元の新聞社は、演劇工場について次のコメントを残している。「演劇工場は、市を愛しリードする信念・勇気・情熱の人による先駆的な熱意の建造物として、素晴らしく見えた……やがて新しい富良野の市民文化を育みその向上に寄与するものとして今に市民が誇るであろう、大いなる富良野の象徴的な殿堂になるのではないかという気が……した。難産（する）ほど大きく育つ」（日刊富良野新聞2000,4.13）。

富良野商工会議所などは、中心市街地において地域の食資源等を提供する場としての役割やまちの活性化を目指し、市民目線での企画立案や事業を実施する目的で、富良野市やふらの農協との出資による「ふらのまちづくり会社」を設立する（のちに中心市街地活性化事業の受け皿となる）。

⁹ その他の団体は、公社や企業、NPO法人が含まれ、かつ、地方公共団体が条例で指定するもの。

¹⁰ 富良野、東山地区、山部、上富良野、中富良野、南富良野、占冠村の旧農協と合併。

表 4-2 ふらの演劇工房設立から 市民プロデューサー育成事業開始までの協働形成期

(第 2 期、1888 年 1 月～2003 年 12 月)

年	月	市 民	行 政	企業その他
1998	4	「ふらの演劇工房」が設立される。 NPO 法人の必要性 ※	特定非営利活動促進法施行される (NPO 法)。 中心市街地の活性化に関する法律が施行される。	・民事訴訟法施行 「北の国から 98 時代」 「もしもあなただったら～富良野警察物語」 オメガー・アワード国際賞、文化庁芸術祭テレビドラマ部門大賞で作家が受賞する。
		ふらの演劇工房通信発行開始		
		富良野協会病院「介護老人保健施設ふらの」で川口淳一作業療法士による演劇リハビリテーションが開始される。		
	11	特定非営利活動法人ふらの演劇工房設立総会を開催する。		
	12	NPO 法人の申請書類を朝一番で上川支庁に提出する。		
1999	2	国内初の特定非営利活動法人として認証される。 ※	市長、作家、工房協議、九月市長が NPO 法人と懇談する。	・臓器移植に関する法律に基づく初の脳死臓器を移植。
		定時総会、理事長篠田悠一、定款の改正、演劇工場の管理運営受託等を決議する。		
		NPO 法人仮事務を開設する。 演劇リハビリテーションと、演劇ワークショップ開始 ※		
2000	2	教育委員会と劇場の管理・運営に関する協議を開始する。	富良野演劇工場設置及び管理に関する条例を制定。 ※	・介護保険制度開始 作家が、紫綬褒章を受ける。
	4	NPO 法人は、演劇工場の管理運営を受託する。 ※ 受託料二千万円		
		市民と工場の石積み作業		

芸術文化主導の自治体政策 (2)

年	月	市民	行政	企業その他
2000	10	演劇工場落成記念式典と一般公演で・富良野塾グラフィティを公演する。	設計には、作家が関与する。鉄筋三階建、客室三百音七席	
		篠田信子が工場長等になる。太田竜介十期生が移住する。	衣装室、親子室等～8.7億円 市長、作家、工房協議、十月 演劇工場引き渡し式挙行。	
2001	4	富良野演劇アカデミーの開始(小中生が対象) ※	高田市長・澤井教育長と作家そしてNPO法人理事との三者懇談が開始される。	・中央省庁の再編 ・小泉内閣発足
	5	篠田信子は、理事長・工場長となる。富良野塾と塾OB公演が開始する。 ※		ふらの農協が誕生。上富良野・中富良野・富良野・山部・東山・南富良野が合併する。
2002	5	太田竜介は、工場長となる。	ごみを燃やさない・埋めないの理念に基づき、ごみ焼却炉は廃止となった。 市長・教育長、倉本、理事らが懇親会を行う。	・住民基本台帳ネットワーク開始 「北の国から2002 遺言」
	10	第二回・富良野演劇工場祭り 作家が、北海道新聞文化賞特別賞受賞。富良野塾が、北海道地域文化選奨を受賞。		
2003		NPO法人の年会費は、正会員が一万円、議決権なしの賛助会員が三千円と決定する。	下富良野村戸長役場から百年となる。	・イラク戦争開戦 作家が、富良野市名誉市民となる。 向田邦子賞の「北の国から二千二遺言」 ふらのまちづくり会社が設立商工会議所・市・農協などが出資(10年フラノマルシェ)。
		市民プロデューサー育成事業を開始する。 ※		

当年表は、聞き取りのほか、次の資料等で補い作成した。
『北海道新聞』、長崎県、小島(2009)、活性化計画、総務省、樽見(2007)、富良野市、NPO法人ふらの。

第3節 協働実現期（第3期）

演劇工場の指定管理者から富良野塾閉塾前まで
(2004年～2009年)

1 市民（地元企業を含む）

2004年6月にNPO法人は、指定管理者制度の全国第一号として富良野市から演劇工場の管理を受託しており、その受託額は「1,452万円」（全国公立文化施設協会）である。

NPO法人が取り組んでいる活動は、引き続き「演劇に関する各種セミナーの開催、高校での演劇支援、高齢者を対象とした演劇リハビリテーションなどの演劇ソフト事業を中心に積極的に活動」（文科省2005）しているが、当面、多数のボランティアの支援による環境美化清掃等の活動であった。そして、演劇工場活性化計画検討委員会¹¹を開催している。

2004年10月には、「全国アートNPOフォーラム」（北海4.12.16-夕刊）が札幌で開催されこの中で23日に理事の篠田が「市民の目線」での運営を強調している。

一方、NPO活動の進展に伴って、市民劇団の充実化や、多くの小中学生を含む市民劇団等の市民による芸術活動の支援、各種wsの開催、創・楽・学・育に係る一層の推進、さらに一層の演劇によるまちづくりへと発展している。

2005年の演劇に関する先進地調査は、「NPO法人が劇場を運営し特にシェイクスピア作¹²による演劇公演等が全米で有名とされるオレゴン州のアシュランド市」（アシュランド視察2005）へNPO法人からは4名が訪問・調査を行っている。そして、報告書（概要）によれば、NPO法人が目指すべきことは、①地域社会への奉仕性や独自性の重視、②観光シー

¹¹ 委員会のメンバーは、及川健司富良野文化協会会長、宮武一典小中校長、山崎夏江幼稚園長、陰川のりおやこ劇場、NPO法人から西本伸顕理事長、森田武副理事長、広瀬寛人事務局長そして、篠田信子理事、横市英夫理事らである。

¹² 1920年当時アメリカ国民の出身は、欧州からの「白人94,821千人（89.7%）うちイギリスから39,216千人（白人の41.4%）、（先住民は）244千人（First Nations原文旧称のインディアン）、黒人ほか10,645千人」（斎藤眞1920-127）といった事情から「16～17世紀英国演劇」北海（17.1.25）への愛好家が多いものと考えられる。

ズン（7～8月、1～2月）のロングラン公演等であるとする。

一方、当演劇工場の運営における成功要因として、「①市民ボランティアの協力、②補助金・助成金の有効利用、③赤字を出さないという決意、④演劇人・著名人からの支援、⑤倉本の存在」（樽見 2003-85）等が挙げられている。

2005年には、倉本が芸術自然文化の振興を通したまちづくりの推進で北海道功労賞を受賞している。その表彰にかかわる記念誌の中で作家の移住から28年の付き合いという仲世古善雄（㈱富良野総研代表取締役）は、「人間の成長の過程には、様々な体験を通して、激しさや遊びや耐えることを学び、その中から本当の人の痛みや哀しみ、喜びや優しさを知るのではないだろうか」（北海道 2005:62）と祝意で述べている。ちなみに作家は、仲世古より麓郷の森、五郎の石の家、拾ってきた家などの土地を借りている。

一方、作家が主宰し役者や脚本家を養成する富良野塾の卒塾者による「富良野塾 OB ユニット」は、2009年に若手俳優が富良野を拠点に演劇を行う役者のグループとして誕生している。

2 行政（富良野市・教育委員会、国）

富良野市は、平成16年3月「富良野演劇工場設置及び管理に関する条例の一部改正」を行い、「条例の中に指定に当たっての審査基準として、平等な利用機会の確保、サービスの向上、管理費用の効率性、安定した管理能力などを盛り込み、多面的な観点から総合的に審査する仕組みを規定した。また、市では、行政の公平性及び透明性の観点から公募を行うこととし、商工会議所の代表や、演劇の専門家などを含む7人の選考委員によるそれぞれの項目について数値化（5点満点×20項目）による審査を経て、指定管理者としてふらのNPO法人が指定」（文科省 2005）された。

ちなみに2005年度～2008年度の指定管理料は、年額二千万円である。なお、2009年に改訂が行われ2013年度までは、二千六百万円に増額している。

2006年には、市長選が行われ高田市長から能登市長へと引き継がれており、翌年に市民等の協力を得てゴミの分別化をさらに進めるとともに、燃やさない・埋めないなどが評価されて「環境に優しいまち」（ブランド

総研)として二年連続で日本一となっている。2008年度には、「富良野演劇工場設置及び管理に関する条例が全部改正」(市議会 2008)される。

国は、北海道総合開発計画・第七期を閣議決定し、国土審議会北海道開発分科会で地球環境問題の重要な課題を踏まえて北海道の資源・特性

表 4-3 演劇工場の指定管理者から富良野塾閉塾前までの協働実現期

(第 3 期、2004 年 1 月～2009 年 12 月)

年	月	市民	行政	企業その他
2004	6	NPO 法人は、演劇工場の指定管理者となる。 ※	平成十六年度六月より指定管理者制度導入。富良野演劇工場設置及び管理に関する条例の一部改正。 ※	・営団地下鉄が民営化され東京メトロとなる。
		一層の演劇によるまちづくりの必要性。 ※		
2005		環境美化清掃～ボランティア	五年～八年度の指定管理料は二千万円。	・郵政民営化関連法案が成立 作家が、北海道功労賞を受賞「優しい時間」のテレビ放映で、ニングルテラスが人気に「祇園ばやし」 ・知床が世界自然遺産に登録
		演劇工場活性化計画検討委員会を開催する。 ※		
		多数のボランティアは、事業を支援している。 ※		
		オレゴン州アシュランドで、先進地調査を実施する。 ※		
2006		市民劇団の充実化に努める。 ※	能登芳昭が市長に就任する。	作家が、富良野自然塾を主宰 ・会社法施行 ・日ハム優勝 (44 年ぶり)
2007		市民による芸術活動の支援を行う。 ※	環境にやさしいまち全国一に二年連続、ブランド総研発表	卒塾式で閉塾発表 (2010.3)
2008		創・楽・学・育を一層推進する。 ※	北海道総合開発計画・第七期閣議決定	・中国輸入餃子から殺虫剤 ・リーマン・ショック
			中心市街地の活性化基本計画承認される (11 月 11 日)	
2009		富良野塾 OB ユニットが、旗揚げする。	年間指定管理料九年～十三年 二千六百万円	・裁判員制度が開始 「歸國」原作：棟田博

当年表は、聞き取りのほか、次の資料等で補い作成した。
『北海道新聞』、樽見 (2007)、北海道、NPO 法人ふらの、全国フォーラム、富良野市。

を活かした開発を進める旨を強調している。

内閣府は、富良野協会病院跡地 77 ha の利用を対象とした「中心市街地活性化基本計画」を 2008 年 11 月に認定している。建設計画の主な内容は、主として地場産品を提供するフラノマルシェ等を官民一体で取り組む内容である。

3 企業

前述の中心市街地活性化事業の事業主体には、2003 年に第三セクターの「ふらのまちづくり株式会社」が設立されているが、代表取締役にふらの NPO 法人理事長の西本伸顕が就任している。

毎年恒例のふらの演劇祭¹³は、各種団体と企業の支援や市民の協力で秋季に行われている。

第 4 節 協働展開期 (第 4 期)

富良野 GROUP 結成以降 (2010 年～)

1 市民 (地元企業も含む)

作家・倉本が主宰して役者等を養成していた富良野塾は、演劇工場で「谷は眠っていたという開塾当時の塾生たちの生活を描いた演劇を 2010 年に公演」(朝日 10.4.5)し閉塾している(卒塾者は延べ 375 名、2 期生が芥川賞を受賞¹⁴する)。

したがって、演劇工場を主たる公演の場としていた演劇集団は、「富良野 GROUP」を結成し、「倉本とフランチャイズ契約」(全国公立文化施設協会)を締結し、自主公演等を開始することとなり 2016 年現在も継続実施している。

富良野塾の閉塾後、NPO 法人等の活動概要は、次の通りである。

卒塾生の松本は、富良野高校の「身体表現 A の授業」(朝日 15.10.19)で、母音の発音などを指導している。

¹³ 主催／ふらの演劇祭実行委員会、共催／(財)北海道文化財団、助成／(財)地域創造、後援は北海道、北海道教育委員会、富良野市、富良野市教育委員会、占冠村、占冠村教育委員会、富良野市文化団体協議会、富良野芸術文化事業協会、北海道新聞社富良野支局、日刊富良野新聞社、出所：(富良野イベントカレンダー 2016.5)

¹⁴ 山下澄人が 156 回芥川賞を受賞する (北海 17.1.20)。

NPO 法人は、2011 年に地域に根差した活発な文化活動や文化支援活動を行い、地域文化の振興に貢献したと認められ、「平成 22 年度北海道地域文化選奨」（北海道平成 22 年）を受賞している。

演劇工場の太田工場長は、市内の市民団体の会合で「演劇によるまちづくり」を題目として講演するとともに、企業の創立記念事業において富良野塾 OB と市民劇団へそ家族との協働で演劇『百年 GO!』の脚本と演出を担っている。

市民のボランティアは、小中学生や市民の演劇等による「ふらの演劇祭」や、コンサートなど盛りだくさんな催しの「演劇工場祭り」などの活動をサポートし祭りなどを盛り上げている。

NPO 法人は、文化庁から平成 26 年度（2014）「劇場・音楽堂等活性化事業の活動別支援事業により公演で 5,444 千円、普及啓発で 1,083 千円を、翌年度には公演で 6,585 千円、普及啓発で 919 千円」（文化庁芸術文化課 2015 年度）の交付を採択されている。

NPO 法人は、2015 年度の役員¹⁵を選出した。

富良野 GROUP の俳優は、「北海道教育大学旭川校で教師に必要なとされるコミュニケーション能力などを育成する講座」（産経 10.3.29）を受け持っている。

作家・倉本は、（健康上の理由から）「演出はやめる」（朝日 16.1.12）と発表する。

2 行政（富良野市・教育委員会、国）

2010 年には、市長に「能登芳昭が再選」（北海 14.4.14-夕刊）され、同年度の演劇工場管理運営事業費は、25,810 千円が計上された。その内容は、施設運営消耗品、設備の保守管理委託料、水道光熱費、舞台設備の維持管理費、イベント開催の広告宣伝費等である。なお、施設利用人員は、2007 年から 2009 年度の平均で約三万五百名であった。

市は、「富良野市中小企業振興条例」で示される団体の中に NPO 法人を含み内容を（平成 24 年 1 月 26 日）改正した。そして、「富良野演劇工場設置条例」や「富良野演劇工場設置及び管理に関する条例」を大幅に

¹⁵ 理事長：瀬川謙二郎、副理事長：荒木徹、野呂宏子、事務局長：太田竜介、理事：青木賢亮、秋田恵、足立敬太、伊東忠、桐澤博、黒岩優佳、今野富士保、篠原綾子、城寶和広、福岡榮一、山崎夏江、監事：鷹嘴充子、三瀬博之である

改正している。さらに、「富良野市公の施設に係る指定管理者の指定手続きに関する条例」に関する事務を教育委員会に行わせることが出来る旨改正している(2014年)。

次に、市のまちづくりに関連するこの時期の事項としては、近隣町村との連携でゴミ処理施設の分担や十四種類¹⁶に及ぶ資源ゴミの分別化、有害物質のダイオキシンを出さないため「燃やさない」、鳥獣類の食害や悪臭を防止するため「埋めない」等々、「リサイクル都市」として充実をはかった。

ゴミの再生利用率は、91%(2014年度)であることは富良野方式と全国から注目されており観光客からも好評である。

2013年9月の中心市街地宣言に続き、12月に「富良野地区定住自立圏(多自然居住拠点都市)形成に関する協定を上富良野町、中富良野町、南富良野町そして占冠村との間で締結」(富良野市2014)している。

2014年には、高齢者の地域見守り活動に関する協定を市民生活協同組合のコープさっぽろとの間で(2月12日)、4月8日にはホクレンの移動販売車による見守りをふらの農協との間でそれぞれ協定を締結している。

国により採択された補助事業は以下。それは、文化庁が①富良野GROUPによる「明日、悲別で」の、「2012夏と2013冬の公演」(FIELDS2013)を、国交省が②中心市街地活性化基本計画第二期「フラノマルシェ2」(北海15.9.17)を、経産省が③観光地づくり支援対象にふらの観光協会のプラン「演劇工場、水や森の役割などを役者が朗読、散策路歩き、役者が農作業の現場で演じる農業の歴史を五感で体験」(北海15.6.5)等。

3 企業

大北グループは、2014年8月2～3日に創立70周年記念事業で、富良野塾OB×市民劇団へそ家族による公演『百年GO!』を入場無料で開催している。

¹⁶ ①生ゴミ②紙屑・木製品・衣類など③枝・草④空き缶・金属類⑤乾電池類⑥新聞雑誌・段ボール⑦大型ごみ・電気製品⑧空き瓶・陶器類・ガラス⑨灰⑩ペットボトル⑪プラスチック類⑫おむつなど⑬動物の死骸⑭消火器・タイヤなどの処理困難物(北海16.5.10)

表4-4 富良野 GROUP 結成以降までの協働展開期
(第4期、2010年1月～2016年3月) 2017年の特記事項も記載

年	月	市民	行政	企業その他
2010		富良野 GROUP を結成する (以下：富良野グループ) ※	能登芳昭市長が再選される。	富良野塾が閉塾する。 ※
		富良野塾とのフランチャイズ契約で自主文化事業を開始。 二十一年度は、一万四千人の鑑賞者が訪れる。	演劇工場管理運営事業の計上額は、2,581万円。 施設運営消耗品、設備の保守管理委託料、水道光熱費等、舞台施設の維持管理等、イベント開催の広告宣伝等。 利用延べ人員～七年度 28,506 八年度 32,414、九年度 30,650	(延べ三百七十五名の卒業生) 作家は、旭日小綬章を授与される。 FURANO MARCHE がオープンし地元食材によるおいしさを提供している。 ・改正刑事訴訟法が施行死刑相当罪の公訴時効が撤廃
2011	2	北海道地域文化選奨を受賞 ※		・皆既月食が観測
	6	ボランティアが環境美化実施		「マロース」(Мороз) を上演開始する。
2012		富良野塾十一期生の久保隆徳は、富良野クリエイティブ・シンジケートで活躍中。	富良野グループは、文化庁の補助事業で道内公演等実施。	・東京スカイツリーが竣工。
		NPO 法人と富良野グループは、演劇を通じ地域との連携に取り組んでいる ※	「明日、悲別で」(夏と冬) 「注文の多い料理店」結城座 富良野市中小企業振興条例で対策事業の見直しを行う。	富良野グループは、東日本大震災被災地十四カ所で無料公演「明日、悲別で」を実施する。
2013		作・演出～福島カツシゲ「嫁にこないかあ！」出演八名 演劇工場、中富良野、上富良野、占冠、南富良野、岩見沢 幕別、釧路で公演。	ごみの分別化は、十四種で再生利用率約九十%と「富良野方式」とされ全国的に注目。 定住自立圏の形成に関する協定を富良野市と、上富良野町 中富良野町、南富良野町そして占冠村との間で締結する。	・JR 北海道が、脱線事故。 レール幅の隠ぺい、データ改ざんが明るみとなる。 富良野塾二期生山下澄人が、コルバントリで芥川候補となる。候補三度目。 ・金環日食が観測。
	8	「夜想曲」を東日本被災者への鎮魂歌として工場で上演。		

芸術文化主導の自治体政策 (2)

年 月	市 民	行 政	企業その他
2014	ふらびズム協議会開催の「演劇によるまちづくり」で太田工場長が講演する。	能登芳昭市長が再選される。 高齢者の地域見守り活動に関する協定を富良野市と、生協コープさっぽろとの間で締結	「マロース」～鳥インフルエンザ風評被害について、レイチェル・カーソン(沈黙の春)の作品をヒントに制作。
	NPO 法人が引き続き指定管理者となる ※	富良野演劇工場設置条例の全部と、指定管理者手続き条例が改正される。 ※	水谷龍二脚本の乙女の祈りを 富良野塾 OB ユニットで公演
	富良野グループコミュニケーションプログラムを富良野市委託業務コミュニケーション教育推進事業で受信等実施。	富良野市公の施設に係る指定管理者の指定手続きに関する条例。 ※	長万部町：宝くじ文化公演 (自治総合センター助成) ・消費税が8%となる。
	大北グループ創立七十周年記念事業、※ 富良野塾 OB と市民が共演。	魅力度ランキングで全国市区町村で第六位、ブランド総研	・ウクライナ東ドネツク州でマレーシア航空機墜落事件
	ふらの演劇祭、小中生、市民劇、富良野演劇工場まつり。	環境にやさしい町～ごみ分別十四種類、リサイクル率九十% 目標は、九十五%へ。	・改正少年法が成立。 懲役、禁錮の有期刑の上限が五年引上げ二十年に。
			富良野オムカレーの道内経済波及効果約十億と発表する。
2015	「水のかげら」富良野塾 OB ユニット公演、太田竜介脚本演出、工場、占冠、上中南各富良野、滝川、帯広、釧路で十一月まで公演。	定住自立圏構想・多自然居住拠点都市に取り組む。 中心市街地の活性化基本計画第二期が承認される。(10月17日)	フラノマルシェ入場者が三百万人を達成する。 ※
	NPO 法人の通信第百号が刊行する。		
	NPO 法人の平成 27 年度役員 理事長：瀬川謙二郎 副理事長：荒木徹、 同上 野呂宏子 事務局長：太田竜介 理事：青木賢亮、秋田恵 足立敬太、伊東忠 桐澤博、黒岩優佳 今野富士保、篠原綾子 城寶和広、福岡榮一 山崎夏江 監事：鷹嘴充子、三瀬博之	経済産業省は、観光地づくり支援対象に、ふらの観光協会プラン「演劇工場、水や森にまつわる役者の朗読、散策路歩き、役者が畑で演じる農業に関する歴史を見て五感で体験する」を選定する。 6月4日経産省発表 演劇・旅～「エンタピ」を実施 10月3日(土)～4日(日)	フラノマルシェ2が開設する 当施設の隣接地で商業地地価が、前年度より高騰する。 (5.1%増) 高齢者マンションのネーブルタウンが完成する。 富良野市は、魅力度ランキングで全国七位となる。 ブランド総研(東京)

年 月	市 民	行 政	企業その他
2016	作家は、脚本は続けるが演出は最後としたと発表する。	富良野市が、演劇によるまちづくりで文化庁長官表彰受賞	ふらの観光協会は DMO 候補法人に登録する（観光庁）。
2017	富良野グループと市民による「走る」が作演出・倉本聰、演出・中村龍史で特別公演		山下澄人は 156 回「芥川賞」を「しんせかい」で受賞。 (富良野塾二期生・85 年入塾)

当年表は、聞き取りのほか、次の資料で補い作成した。
『北海道新聞』、富良野市、文化庁、富良野市議会、NPO 法人ふらの。

表 4-5 演劇のまち分析結果

		協働前史（第 1 期） （第 1 期 ～97 年 12 月） 全国初の NPO 法人設立前まで	協働形成期（第 2 期） （第 2 期、1998 年 1 月～03 年 12 月） ふらの演劇工房設立から市民プロ デューサー育成事業開始まで
協働 activist		①倉本聰、③藤田嗣人、⑤高田忠尚 ②篠田信子（市民）、④仲世古善雄 （企業）	②篠田夫妻（市民）、①倉本聰（作 家） ⑤高田忠尚（政府）、⑥広瀬寛人（企 業）
参加者		①演劇文化財団設立準備会 ②ボランティア	③ NPO 法人④市・教育委員会 ⑤演劇工場、⑥サークル活動 ② ボランティア、⑦富良野塾・塾 OB
協働の場		富良野市・教育委員会、演劇文化財 団 設立準備会、その他有志の集	富良野市・教育委員会、NPO 法人、 演劇工場
問題 の 流 れ	アジェンダ A		アジェンダ（問題①）
	問題 1	①市民演劇への関心 （1978 年）	②国内初の NPO 法人設立 （1999 年）
	問題の窓	①作家の倉本聰が富良野に移住す る （1977 年）	② NPO 法人の必要性 （1998 年）
解 決 策 の 流 れ	諸解決策 B		諸解決策（解決策①）
	解決策 1	①作家が富良野塾を開設する （1984 年）	② NPO 法人が公設の演劇工場 管理・運営を受託。（2000 年）
	解決策の窓	①北の国からの放送が始まり富良 野が注目される（1981 年）	②富良野演劇工場設置及び管理に 関する条例制定（2000 年）

芸術文化主導の自治体政策 (2)

活動の流れ	活動 1	①市民が富良野演劇文化財団設立準備会を設立 (1997年)	②演劇リハビリテーション開始 (99年) ③演劇ワークショップ開始(1999年) ④富良野演劇アカデミー開始・小中生 (2001年) ⑤富良野塾・塾 OB 公演が開始 (01年) ⑥市民プロデューサー育成事業 (03年)
	活動状況 D		活動状況 (活動①)
組織のやる気の流れ			
	組織のやる気の窓	①篠田らが市民の組織化に奔走 (1996年)	②ふらのの NPO 法人が発足 (1999年)
	組織のやる気	①富良野市民のやる気 (1996年)	②市民と NPO 法人がやる気 (1999年)
	組織のやる気状況 C		組織のやる気状況 (組織のやる気①)
自信の窓			
	アジェンダ 諸解決策・組織のやる気状況・活動状況の四つの結び付き (A、B、D、C)	【アジェンダ(問題①)、諸解決策(解決策①)、組織のやる気状況(組織のやる気①)、活動状況(活動①)の間には、相互に部分的に結びついていた。 (A-1、B-1、D-1、C-1の間)	【アジェンダ(問題①～②)、と諸解決策(解決策①～②)、および組織のやる気状況(組織のやる気①～②)、と活動状況(活動①～⑥)】は、部分的に結びついていたが、完全なパッケージを構成しなかった。
		協働実現期 (第3期) (第3期、2004年1月～09年12月) 演劇工場の指定管理者から 富良野塾閉塾前まで	協働展開期 (第4期) (第4期、2010年1月～16年3月) 富良野 GROUP 結成以降
	協働 activist	⑦森田武 (市民)、①作家、⑤高田忠尚 ⑧能登芳昭 (政府)、⑨西本伸顕 (企業)	⑩瀬川謙二郎 (市民)、⑧能登芳昭 (政府) ⑪ NPO・市民各個人、①作家
	参加者	③ NPO 法人④市・教育委員会 ⑤演劇工場、⑥サークル活動 ②ボランティア、⑦富良野塾・塾 OB	③ NPO 法人④市・教育委員会 ⑤演劇工場、⑥サークル活動 ②ボランティア ⑧富良野 GROUP 等
	協働の場	富良野市・教育委員会、NPO 法人、演劇工場	富良野市・教育委員会、NPO 法人、演劇工場

問題の流れ	アジェンダ A	アジェンダ (問題①～②)	アジェンダ (問題①～③)
	問題 1	③演劇工場活性化計画検討委員会を開催 (2005 年)	④富良野 GROUP の結成 (2010 年)
	問題の窓	③一層の演劇によるまちづくりの必要性 (2004 年)	④富良野塾が閉塾する (2010 年)
解決策の流れ	諸解決策 B	諸解決策 (解決策①～②)	諸解決策 (解決策①～③)
	解決策 1	③ NPO 法人が演劇工場の指定管理者となる (2004 年)	④ NPO 法人が引き続き演劇工場の指定管理者となる (2014 年)
	解決策の窓	③富良野演劇工場設置及び管理に関する条例が改正される (2004 年)	④富良野演劇工場設置条例を全部改正 ⑤指定管理者の手続き条例を改正二件とも (2014 年)
活動の流れ	活動 1	⑦多数のボランティアが事業を支援 (2005 年) ⑧市民劇団の充実化 (2006 年) ⑨市民による芸術活動の支援 (07 年) ⑩創、楽、学、育～を一層推進 (2008 年)	⑪ NPO 法人と富良野 GROUP が演劇を通じた地域とのより一層の連携に取り組む (2012 年) ⑫富良野塾 OB と富良野市民劇団へそ家族+市民との共演など (2014 年)
	活動状況 D	活動状況 (活動①～⑥)	活動状況 (活動①～⑩)
組織のやる気の流れ			
	組織のやる気の窓	③オレゴン州アシュランド～演劇の先進地を調査 (2005 年)	④ NPO 法人が北海道地域文化選奨で表彰される (2011 年)
	組織のやる気	③市民と NPO 法人が一層のやる気 (2005 年)	④市民と NPO 法人がより一層のやる気 (2011 年)
	組織のやる気状況 C	組織のやる気状況 (組織のやる気①～②)	組織のやる気状況 (組織のやる気①～③)
自信の窓			①フラノマルシェによるまちづくり 入場者 300 万人達成 (2014 年)
アジェンダ諸解決策・組織のやる気状況・活動状況の四つの結び付き (A、B、D、C)		協働 activist は、【A、B、D、C】間に部分的なパッケージを構成し協働が実現した。なお、①環境に優しいまちづくりが生み出された。	協働 activist は、【アジェンダ (問題①～④)、諸解決策 (解決策①～④)、組織のやる気状況 (組織のやる気①～③)、活動状況 (活動①～⑫)】のより完全なパッケージを構成した。

ふらのまちづくり株式会社のフラノマルシェ（第一期）がオープンし、地元食材によるおいしさを提供しており、「平成 18 年（2006）」の入場者数が 8 万人、平成 25 年（2013）には 79.5 万人（経済産業省 2015）であったが、2014 年までには、三百万人を達成している。2015 年には、フラノマルシェ 2 が完成したが、隣接する商業地の基準地価（2015 年）は、北海道内の多くの自治体が低迷する中であって「平米当たり二千元上昇」（北海 15.9.17）している。

第 5 節 年代記分析の説明

1 参加者と協働の場

富良野における協働アクティビストで全期間にわたり継続的な参加者は、①作家の倉本聰であり、一時的な参加者は、第 1 期が④仲世古善雄（麓郷木材工業の代表取締役）、第 1 期～第 2 期にかけて②篠田信子（市民代表）と③藤田嗣人（市民）、第 1 期～第 3 期の高田忠尚（市長）、第 2 期が⑥広瀬寛人（ふらの観光協会元副会長・富良野タクシー社長）、第 3 期が森田武（森田工建社長兼市民代表）、西本伸顕（ふらのまちづくり会社社長兼市民代表）、第 3 期と第 4 期の能登芳昭（市長）、第 4 期が瀬川謙二郎（コダマ社長兼市民代表）とふらの NPO 法人・市民の各個人である。

但し、分析表の紙面の都合上から第 2 期に掲載していないが市民で司法行政書士の藤田嗣人は、特に NPO 法人設立等で重要な役割を果たしている。

継続的な参加団体は、ボランティアであり、一時的な参加団体は、第 1 期が市民主体の①演劇文化財団設立準備会、第 2 期～第 4 期が③NPO 法人、④富良野市・教育委員会、⑤演劇工場、⑥サークル活動、第 2 期～第 3 期が⑦富良野塾・塾 OB、第 4 期が⑧富良野 GROUP 等で、特に、運営面で大きな貢献を果たしている。

①の作家は、特に第 1 期に「北の国から」の創作と脚本そして富良野塾の開塾等、第 2 期には演劇工場というハコモノへの関与と、富良野塾 OB や塾生による演劇公演などで問題の窓が開くという大きな貢献を果たしている。②の篠田信子は、特に第 1 期から第 2 期に、⑥広瀬寛人は、特に第 2 期にそれぞれ市民の組織化を始め NPO 法人に関わる活動に多くの貢献を果たしている。

第 3 期の⑨西本伸顕や⑦森田武は、市民参加の増加等、第 4 期の⑩瀬

川謙二郎は、富良野 GROUP 結成以降の活動等において、それぞれ積極的な戦略的協働の実現に貢献している。

なお、富良野市は、関係条例の制定、予算的措置、演劇工場の設置等で重要な役割を果たしつつ、NPO 法人との緊密な連携の下、協議をかさねている。

これら継続的な参加者は、時期によって取り組みの強弱があるものの、協働のプロジェクトに常に参加している。特に、第2～第3期の⑦富良野塾・塾 OB と第4期の⑧富良野 GROUP 等や②ボランティアは、演劇のソフト面や公演等に係る限られた資金を補完するなどから無償の活動でともに多大な貢献を果たしている。

一方、⑥のサークル活動は、市民劇団へそ家族等、富良野寄席倶楽部（立川志の輔）、学校演劇クラブ、展示や模擬店、手芸サークル、ゴスペル、エコファッション等で多くの市民参加増に貢献している。

一時的ながら重要な役割を果たした参加者は、行政（国、北海道等）、企業等やマスコミ等である。国は、文化庁補助事業を、北海道は海外先進地調査の補助事業等を、企業等は、JC やロータリークラブ後援事業や大北グループ記念事業、一般財団法人日本宝くじ協会の社会貢献事業などである。マスコミは、その報道等により全国的に知名度を上げ、また、そのことが市民の励みにもなっている。

協働の参加者である市民・NPO 法人、政府、企業は、演劇文化によるまちづくりの協働をそれぞれ次のように異なったものとして捉え、独自に活動していた。③ふらの演劇工房等の市民は、演劇によるまちづくり活動を協働として捉えていた。④の行政は、芸術文化の向上と市民の創造的な文化活動に供することを協働と捉えていた。企業やマスコミは、社会貢献や文化の振興の観点から協働を捉えていた。

協働の参加者である市民（NPO 法人、サークル活動、ボランティア組織、富良野塾等）、行政（国、北海道、富良野市）、企業・マスコミの資源は、それぞれ次のようであった。市民は、舞台芸術を通じて演劇によるまちづくりの着想や熱意を持っていたが、モノ（施設）やカネ（運営資金）を持っていなかった。行政（ここでは特に富良野市）は、財源の一部、ハード面の技術、条例の制定等の資源を持っていたが、文化活動等の十分な知識を持っていなかった。企業等は、文化振興のための資金や情報は持っていたが、まちづくりに対する熱意は持っていなかったことなどから、参加者間には、資源の相互補完性が見られた。

2 問題の流れ

第1期に、問題の窓①「倉本聰が富良野に移住する」が開いた。この窓が開いたことを契機に、問題① (P1)「市民演劇への関心」が認識・定義され、問題の流れの中に投げ込まれた。問題①は、開いている問題の窓①を通して、活動の流れの中に浮遊した。

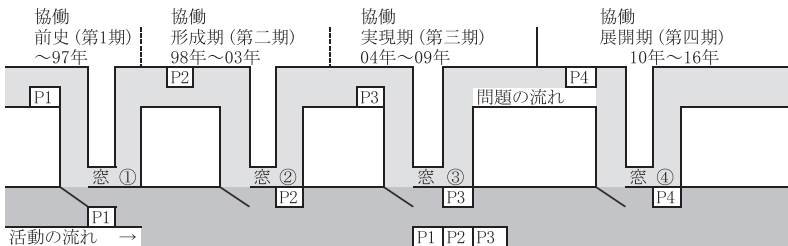
協働アクティビストの④仲世古や②篠田は、問題① (P1) を、認識・定義した。協働の契機となったこの問題が認識・定義された背景には、1981年から作家自らの脚本である「北の国から」の放送とその3年後の富良野塾の開塾等であり、このように恵まれた場を演劇によって後世に伝えたいとの思いがあった。このように、協働アクティビストは、協働の契機となる問題を認識・定義した。

第2期に問題の窓②「NPO 法人の必要性」が開いた。この窓が開いたことを契機に、問題② (P2)「国内初のNPO 法人設立」が認識・定義され、問題の流れの中に投げ込まれた。問題② (P2) は、開いている問題の窓②を通して、活動の流れの中に浮遊した。

第3期に問題の窓③「一層の演劇によるまちづくりの必要性」が開いた。この窓が開いたことを契機に、問題③ (P3)「演劇工場活性化計画検討委員会を開催」が認識・定義され、問題の流れの中に投げ込まれた。問題③ (P3) は、開いている問題の窓③を通して、活動の流れの中に浮遊した。

第4期に、問題の窓④「富良野塾が閉塾する」が開いた。この窓が開いたことを契機に、問題④ (P4)「富良野 GROUP の結成」が認識・定義され、問題の流れの中に投げ込まれた。問題④ (P4) は、開いている問

図 4-1 協働の窓モデル概念図のうち「問題の窓」と「問題」(Problematic : P)



(運営・管理者は、継続及び期ごとに人の出入りがある協働アクティビストである)

題の窓④を通して、活動の流れの中に浮遊した。

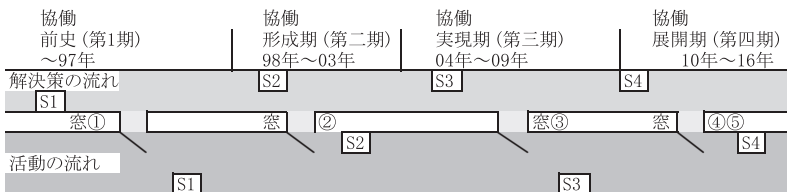
以上のように、第1期に問題① (P1)「市民演劇への関心」と問題② (P2)「国内初のNPO法人設立」の2つの抽象的問題が認識・定義されたが、第3期に問題③ (P3)「演劇工場活性化計画検討委員会を開催」と第4期に問題④ (P4)「富良野 GROUP を結成」というやや具体的な問題が新たに認識・定義された。

3 解決策の流れ

第1期に、解決策の窓①「北の国からの放送が始まり富良野が注目される」が開いた。この窓が開いたことを契機に、解決策① (S1)「作家が富良野塾を開設する」が生成・特定化され、解決策の流れの中に投げ込まれた。解決策① (S1)は、開いている解決策の窓①を通して、活動の流れの中に浮遊した。

第2期に、解決策の窓②「富良野演劇工場設置及び管理に関する条例制定」が開いた。この窓が開いたことにより、解決策② (S2)「NPO法人が公設の演劇工場の管理・運営を受託」が、生成・特定化され、解決策の流れの中に投げ込まれた。解決策② (S2)は、開いている解決策の窓②を通して、活動の流れの中に入り浮遊した。

図 4-2 協働の窓モデル概念図のうち「解決策の窓」と「解決策」(Solution : S)



(運営・管理者は、継続及び期ごとに人の出入りがある協働アクティビストである)
(解決策の窓は、期ごとに二カ所ある場合であっても一つとして表示している)

第3期に、解決策の窓③「富良野演劇工場設置及び管理に関する条例が改正される」が開いた。この窓が開いたことを契機に、2004年に解決策③ (S3)「NPO法人が演劇工場の指定管理者になる」が生成・特定化され、解決策の流れの中に投げ込まれた。解決策③ (S3)は、開いている解決策の窓③を通して、活動の流れの中に入り浮遊した。翌年の05年

には、05年から08年の指定管理料は、年間二千万円となった。なお、「the bazaar 2004」を要約すると、冬期間の除雪や工場（小劇場）内外の清掃はもとより、理事職業務など全てボランティア活動で処理するとともに、パソコンや電話回線、観劇者用送迎バスも個人の寄附に頼っているといった状況であった。

一方で、各種助成金がなくなったときはどうするか、演劇のまちづくりを市民とどう共有するか等を西本らは懸念していた。

第4期に、解決策の窓④「富良野演劇工場設置条例を全部改正」と解決策の窓⑤「指定管理者の手続き条例を改正」が次々と開いた。この2つの窓が開いたことを契機に、解決策④（S4）「NPO法人が引き続き演劇工場の指定管理者となる」が生成・特定化され、解決策の流れの中に投げ込まれた。解決策④（S4）は、開いている解決策の窓④と⑤を通して、活動の流れの中に入り浮遊した。

当期において、解決策④は、協働アクティビストである瀬川や①NPO法人・市民各個人を含む協働の参加者の信念や思いから生成・特定化されている。

それは、運営財源の乏しかった経験をもとに、全国第一号として認証されたNPO法人を、認定NPO法人への移行によって運営の安定化を図りたいとの構想を持っていた。しかし、客席数が302と小劇場ながら入場料を徴収していることなどから、認定基準を満たすことが出来ず苦慮していたからである。

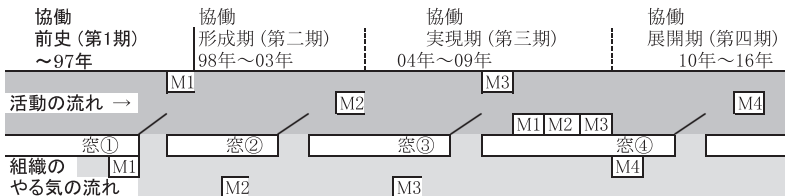
4 組織のやる気の流れ

第1期に、組織のやる気の窓①「篠田らが市民の組織化に奔走」が開いた。この窓が開いたことを契機に、組織のやる気①（M1）「富良野市民のやる気」が生成され、組織のやる気の流れの中に投げ込まれた。組織のやる気①（M1）は、開いている組織のやる気の窓①を通して、活動の流れの中に入り浮遊した。

第2期に、組織のやる気の窓②「NPO法人が発足」が開いた。この窓が開いたことを契機に、組織のやる気②（M2）「市民とNPO法人がやる気」が生成され、組織のやる気の流れの中に投げ込まれた。組織のやる気②（M2）は、開いている組織のやる気の窓②を通して、活動の流れの中に入り浮遊した。

第3期に、組織のやる気の窓③「オレゴン州アシュランド～演劇の先進地調査」が開いた。この窓が開いたことを契機に、組織のやる気③(M3)「市民とNPO法人が一層やる気」が生成され、組織のやる気の流れの中に投げ込まれた。組織のやる気③(M3)は、開いている組織のやる気の窓③を通して、活動の流れの中に入り浮遊した。この先進地調査は、マスメディアで大きく取り上げられるなどから協働への取り組み比重が増し組織のやる気③(M3)が増進することとなった。

図 4-3 協働の窓モデル概念図のうち「組織のやる気の窓」と「組織のやる気」(Motivation : M)



(運営・管理者は、継続及び期ごとに人の出入りがある協働アクティビストである)

第4期に、組織のやる気の窓④「NPO法人が北海道地域文化選奨で表彰される」が開いた。この窓が開いたことを契機に、組織のやる気④(M4)「市民とNPO法人ふらのがより一層のやる気」が生成され、組織のやる気の流れの中に投げ込まれた。組織のやる気④(M4)は、開いている組織のやる気の窓④を通して、活動の流れの中に入り浮遊した。

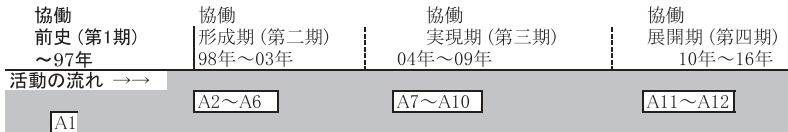
先述したように、認定NPO法人への申請は、不採択となり改めて自分たちの創意工夫や協働で、NPO法人を護持しようとしたこと。さらに、問題④(P4)「富良野GROUPの結成」の結成を見たことから、独り立ちして間もないそのGROUPを護持していこうという熱意の醸成があったことから組織のやる気は高まった。

5 活動の流れ

協働が必ずしも意図しない偶然が端緒となる活動としては、活動②「演劇リハビリテーション開始」があげられる。この活動は、社会福祉法人北海道社会事業協会富良野病院と同じ系列の、介護老人保健施設ふらのが1997年に設立され、翌年川口作業療法士が長崎県から着任したことによる。1999年からは、NPO法人と作業療法士との協働で高齢者と幼

稚園児に演劇リハビリテーションを行っており、これがきっかけとなって、協働が高まることとなった。

図 4-4 協働の窓モデル概念図のうち「活動」(Activity : A)



(運営・管理者は、継続及び期ごとに人の出入りがある協働アクティビストである)

第1期の活動① (A1)「市民が富良野演劇文化財団設立準備会を設立」は、「子どもたちが富良野を誇れるように、将来もこのまちを愛して住んでくれるように」(the bazaar 2004: 4) すなわち、まちづくりの観点から演劇を始めようとする事に対して、いや劇場よりも「福祉や観光行政が先」(the bazaar 2004: 1) だろうという見解に、篠田や藤田らが対話を繰り返した模様である。その後、紆余曲折を経て第2期の活動④ (A4)「富良野演劇アカデミー開始・小中学生」等へと進展している。そのほかの摘記では、第3期活動⑦ (A7)「多数のボランティアが事業を支援」と第4期活動⑪ (A11)「NPO 法人と富良野 GROUP が演劇を通じた地域とのより一層の連携に取り組む」らも事業の大きな成果と言えよう。

協働の進展を経て、第1期~第2期のガバナンスは、NPO 法人における協働の参加者間による定期的な会合、および非公式かつ日常的な相互の付き合い¹⁷を通じて、活動の監視・調整が行われるという「自己ガバナンス」であった。

一方、第3期~第4期のガバナンスは、協働の中心的存在にある参加者の理事会・監事等によって活動の監視・調整が行われるリーダー組織によるガバナンスである。

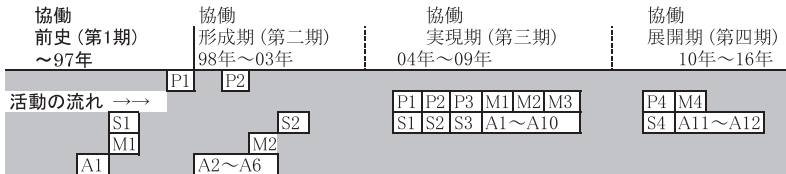
6 4つのパッケージ

次の3種類の窓は、次々と開いている。それは、第3期に問題の窓③

¹⁷ NPO 法人において「経理担当職員が、380万円着服と監査結果を公表」(北海 03.5.8) している。全額返済されているが、あえて「情報開示」したのは、「NPO 全国第1号の誇りと市民への責任」(the bazaar 2004-5) からとされている。

「一層の演劇によるまちづくりの必要性」(2004年)と解決策の窓③「富良野演劇工場設置及び管理に関する条例の改正」(2004年3月)、そして、組織のやる気の窓③「オレゴン州アシュランド～演劇先進地を調査」(2005年8月)である。これにより、協働の実現性が高まった。

図 4-5 協働の窓モデル概念図のうち「4つのパッケージ」



(運営・管理者は、継続及び期ごとに人の出入りがある協働アクティビストである)

第1期～第2期には、活動状況を除くと不完全なパッケージであった。

一方、第3期に協働アクティビストが、アジェンダ、諸解決策、組織のやる気、そして活動状況の完全なパッケージを構成した。これにより活動⑦ (A7)「多数のボランティアが事業を支援」を含む協働が実現した。

第4期には、新たなパッケージを構成した。これにより、活動⑩(A11)「NPO法人ふらのと富良野 GROUP が演劇を通じた地域とのより一層の連携に取り組む」を含む新たな協働が実現した。そして、演劇をテーマとしたまちづくりは、周辺の自治体にも広がりを見せている。空知管内の文化センターやホールの運営者は、「空知ホール連絡協議会」を結成し、2010年より「そらち演劇フェスティバル」で美唄、深川、滝川、砂川の4劇団により作品発表会を行っている。

さらに、オホーツク総合振興局管内の「演劇集団タカクト (美幌町) の立ち上げや……劇団そら (大空町)」(北海 17.2.18) の拡充には地域とのつながりを持つ NPO 法人や富良野 GROUP の出張公演などが少なからず好影響を及ぼしたものといえよう。このように、ふらの NPO 法人が取り組む協働は、小中学生等による演劇活動の定着化など富良野管内での普及はもとより、あわせて新たな領域にも波及している。

第5章 自信の窓

第1節 自信の窓の概要

本章は、三市町が新たに取り組んだ政策内容について「改訂版協働の窓モデル」に基づき「自信の窓」が開いたか否かを検証しようとしている。

なお、三市町に共通的な項目は、「農業振興地域の整備に関する法律」と「豪雪地帯対策特別措置法」に指定されていること、外部者との交流状況において提案を無視することなく工夫を加えながら採り入れていること、一部に行政主導とはいいながら市民や農業並びに商業団体そして企業との協働で取り組んでいること、二市においてNPO法人や企業と取り組んでいること、北海道の文化行政や企画部門の幹部職員¹⁸とそれぞれ濃密な接点が見られていることなどである。

これまで第2章から第4章にかけて述べた協働のプロジェクトは、いずれも成功を収めたと言える内容であった。このためここでは、当プロジェクトを手掛けた協働アクティビスト等が、自信を獲得し新たに芸術文化政策以外の政策に取り組むといういわゆる好循環を生んだとみられる政策を抽出した中から、文献や新聞報道等の内容そして、市民らからの聴き取りなどを吟味の上、「自信の窓」を通過したと判断される政策をさらに抽出した。

一方、「自信の窓」を通過したと判断できない場合には、自信の窓が開く4条件のうちどの項目が満たされていないのか、あるいは、そもそも「地域における行政を自主的かつ総合的に実施する役割を広く」（地方自治法第1条の2）担っているといういわゆる「行政サービス」の一環であることからコメントを差し控える案件であるのかを述べることとしている。

第1に、写真のまち東川で今回「自信の窓」を通過した政策は、「君の椅子」、「水道普及率ゼロのまちづくり」、そして「東川米」の3本である。

¹⁸ 磯田憲一 東川町は、君の椅子など（後述）。美唄市はNPO法人びばい理事長など。富良野ではオレゴン州アシュランドへの演劇の先進地調査（2005年）など。そして北海道地域文化選奨（1993年提言）では、東川が2000年、富良野が2011年、美唄が2013年それぞれ受賞してしている。

なお、行政サービスの一環であるとみられるものは、「株主制度」、「幼保一元化」、「匿名による不妊治療助成」そして、「町立日本語学校」の4本である。

一方、「写真の町宣言」が契機となって開始された「木彫り看板設置事業」は、東川町商工会（青年部）が主体となり、東川町が補助金を交付している。これは、市民と行政そして企業とが一体となった戦略的協働によるプロジェクトであり、多くの商店等によって町並みの景観保全にも大きく貢献しているが、すでに30年を経過しようとしていること、最近国内外からの移住者によるカフェなどの開業事例も見られることから、今後の動きを注視していきたい。

第2に、美術館のまち美唄で今回「自信の窓」を通過した政策は、「利雪のまちづくり」である。具体的な内容は、「雪冷房マンション」と雪の冷気によってコメを貯蔵し食味の劣化を防いでいる「雪蔵米」である。

なお、行政サービスの一環としての取り組みは、「飼料用米の栽培」と「受動喫煙防止条例」制定の2本である。

一方、「ふゆみずたんぼ」とは、ラムサール条約に基づく湿地保全の一環として、湿地周辺の水田（paddy field）を無肥料・無農薬でイネを栽培し、渡り鳥の餌となるドジョウなどの淡水魚を育てるというものである。

さらに、刈り取り直後の水田に水を張ることで渡り鳥を誘引し湖沼の水質浄化にも一役を担っている。このような協力者に対しては、コメの減収分に相当する金額を上乗せして市民がコメを購入するというものである。

当プロジェクトの推進は、水鳥等の研究者である美唄市の職員が中心となって担っている。

なお、地方公共団体は、住民に対し役務をひとしく提供することを旨としていることから、特定の住民にコメの減収分に補填するという施策は制度的な仕組みがない限り採択が難しいものといえよう。

第3に、演劇のまち富良野において今回「自信の窓」を通過した政策は、「フラノマルシェ」である。この事業は、病院の移転に伴った中心市街地約77haの活性化に向けて、商工会議所をはじめとする企業、農協、富良野市、市民などによる新会社の「ふらのまちづくり(株)」を2003年に立ち上げ、2010年に第1号となるフラノマルシェが完成している。そして、2014年には、入場者300万人を達成している。さらに翌年の2015年に「フラノマルシェ2」が完成するに至る。

なお、行政サービスの一環としての取り組みは、「小水力発電所」の1本である。これは、「北の国から」の放送でも知られる麓郷地区にある小中学校への電力供給であり、市民と行政が保守管理を担っているものの企業は全く参入していない状況にある。

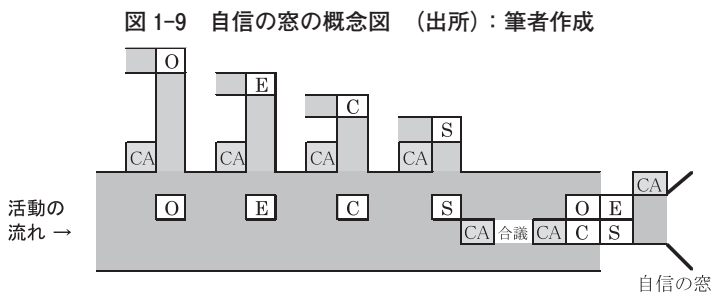
自信の窓概念図の説明

自信の窓の概要については、既に第1章でも述べているが再び説明する。

自信の窓がこじ開けられるタイミングは、外部の人 (Outsider-Driven: 概念図では (O) と表示している) による提案に対しても熟慮されていること、事業の持続性の上から採算性も確保されているという経済的 (Economy-Driven: 同様に (E) と表示) な配慮をしていること、不足する資源を持ち寄りながら協働 (Collaboration-Driven: 同じく (C) と表示) でプロジェクトを実施していること、更に市民の支持 (Supporter-Driven: 同様に (S) と表示) が得られているといういわゆる「OECS」という四条件を達成したと協働のアクティビスト (Collaborative Activists: 図などでは (CA) と表示) が合議し承認した段階である。

なお、CAの役割には、協働の参加者に対し自信獲得への誘導もある。

さらに説明を補足するならば、外部の人とは、多くの人々との交流により彼らの多様な知識や着想に対し、門前払いなどをせずに傾聴するとともに、そのうえで地域の実態に応じた工夫を凝らしながら前向きに検討するということである。



例えば、全国から訪れる人々との交流では、自分たちが日常的な空間として捉えていた景観などが、あたりまえではなく希少な価値を持つも

のと気づかされることがある。このため、現実をしっかりと再認識するとともに、外部の人¹⁹の視点による提案や着想などに対しても拒否反応などをもつことなく、参考となるものは工夫を加えて採り入れるなどが必要となる。

経済面では、採算性が確保されることが求められる。それは国庫における法人税収の伸び悩みや災害復旧復興対策費並びに少子高齢化対策費等の増大、さらに人口減少に伴う地方交付税の減額配布が予想されるからである。

このため採算性に関しては、一時的に取り繕った（patching up）ものではなく持続性のある取り組みが必要となる。

具体的には、過剰な負債を避けるために利用頻度の少ないホール²⁰等を新設せずに体育館などの利用も選択肢の一つであるとともに、庁舎等法定耐用年数が定められている建築物に対し不必要な意匠²¹を避ける（但し自主財源施工は除く）等や、逆に北海道の豪雪地帯では太陽光パネル（鉛等を含まない²²）の壁面設置型等を導入するなど整備事業費や年ごとに嵩む維持費の低減化に努めること等である。

協働とは、市民²³、行政²⁴そして企業²⁵とそれぞれが資源を持ち寄るとともに、対等な立場で政策課題などに取り組むことを指している。それは、従来の行政主導に依存するという対応ではなく、三つのセクターが一丸となって、取り組む必要があるという事である。例えば地域の課題である人口減少などについては、自分たちの共通認識として危機感を共有しながら、真剣に解決に向け取り組んでいくことが必要となる。それは地方創生拠点整備交付金事業の採択では、従来の多くの地域で取り組

¹⁹ 地域内外に関わらず行政以外の多様な人々も当然含まれる。

²⁰ 北海道空知管内の長沼町では、町の記念事業を石狩管内の「北広島市のホールを利用して」（北海 18.3.21）。なお、北海道内では、総務省の連携中枢都市圏の設立が今だみられておらず。

²¹ 建築業界の設計コンペで高評価を受ける建築物を言う。

²² 「有害物質の鉛やセレン」（北海 17.9.9）を含むものもある。

²³ 本稿でいう（以下同じ）市民とは、一般市民、ボランティア、NPO 法人、企画委員、作家、農協組合員や職員、商工会加盟店、観光協会や学会等各種団体の会員、医師会、市町村等職員等である。

²⁴ 行政とは、市町村、北海道、国、独立行政法人や政府機関等である。

²⁵ 企業等には、マスコミや各種企業、農協本体などである。

まれたような金太郎飴的な施策は見られず、地域の実態を活かしつつ先取り的なメニューの採択も垣間見られるからである。

一方、協働の推進における留意事項は、当然のことながら成果を独占するような放縱 (self-indulgence) な態度は許されず、さらなる協調性と自己統制により、それぞれが対等な立場 (フラット型) で真剣に対話を繰り返しながら推進していくことが求められよう。

さらに、協働の過程における問題の解決策については、構成員の知を結集することで壁を打ち破り (breakthrough) それぞれの責任を果たしていくという心構えが必要となる。

市民の理解や支持を得るとは、様々な取り組みが市民の利便性や安心や安全を確保するとともに、多少なりとも市民が潤うなどの地域益があるなどの利点があることや、自然との共生が図られていることなどから共感を得ることが望ましいと考える。

第2節 写真のまち東川

写真の町を1985年に宣言した東川町は、「写真によるまちづくり」進めており、その後新たに開始された政策について果たして「自信の窓」が開いたのか否かについてを検証する。

1 君の椅子 (2006～2015年)

君の椅子プロジェクトは、旭川大学の大学院で客員教授 (2004年) であった磯田憲一のゼミ生が、生命誕生の喜びを地域の人々と分かち合っはとの一言から創設されたもので、新生児に対し「君の居場所はここにあるよ A chair just for you.」そして「世界に一つだけの君の椅子」との内容である。その後、磯田が君の椅子プロジェクト代表に就いた2006年には、北海道の生活文化課長 (1991年) や上川支庁長 (1999年) 当時から写真イベント等で親交のあった東川町に打診して開始されており、東川町が君の椅子プロジェクト発祥の地となった。

協働では、デザインは建築家に、製作を町内外のクラフト作家 (市民) が担い、北海道産の広葉樹であるクルミ (walnut) やイタヤカエデ、カバ、そしてナラ材などを企業から調達し、揮発性の塗料や釘などは一切使用せず手作りで、まちの子供は宝だとの意味を込めて名前、生年月日、ロゴマーク、一連ナンバーを刻印した椅子 (創意工夫) をプレゼントしている。財源は、公費 (行政) であるが地元等のクラフト作家にも還元

される。プレゼントは、百日齡経過後の幼児（市民）に製作者（市民）および町長（行政）が届けているが、その様子を広報やメディアによって人々（市民）に知らされ多くの共感と賛同を得ている。ちなみに2015年には、累計で「515脚を贈呈」（北海15.10.14）している。

その後、君の椅子プロジェクトは、近隣町村に波及し2007年に剣淵町と愛別町、2014年に東神楽町と中川町、そして2015年に長野県木曾地方の売木村が参加し、これら6町村によるいわば広域連携で「千脚」（北海15.10.10）の贈呈を達成（2015年）している。さらに2018年には、福島県葛尾村も参加（北海18.4.14）している。

なお、東川町の広報誌によれば、2011年の東日本大震災時には、被災三県で震災日の11日に被災地で生まれたことが判明した98人に、東川、剣淵、愛別の三町が市民や企業から寄付を募り君の椅子を贈呈している。

なお、この施策は、子育て支援策の一環として評価を受けるものといえよう。

「自信の窓」通過の確認については、①大学院生などの外部の人からの提案を受け入れるとともに、塗料などを用いないなどの創意工夫がされている。②協働では、デザイナーやクラフト作家そして受贈者らの市民や町長などの行政そして希少価値のある天然の木材を供給している企業との連携から協働体制が成立している。③経済的な面では、行政サービスの一種であることから公費であり、結果的にはクラフト作家や受贈者の市民に還元されているため、成立要件を満たしたものとみなされる。④市民の支持については、新生児の健やかな成長を地域住民と共に祝いながら、町に愛着を持ち将来も願わくは住民となってほしいなどと確実に共感と支持が得られている。このため、自信の窓を通過する条件をすべて満たしているため「自信の窓が開いた」と判断する。

2 水道普及率ゼロのまちづくり

北海道の最高峰である大雪山系「旭岳」に大量に降らせた乾いた雪は、融水を地下深く浸透せしめ「ミネラルウォーター」となって数十年（地質専門職）をかけて流れ下っている。

町長は、「町には、国道、鉄道、上水道と三つの道がない」（松岡2012-1）と全国に発信している。平成の名水百選ともなったこのおいしい地下水を市民は、あたりまえのことと捉えていたが、全国から訪れる多くの外部者との交流で、希少な価値であることを気づかされている。日本

中を探しても塩素殺菌なしにそのまま飲める水が極めて少ないということが措定される。

なお、市民と行政そして企業等の状況は、市民の自己責任で地下水を利用しているため上水道料金は無料であること、地下水の保全のために、市街地の住民は下水道の利用（料金の負担）、散居地の住民は合併浄化槽の設置（設置費用の一部とくみ取り料の負担）、さらに、ふるさと納税制度を活用した「株主制度」により町内外の市民は、水源涵養林の管理（植樹・下草刈り・野ネズミ対策・除間伐・樹種によっては枝打ち等）に取り組むとともに、地下水の保全に取り組んでいる。さらに、おいしい水を使用した「東川サラダ」など新鮮な野菜のアピールや水源地等の観光資源化などの創意工夫がみられている。

行政の役割は、下水処理（処理施設や下水管の敷設等の整備や維持管理、合併浄化槽の助成やくみ取りに関すること）、水質の「保全等の条例」（北海 11.6.23）に関すること、水源地や流域における水源涵養林の管理に関すること、そして、上水道に係る公営等事業会計は不要となっている。

企業等では、東川町が音頭を取って、生活協同組合のコープさっぽろ、東川町農協（JA ひがしかわ）等と共に出資し 2012 年に(株)大雪水資源保存センターが設立され、ミネラルウォーターを製造している。

なお、製品の供給は、JA ひがしかわが 2008 年に平成の名水百選となった「大雪旭岳源水」の名称で地域団体商標権（2013 年）を得て同名で、コープさっぽろが「大雪旭岳大自然がろ過した天然の水」の表示でそれぞれ販売するとともに、ホクレン農協連（札幌）が「北海道大雪山の水」（北海 16.7.10）との表示で無洗米とともにシンガポールへ輸出している。

このため「自信の窓」通過の確認にあたっては、外部の人、経済、協働そしておいしい水であることで市民の支持が得られていることから四条件をすべて満たしており、「自信の窓が開いた」と判断する。

次に、なぜこの町に移住したのかを移住者の一部から聞き取りしたので参考までに記載する。

上州・前橋市出身の女性 E. O. は、写真甲子園の報道で地下水が良質で豊富なことを知り当町に転入し、喫茶・軽食店を起業するも、旭川保健所は法令に基づき塩素殺菌を命ずる。このため、十数万円の塩素殺菌装置を購入するが、お冷などに対して不評の客が多いとされる。各家庭

は、自己責任において地下水を使用しており、現在のところ何ら問題となる事案は生じていない。

「世界一良い水に塩素消毒とはとんでもない」と少なからず遺憾な様子であった。確かに水道法施行規則（昭和32年12月14日厚生省令第45号）第17条3号では、塩素消毒する旨が定められてはいる。今後は、許可される安価な「ろ過装置」等の開発が期待される。なお、参考までに彼女の海外渡航歴²⁶を記す。

「東川の水は、世界で一番おいしい水。水道の水が飲めるのは、日本とスイスぐらい」との言葉には重みを感じられる。

これとは別に、プロの写真家は、「塩素が含まれておらず写真も退色しないため百年の保存には、この町の水が欠かせない」（町広報誌2012・7）と述べている。

一方、大雪旭岳源水は、「カルシウムとマグネシウムが2対1の割合で含まれるアルカリ性で中硬度の水……チェイサーに最適」（藤田2010-185）という。

なお、東川町では、「2010年安全・安心でおいしい地下水サミット」²⁷を11月10日に全国11市町村とで開催している（町広報2010.12）。

3 東川米

東川米は、北海道で初となる特許庁の地域団体商標制度で認証されている「ブランド米」である。

稲作農家は、JAひがしかわが営農指導等の一環として定めた10箇条からなるの東川米認証表示基準²⁸等を遵守して栽培・管理しており、東

²⁶ ①グランドキャニオンを目指し出国 ②爾来、豪州・欧州 ③イタリアでミケランジェロ（1475-1564）のpieta（聖母子像）の一種を題材とする彫刻などに魅せられ3年間滞在 ④ルーヴル美術館で画家ジョルジュ・ラ・トゥールの絵画に魅かれる（『聖ヨセフ』等） ⑤その後ポルトガル等滞在与と述べている（2012年8月17日聴き取り）。

²⁷ 前年に福島県川内村や熊本県嘉島町と共に呼びかけ設立し、福島県葛尾村等が加盟。

²⁸ 東川米の認証表示基準の10か条：水稲栽培協定書を締結のうえ生産、「東川町稲作研究会水稲統一栽培基準」を遵守し生産、「東川米GAP（栽培記録・生産工程管理）」を記帳提出、農産物検査等級銘柄品、種子更新率100%、東川米統一包装資材使用、「生産者責任シール（顔写真）貼付」、品位基準仕分け対象、残留農薬分析試

川町や北海道が経営指導を担っている。

イネの品種開発は、国の独立行政法人に属する研究機関や、「主要農作物種子法」(昭和 27 年法律第 131 号)²⁹に基づき北海道(都道府県)が担っており、「ゆめぴりか」は北海道立³⁰上川農業試験場が開発した品種である。

「東川米」の種子消毒である種^{たね}粉の殺菌は、温湯による種子消毒であり薬剤処理を行っていない。この温湯処理は、種^{たね}粉の休眠打破(break the dormancy)にもなることでより催芽が促進される。この種子消毒は、創意工夫の一環と評価されよう。

米の食味ランキングでは、「ななつぼし」と「ゆめぴりか」が日本穀物検定協会より、7～8年連続して最高ランクの「特 A」³¹となった。「おぼろづき」や「ほしのゆめ」は A ランクである。また、コメの販売³²では、直販が増加しつつある。

このため「自信の窓」通過の確認は、外部の人、経済、協働、そしておいしいコメであるため市民の支持もあり、「自信の窓が開いた」と判断する。

東川町農協(JA)は、ブランド米「東川米」のうち「ななつぼし」をロシアへ輸出する計画であり、このほどサハリン州ユジノサハリンスクの日本料理店「とよ原」で試食会を行っている。海外への輸出は、2008年から台湾などアジア方面で実施しているが、日本米(ジャポニカ種・単粒種 *Oryza sativa subsp. japonica*)の飽和状態という。参加したロシア人は、「ふっくらしていて、香りがいい」との感想であった(北海 17.12.3、12.18)。

JA 組合員は、JA が定めた厳しい栽培基準を守っておりその努力が、行政などを巻き込んで新たな販路開拓へと進展している。

験等、JA 東川から出荷。

²⁹ 本法は、2018 年 4 月 1 日に廃止された。

³⁰ 北海道の名称は、1869 年の太政官布告に拠ることから国も使用。このため道立としたが、現在の名称は、地方独立行政法人北海道立総合研究機構上川農業試験場である。

³¹ 「特 A」には、「ふっくりんこ」も 2015～16 年に評価されている。

³² コメの販売は、JA(全農)から「卸売業者や市場を通じた取引とスーパーや外食産業へ直接販売」と二通りあるが、後者の割合を「17 年度の 47%から 24 年度に 90%」(北海 17.3.29)にするとする。

なお、平成 27 年産米の国内生産量は、7,986 千トンでありうち新潟県が 619 千トン、北海道は 603 千トン、秋田県が 522 千トンである。

図 5-1 は、美唄市と東川町の水稲 1,000 m² 当たり収量の推移を掲載している。

なお、北海道産の「ゆめぴりか」は、2017 年産米の相対取引価格³³が、全国 67 銘柄のうち新潟県のうち魚沼産のコシヒカリに次ぐ 17,694 円で 2 位という（北海 17.10.14）。

4 行政サービスの事例

(1) 2008 年創設の「株主制度」は、ふるさと納税制度³⁴の一環と位置付けてはいるが、単なる返礼品の贈呈にとどまらず、「特別町民としてまちづくりに参加する制度」（2014-66「まちづくり自慢集」北海道町村会）と他に例が見られない斬新的な内容である。現在の株主は、「23,072 人」（2018 年 6 月、東川町ブランド発信課）である。これら多くの株主に対しては、市民、行政、そして企業からなる特産物などを返礼として届けるとともに、イベントへの参加を呼び掛けており植樹などで多くの人々が市民と交流している状況が報道されている。

株主等との交流に際しては、今後ペーパーレスによる交流も進むものと期待される。

以降の政策内容は、地域行政を自主的かつ総合的に実施する役割の一環で行われており、企業等との戦略的協働で行う政策ではないことから、「自信の窓」が開く要件にはなじまないためにコメントは差し控えるものの、自信をもって策定されたものと考えられるため、参考までに掲載している。

(2) 2003 年の「幼保一元化」は、特区制度を活用したものである。いわゆる、当時の文部省所管の学校教育法に基づく幼稚園と、厚生省所管の児童福祉法に基づく保育所という組織が統合された先進的な施設である。

³³ 相対取引価格は、出荷と卸業者間の売買取引価格で玄米 60 kg 当たり「ななつぼし」が 15,874 円、新潟市等のコシヒカリが 16,906 円、宮城産ひとめぼれが 15,105 円、全国全銘柄の平均が 15,526 円という（農水省）。

³⁴ 地方税法等の一部を改正する法律（平成 20 年法律第 21 号）。

幼保のコースの設定は、それぞれ異なっているものの食事献立や各種行事などは全く同じという画期的なものと言えよう。なお、補助金等に係る予算の執行の適正化に関する法律（昭和三十年法律第七十九号）等に基づき目的外使用は出来ないことから、この種の建物は、全く別な土地が隣接していてもプレハブの渡り廊下でつながるといった施設であった。近時の、幼保連携型認定こども園に係る法律は、2016年に改正されているが、この幼保一元化も参考としたことであろうと考えられる。

(3) 2011年の「匿名による不妊治療助成」（「生殖補助医療」日本生殖医学会）は、「匿名」日経（11.8.16）で治療出来るという「全国的にも充実しており……道内における自己負担分の全額助成は、東川町と豊浦町で……東川町には42組が指定病院から申請」（北海16.10.7）が上がっている。まちづくりにおける先進的な事例である。

(4) 2015年の「町立日本語学校」の開設は、1985年の東川町国際写真フェスやラトヴィア国³⁵と市民との草の根交流（その後2008年7月にルーイエナ町と姉妹都市を締結）していること、東川小学校旧校舎の有効活用策であること、町内にある旭川福祉専門学校で2010年日本語学科が開設していること、などが契機となっている。

なお、同専門学校では、1989年以降「東アジアから延べ450名」（北工学園HP）の短期日本語研修生を受け入れている。

日本語教育の分担では、専門学校が二年制を、町立日本語学校が6か月と1年の短期コースを担っている。

（参考）「2015年度全国の留学生は208,379人、うち日本語学校在籍数56,317人であり、2016年の学校数は568校である。日本学生支援機構の2015年度外国人留学生在籍状況調査」（日経17.3.23）

東川町では、これらの実績を基としてさらに「アジアのテレビ・映画人材育成・交流事業：FLY IN HIGASHIKAWA」（北海17.3.6）が開始され、町内がタイ国映画のロケ地等ともなっている。

³⁵ 東川町と北欧のラトヴィア国との交流は、1992年にパウルズ文化大臣が来町し自作曲「マアラが与えた人生」を演奏したことで、町の若手らが発起し同国の日本語学校に教材を贈るなどが嚆矢となっている。この大臣の原曲は、時のソ連が「百万本のバラ」として発売する。東川がラトヴィア国との交流実績を知った歌手の「加藤登紀子は、東川町のPRソングを作曲し、2017年10月に同町で披露する」予定（日経17.5.9）という。

5 「自信の窓」通過候補

(1) 写真の町宣言以降の1988年に始められた「木彫り看板設置事業」は、まちの景観保全と多くの人々に安らぎを与えているとともに、外部の人には現在地表示（例：西五号北五線）とあわせてわかりやすいことから、歩き回りたくなるような内容である。

木彫り看板は、町が氷彫刻発祥の地であり市民は、中国東北部で指導するなどの実績がありその技術を生かして製作したものである。製作に当たっては、町が一件当たり五万円の補助、企業が木材の提供等、商工会青年部が設置や取りまとめに奔走するという協働体制である。

デザインなどは、青年部が当時の西ドイツ等に出向き金属製看板の調査を行うとともに、外部の人の考え方も参照としていることから、看板内容がわかりやすく工夫されている。なお、自信の窓通過に関しては、今後ますます増えるであろう転入者等によるカフェなどへの普及状況等を見ていくこととしている。

その他の項目では、候補の全てを採り上げてはいないが、今後ますます実績が増すことによって自信の窓が通過することが期待されよう。

一方、2016年度から開始された国の地方創生拠点整備交付金（補助率1/2）事業には、「東川町文化首都創生館整備計画が道内自治体の中では最高額で採択されている（2億5056万円）」（北海17.2.4）。さらに、東川町は、企業版ふるさと納税³⁶の対象事業にも認定されている。

〈参考事項〉

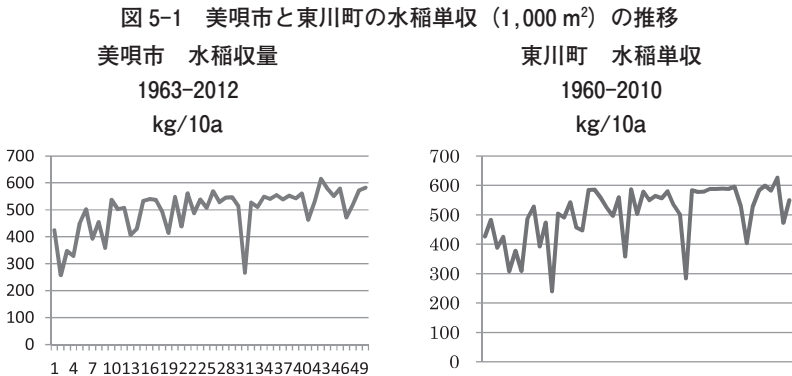
2017年主食米の北海道管内生産数量目標は、次の通りである。
管内別・生産目標トン・(2016年産比%) 出所：北海(16.12.21)
空知248,589(▲2.6)、上川149,763(0.4)、石狩36,471(▲0.7)、後志22,522(▲0.5)
留萌20,670(0.8)、胆振16,854(4.5)、檜山16,805(▲0.2)、渡島12,353(1.2)、日高6,834(▲6.1)、オホーツク4,630(▲0.1)、十勝52(▲4.2)、(東川町は10.0%増)

農水省発表：最後の生産調整（減反）で全国生産目標735万トン（▲

³⁶ 内閣府の所管で、「地方創生に取り組む」東川町等に「寄付した企業が、税制上の優遇措置が受けられる」（北海17.3.29）。東川は、冬季観光誘客や人材育成企業誘致事業。

8万トン)

図5-1のグラフは、美唄市と東川町におけるコメの1,000 m²当たり収量の推移についてそれぞれ(50年分)を参考までに取り上げている(収量の単位)³⁷。



(出所：農林水産省北海道農政事務所提供の資料に基づき作成)

(参考：水田の標高は、美唄市約16 m～30 m。東川町約180 m～300 mである)

第3節 美術館のまち美唄

「美術館によるまちづくり」は、「アルテピアッツァ美唄条例」(平成4年6月30日条例第21号)を制定した1992年から進めており、その後新たに開始された政策について果たして「自信の窓」を通過したのかどうかを検証する。

美唄市は、1963年閉山の三井石炭鉱業や1972年閉山の三菱炭礦³⁸などによる炭坑が操業するという炭都であった。その当時石炭が「黒いダイヤ」といわれていたが、現在は、無尽蔵にあり厄介物の「雪」を資源として利用することで、まさに「白いダイヤ」に取って代わられた観がある。

³⁷ 尺貫法により1958年まで反収(反991.7355 m²)が使われていたが、計量法に基づき10a(10アール=1,000 m²)に変更され、単収とも称されている。

³⁸ 三菱石炭鉱業の美唄鉱業所が合理化により1965年に美唄炭礦(株)に1971年には三菱大夕張炭礦に吸収合併し翌年に閉山している。

これは、美術館によるまちづくりにより「協働」の経験から、多くの人たちとの交流によつてもたらされたものと言えよう。

1 利雪のまちづくり

美唄市の西部は、平坦な地形であることから日本海の湿った空気がシベリア大陸からの季節風によって雪を大量に降らせ「降雪量が717 cm」（平成26年気象庁）に及ぶ豪雪地帯であり、市民の多くはこの雪を諦観的に捉えていた。

一方、美唄市の基幹産業は、国のエネルギー政策の転換によって石炭産業の撤退後、北海道内で「第四位（2013年産）の水稻作付面積4,340ヘクタールとコメ生産量が25,200トン」（美唄市）と水稻栽培を主体とした農業となっている。

このようなことから水田に関わる歴史的な施設等は、かんがい（irrigation）用の貯水池が溜池発祥の地（1886年造成）とされていること、1924年～28年造成の北海幹線用水路（美土里ネットほっかい）が北海道遺産等に指定されていること、そして、泥炭（peat）地改良のため1955年には、索道（さくどう、tramway）客土や軌道客土などが行われている。

最近の全国のコメ作付面積は、1970年から始まったコメの生産調整（減反）等により1969年の317万ヘクタールから2016年の147.8万haと-48%である。

一方生産量は、イネの品種改良や土地改良そして栽培技術の飛躍的な向上などから単位当たりの生産量が増加し1967年の1,420万トンから「2,016年の804万トン」（農林水産省）と-43.6%にとどまっている。このことは、常に良質な食味を保持していなければ主食用米としての流通が困難となりその結果、安価な加工用米とならざるを得ないというコメ生産者にとっては厳しい内容である。

特にイネの登熟期における気温の昼夜の日較差は、平野部の美唄市が9.2℃³⁹で（8月の最高気温と最低気温の各平均値の差の場合）あり、中山間の東川町が10.1℃である（気象庁資料）。「食味」（全国農業改良普及支援協会等）に関しては、日中の高温で光合成が活発になり養分を蓄積させ、夜間の低温で呼吸（代謝）が抑制されて養分の消耗が抑えられ

³⁹ 八月最低気温平均値：美唄17.2℃、東川15.8℃。（参考：新潟市23.4℃、差7.2℃）

るために食味が増すということから、日格差が大きい方がうまいコメとなる。なお、うまいコメの条件は、品種、栽培技術、貯蔵とされていることから、コメの貯蔵中における品質の劣化を防止⁴⁰して挽回策を講じることが生産者である市民やJAびばいにとっての喫緊の課題であった。物理的には、電力利用による低温貯蔵によって解決されることであるが、コストに跳ね返り生産者の手取り減と消費者にとって食味の良さとともに値ごろ感のあるコメ以外は買い控えが生ずるため電力のみに依存することが躊躇されるのである。

このような事情により1990年後半には、雪冷熱の代替エネルギーとしての可能性が外部者によってもたらされ、1996年に「雪クラスター構想」(徳田2011-77)を掲げた井坂紘一郎が市長に当選する。

このため翌年には、美唄エネルギー研究会(産学官)が発足するとともに、1999年には美唄市農協が雪冷房のコメ貯蔵の実用化に向けた実証実験を開始している。そして翌2000年に自己資金で雪貯蔵3,600トン規模にも及ぶ雪冷房による流通米の貯蔵庫「雪蔵工房」を企業の技術的な支援を得ながら建設している。

流通米の供給は、出庫時に外気との温度差を段階的にあげるなどで、コメの品質(風味)を保ちながら需要に応じて「雪蔵米」のブランド名で「おぼろづき」や「ななつほし」を出荷している、

このように厄介者であった雪が、「戦後日本の高度経済成長を支えた」(北海17.1.29)黒いダイヤ(石炭)に替わる「白いダイヤへと発想が転換」(金子幸江2006-8-9)され、新エネルギー源に加わるとともに、省エネルギーや二酸化炭素排出量の低減化にも貢献している。

これらのことから、環境問題を「地球的規模で考え、地方で行動(Think globally, Act locally.)(2002年環境白書)した事例といえよう。

本件の利雪という新技術を導入したきっかけは、売れるコメづくりへの熱意はもちろんであるが、美唄出身で彫刻家安田侃の手による白い大理石彫刻「炭山やまの碑」(1985年)の建立、旧炭住街に隣接する旧栄小学校に彫刻美術館が設置(1992年)されており、NPO法人びばいが指定管理者制度で管理を受託するなど、セクターを越えて資源を持ち寄りながら成し遂げたという自信が好影響を及ぼしているのである。

⁴⁰ 低温貯蔵で玄米脂肪の酸化度「脂肪酸度」を抑制し食味を維持(米食味鑑定士協会)。

いかえると、協働の経験によって自分たちの課題は、自分たちで解決するとの思いが醸成されたともいえよう。

(1) 「雪冷房マンション」

現在、美唄市の利雪による冷房は、市営の福祉施設等でありマンションは1例だけである。このように盛り上がらないのは、電力料金がkWあたり32円（アンペア50、北海道電力）と約7%の再エネ賦課金程度で賄えるからでもある。

しかしながら、今後電力料金の高騰は避けることが出来ないであろう。このため、原子力発電や、火力発電（石炭、LNG、石油）とともに、再生可能エネルギー（水力、風力、太陽光、バイオマス・木質系）に頼らざるを得ず、負担軽減策も必要とすることから、たとえ微小であっても利雪（雪氷）による冷房もその一つとして位置付けが必要である。ちなみに、政府試算の発電コスト⁴¹（kWあたり円）は、注記のとおりである。

利雪に関するノウハウは、次に示す関係者の資源を持ち寄った協働で開発や実用化されたものである

「市民」：美唄自然エネルギー研究会、NPO法人利雪技術協会、一般社団法人日本機械学会、日本雪工学会、公益財団法人雪だるま財団。美唄市農協の組合員、美唄商工会議所参加の会員。

「行政」：美唄市（窓口は経済部産業振興課）、北海道空知総合振興局、経済産業省北海道経済産業局、国土交通省北海道開発局、NEDO新エネルギー産業技術総合開発機構北海道支部、独立行政法人土木研究所、国立研究開発法人土木研究所寒地土木研究所。

「企業」：(有)永桶、(有)ヤスマル設計事務所、(有)新栄合田建設、(株)大有、(株)雪屋媚山商店⁴²、美唄市農業協同組合及び同氷室貯蔵研究所、伊藤組土建 Snow Cooling System 研究会、美唄商工会議所、美唄新産業創造研究会、美唄建設業協会、美唄建設事業協同組合等「22社」（北海道2012-19）である。

雪冷房マンションは、地上6階24戸建の「ウエストパレス」という名

⁴¹ 原子力10.1円、水力11.0、火力・石炭12.3、火力・LNG13.7、風力・陸上21.3、メガソーラー24.2、バイオマス・木質系29.7、火力・石油30.6。（北海17.4.20）

⁴² 雪屋媚山商店の本社は、美唄市に移転（北海15.2.13）している。

称で、冬期間に駐車場を除排雪した雪を夏期まで貯雪庫に100トン保存し、雪解けの冷水を循環させて冷房⁴³するシステムである。冷房に要する費用は、エアコンの電気料金に比べ約三分の一という。冬期間の熱源は灯油焚きにより同じダクトから戸別に供給している。

居住スペースと賃貸料金は、2LDK~62.7m²と69.3m²の二種類で59~65千円という。

なお、美唄自然エネルギー研究会が、平成14年に資源エネルギー庁長官賞を受賞している。一方、参考までに述べると、当マンションの誕生は、雪クラスター構想を掲げた井坂紘一郎市長によるところが大きいとされる。

さて、「自信の窓」を通過したか否かについては、外部の人の見解を十分に聞くとともに、美唄自然エネルギー研究会を立ち上げて再生可能エネルギーの利用について十分な検討を重ねていること、多くの協働により資源を持ち寄っていること、貯雪庫の設置には初期投資を必要とするが、暖房用の熱風循環装置が冷房と兼用であること、賃貸料や住み心地に対する不満は聞かれなかったことから概ね入居者の支持が得られているものと考えられる。

一方、雪冷房に関する波及効果は、介護施設などの公共施設では見られたものの、集合住宅における取り組みは見られなかった。とはいえ、新技術を協働による慎重な吟味の末導入にこぎつけたことは評価に値すると考える。

以上のことから経済的な面を達成するとともに、市民の支持も得られたことなどから、「自信の窓が開いた」施策といえよう。

(2) 雪蔵米 (2000年)

次に、雪蔵米が「自信の窓」を通過したのかどうかについて検証を行う。

空知管内の美唄市で栽培されるイネの品種は、国や北海道⁴⁴により開

⁴³ (財)北海道地域技術振興センター(現ノーステック(財))がビジネスプラン推進モデル事業により雪冷房部分の工事費の3分の2にあたる2000万円を補助(国交省)。

⁴⁴ 「おほろづき」は、国立研究開発法人農業・食品産業技術総合研究機構北海道農業研究センターが開発し2006年に品種登録(種苗法)。「ななつぼし」は、地方独立行

発された「おぼろづき」や「ななつぼし」であり、米生産者が栽培し、JA びばいは美唄市と営農や経営指導を行うとともに、雪冷房を活用した農産物の低温貯蔵雪氷熱の利用設備を整え、低温貯蔵農業施設雪蔵工房で「雪蔵米」として室温 5℃、湿度 70%で貯蔵している。このため、品質の劣化は、大幅に減少し食味が維持されることなどから消費者などから大いに支持されているとともに JA びばいは有利な条件で米穀卸商等に販売している。

なお、雪蔵工房のランニングコストは、従来の 5℃保存の電力料金を 100 とした場合、雪冷房が 68 と少なくなっている（JA びばい市営農部 2000 年実績）。

なお、雪冷蔵による品質管理は、雪蔵米のブランド化としての付加価値を高めたことで大いに期待されよう。

したがって外部者による提案も生かされるとともに、稲作農家においても減農薬栽培に努めていること、すでに述べた通り役割を分担しながら協働で進められていること、経済面においてもコメの貯蔵等が低コスト化となっていること、食味についても市民の支持を得られていることなどから、雪蔵米は「自信の窓が開いた」と判断される。

なお、国交省の資料によると、データセンター事業に係る冷房設備の稼働時間は、美唄が東京の 57%に圧縮することが可能（4541 時間が 2567 時間に）という。

2 行政サービスの事例

(1) 飼料用米の栽培

国が開発した飼料用米の品種「たちじょうぶ」（北海 15.4.26）の栽培は、JA びばいの組合員により 2014 年から始められている。なお、当品種等を交配親として後に「きたげんき」も育成している。

同様に北海道立総研機構中央農試岩見沢試験地が開発した「そらゆたか」は、2016 年から作付け（北海 17.3.2）されている。このため、2016 年北海道内における飼料用米の作付面積は、2,770 ha となっている。特に、「そらゆたか」は直播栽培⁴⁵に向いており、主食米品種よりも 1～

政法人北海道立総合研究機構北海道中央農業試験場が開発し 2004 年品種登録されている。

⁴⁵ 直播栽培とは、田植（苗移植）栽培ではなく種もみ（種子）を直接田（乾田又は

2割の増収が見込めるといふ。

飼料用米栽培における最大の利点は、非常時に主食用米への転換が可能であること、牛乳やバターなどの乳製品や牛肉・豚肉・鶏肉・鶏卵などを生産する飼料が外国産のトウモロコシなどの穀物に大きく依存しているが、飼料用米で軽減が期待されること。さらに、美唄市（茶志内地区）においては、「国営農地再編整備事業」⁴⁶（北海道開発局資料）が約十年かけて（2012年～2023年）JA びばいや美唄市そして水土里ネットほっかいの営農支援を受け、国営事業で開始されている。

当事業の水田区画整理等においては、地力の高い表土を作土層に戻す「表土扱い（surface soil handling）」（社団法人農業土木学会 1966-84）の工法である。

このため、イネの根群に吸収されなかった肥料成分は、造成直後の土壤に集積されており、イネが多く窒素成分を吸収することで、コメのタンパク質が増え数値が低いほどおいしいとされるタンパク質含有率が高くなるために「主食用米の栽培には向かない」（北海 15.4.26）という。その原因としては、土壤中の窒素（nitrogen）含有率が多くなることで、コメのタンパク含有率も高くなりデンプン質のアミロースが増えてばさついて粘りが少なくなり食味が劣る。このため、過剰な肥料成分を減少せしめるためには、造成直後の作付けにおいて「飼料米の栽培」がクリーニングクロープとしての役割を果たすことで土壤の浄化が促進されることとなる。

なお、水田を畑地にした場合のデメリットは、作物が水分を求めするために深耕せざるを得ず、その結果耕盤すなわち犁床（plowsole）が破壊され湛水（たんすい、ponding）が出来ず水田への再利用が困難となることである。

一方、そもそも飼料用イネの栽培面積が増加した理由は、直播栽培が可能のため育苗施設や田植（苗の移植）が不要となること、省力化などから栽培面積の規模拡大が可能となること、さらに、安定的な交付金⁴⁷

水田）に播種する栽培法で、播種には主にグレーンドリル grain drill で施肥播種を行う。

⁴⁶ 東川町では、水田の区画を 0.3 から 2.2 ha に拡大するという。（北海 17.12.8）

⁴⁷ 飼料米の交付単価は、3.5 万円/10a。収量に応じ単収加算 (kg/10a)/(助成額万円) は、381 \geq /5.5、531 \geq /8、681 \geq /10.5。その他産地交付金 1.2 万円/10a。出所：平

が支給されることなどがあげられよう。

一方、交付金の支給については、国政等⁴⁸における財政悪化などの状況から方針転換の恐れもある。したがって採算性が見込めない場合には、米価が比較的安定的な主食用米に置き換わることも予想される。このため経済面では、不安定であり自信の窓が開く要件を満たすとはいえない。

なお、飼料用米の多収で農林水産大臣賞を受賞した美唄市の K 農家の場合は、「きたげんき」を 1 ha に栽培し多量の窒素肥料施用から「968 kg/10a」（北海 18.3.10）であったという。しかしながら、このような圃場の事例では、前掲の理由から直ちに主食用米への転換が困難となり土壌の成分が適正化されるまでの間は加工用米などにせざるをえないこととなる。

(2) 受動喫煙防止条例

美唄市の当条例は、平成 27 年 12 月 11 日に公布し、28 年 7 月 1 日から施行され、「道内自治体で初となる条例で……市内 600 カ所の施設が分煙や禁煙などの対策が求められる」（北海 16.7.1）内容である。この条例を制定するに至った背景には、炭鉱などの坑内等作業に従事し「じん肺」に苦しんでいた多くの人たちの「きれいな空気を胸いっぱい吸い込みたい」（作家・安田侃による「じん肺の碑」制作時の構想）や美唄市医師会（井門明医師会長兼 NPO 法人びばい理事）による受動喫煙による健康被害の啓発そして、市民らの願いが、他ではやられていない事項をあえて美唄市の条例として自信をもって制定された所以である。

なお、「都道府県では神奈川、兵庫」（北海 17.1.3）の両県が制定されているが、今後の経過を見守っていきたい。

この政策は、地域行政を自主的かつ総合的に実施する役割の一環で行われており、企業等との戦略的協働で行う案件ではないことから、自信の窓が開く要件に該当しないためにコメントは差し控えるが、自信をもって制定されたものであるため、参考までに掲載している。

成 29 年度予算概算要求の概要。

⁴⁸ 関税が原資の場合は、国内外の情勢により関税率が大きく変動する場合もある。

3 その他

(1) ふゆみずたんぼ

宮島沼水鳥・湿地センター⁴⁹は、ラムサール条約湿地の保全を通じて自然や農業との触れ合いの場として、美唄市が2007年に設置している。

宮島沼には、「コハクチョウ⁵⁰が最大7千羽、マガンが7万羽」(湿地センター資料)が飛来する渡り鳥の中継地点である。

「渡り鳥の主なルートは、10～12月にかけて①カムチャッカ半島から北海道経由で東北に飛来し越冬する群れ。②サハリンと極東ロシア方面から北海道を經由して東北で越冬する群れ。③中国東北部方面から本州の日本海沿岸で越冬する群れ。④朝鮮半島近辺から山陰方面に飛来する群れ」(北海16.12.29を参照)などであり、本州の越冬地においては群れの混在が見られるようでもある。2～5月にかけては、逆ルートで戻るといふ。

「ふゆみずたんぼ」とは、宮島沼周辺の水田の中から次の目的を達成するために、イネの収穫直後から田に水を張り湿地の乾燥を防止する、淡水魚の泥鰌^{どじょう}などを繁殖させ、コハクチョウなどのエサとして供給する、過密状態の沼から水鳥を水田に誘引する、沼の水を水田に引き入れ糞によって富栄養化⁵¹された湖水を浄化せしめるなどであるが、たんぼには化学肥料や除草剤は一切使用していない。

この趣旨に賛同し「ふゆみずたんぼ」として提供された水田のコメの収穫量は、肥料を施用しないことから本来必要とされる養分が不足し、斉一性のある登熟が進まず青米が増え減収となること、無農薬栽培のため人手により反復して田の草取り(除草)を必要とすることなどから協力者に対し何らかの形で補てんをする必要がある。

このため、宮島沼水鳥・湿地センターの牛山研究員は、美唄市のSファームや、宮城県大崎市のH.S農家、そして石川県加賀市のI.Y農家らと「ふゆみずたんぼ」(湿地センター資料)に取り組みしており、収穫された3地域のコメを2kgづつ計6キロをこの取り組みに賛同する人たちに、4千円と送料で購入してもらい無肥料等に伴う低収益の農家な

⁴⁹ 牛山克己研究員が担当している(北海15.2.13)

⁵⁰ コハクチョウ *Cygnus columbianus* (Tundra swan)、マガン *Anser albifrons* (Pacific white-fronted goose)

⁵¹ 「1947年に33.6haあった水面が、2007年には25.1haに縮小」(北海18.4.3)

どへの補てん策として市民主導で取り組んでいる。

なお、平成 27 年 12 月 1 日の美唄市のプレスリリースによれば、湿地の文化として当たんぼの稲わらによるしめ縄作りの講習会開催を呼び掛けている。

当事業は、環境保護とりわけ湿地保全の上からも意義が高く崇高な取り組みと言えようが、行政は役務を等しく提供することを旨とするため個別案件との協働が困難となるため、自信の窓が開く条件にはなじまない内容となっている。

今後は、企業や篤志家等の賛同を得ることが望まれよう。

なお、参考までに同市における「企業版ふるさと納税」の対象事業は、子育て支援やサイクリング観光客受け入れ整備計画とともに、宮島沼保全活用促進計画（平成 30 年度 1,677 千円）が対象となっている（内閣府地方創生推進事務局資料）。

第 4 節 演劇のまち富良野

富良野市では、1970 年代に北の峰スキー場⁵²の開設、国土計画の堤義明による北の峰プリンスホテルの開業や、アルペンスキー W 杯フラノ大会の開催、ふらのワインの新発売等と観光地としての地歩を徐々に固めつつあった。

1980 年代には、作家の脚本による「北の国から」のテレビ放送が契機となって、同市の知名度を一気に押し上げ、「聖地巡礼」などで多くの観光客が来るようになった。このため、富良野チーズ工房の設立や新富良野プリンスホテルとペンション等の開業が見られるようになった

先の作家は、1984 年に脚本家や役者養成を目的として富良野塾を開設しているが、その後、卒塾生や市民による演劇等を発表する専属の場が必要と熱心な市民団体の要請を富良野市が受け入れ、富良野演劇工場という小劇場を設置した。これが契機となり「演劇のまち富良野」が開始されている。

その後 2007 年には、市の中心街区における病院⁵³の跡地（77 ha）利用が課題であった。その当時のまちの状況は、さきの演劇工場を始め主要なホテルなどがまちの郊外に分散していることから、一般市民の受け止

⁵² 現・富良野スキー場：1972 年に西武グループのプリンスホテルに譲渡されている。

⁵³ 北海道社会事業協会富良野病院

め方は、利便性や、除雪などから疑問を持たれていたような状況であった。

一方、多くのまちでは、中心市街地のシャッターが閉ざされたままの状況から中心市街地の空洞化が問題視されていた。このような状況にあって、富良野市民の有志が病院跡地に対して「こんなだっ広い土地を放置しておくなんて勿体ない、利用を考えよう」との一言が発端となって紆余曲折を経て「まちづくり三法」⁵⁴の一つであり1998年に施行された「中心市街地活性化法」による事業の活用が狙に乗ることとなった。その当時一般観光客は、「新鮮なメロンをお土産にしたいのだが、どこで買えばいいの？、トイレは？」といった利用施設が分散しているという不便な状況でもあったという。

そこで企業の経営者で当時NPO法人理事長らは、富良野商工会議所からのメンバーに呼びかけまちづくりの発起人となり、2003年1月に「ふらのまちづくり(株)」として出資者⁵⁵を募り設立している。

当まちづくり会社の目的は、「都市開発に関する企画・調整、設計及びコンサルタント事業や、施設の管理運営、各種イベントの企画、運営及び受託に関する業務など、まちづくりに関わる公共性の高い事業を主たる業務として事業展開し、富良野市の中心市街地の活性化に寄与すること」(会社資料)としている。

1 フラノマルシェ

中心市街地活性化基本計画(案)の策定に際しては、構想を練ることから始め紆余曲折の末「フラノマルシェ」構想が確定し、基本計画の策定に向けて多くの人たちとの協議が開始された。

設置の構想段階では、先行する演劇⁵⁶によるまちづくりが各セクターの協働により成功を取めた経験から、自信を付けるとともに協働の参加者が「開かれた対話」(斎藤環2015-19)を重ねている。設計は、市民の意向を重視するとともに、常に使い勝手の良さを念頭に置き、地元経済界や多くの市民の意向も取り入れながら進めている。それは、以前行わ

⁵⁴ ほかに都市計画法(1998年)や大規模小売店舗立地法(2000年)である。

⁵⁵ 商店街団体、民間団体、商工会議所、金融機関3行、富良野市、JAふらの市等59名。

⁵⁶ NPO法人には、西本伸顕や森田武らが理事長に就任していた。

れた富良野「駅前再開発事業が、行政主導から硬直的な内容であった」（元田 2009：130）などの事情を踏まえ、計画変更に際しても柔軟に対応するとともに、諸手続きに関しても市職員等の協力の下迅速化が図られたようである。

その後、「フラノマルシェ」は、富良野市中心市街地活性化基本計画として、2008年9月に経済産業省の「パイロット事業（TMO⁵⁷の支援）の認定」（西本 154）を受けている。

第一期工事は、カフェ、パン・スイーツなどや「ふらのメロン」等農産物直売所、富良野物産センター、アイスクリームなど店舗5カ所、イベント広場、駐車場として2010年4月に完成している。結果、2014年7月までの来館者数は、300万人を達成している。

第二期工事の「フラノマルシェ2」は、「中心市街地における市街地の整備改善及び商業等の活性化の一体的推進に関する法律（平成10年6月3日法律第92号）に係る事業に応募し、おにぎりなどを販売するおしゃれな店舗が11カ所、たまり場、冬期間に市民が交流できる空間のアトリウム等々であり、2015年6月に完成している。その結果、マルシェ2に隣接する幸町7-28の商業地基準地価（2015年）は、北海道の一部を除く都市部の多くが下落する中であって、「前年度より5.1%の増の41千円」（北海 15.9.22）と高騰している。

さて、フラノマルシェにおける「自信の窓」の通過如何に関しては、大学⁵⁸や観光客などいわゆる外部の意見も採り入れていること、経済面においても、食に関する売り上げや物産の販売面においても好調であること、多くの市民やスイカなどの農産物生産者、富良野市（行政）や金融機関等を含む多くの企業・団体を巻き込んで立ち上げていること、市民の支持を得て来館者数の目標を達成していることなどから、自信の窓が開く条件をすべて満たしており「自信の窓が開いた」と判断される。

2 行政サービスの事例

小水力発電所

富良野市ろくこう麓郷地区にある麓郷小中学校（職員室）の電源は、小水力発

⁵⁷ Town Management Organization

⁵⁸ 東京大学の「堀（繁）教授」（西本 2013-85-87）、（景観工学等）。

電所の電力で賄っている。この水車を駆動させている水源は、富良野市が流水を排他的、継続的に使用する権利（水利権）を持つ石狩川水系富良野川支流の白鳥川である。

当発電所の施設は、富良野地域小水力発電普及協議会が、2016年3月に環境省の支援を受け設けられており、水車の直径が2.25m、羽根が16枚、出力1.9kWというまさにテレビドラマの「北の国から」の設定を彷彿とさせる。

発電施設の所有は、普及協議会が「富良野市に寄贈し……管理を市民が担っている」（北海16.12.1）。当施設の役割は、発電試験、環境学習、普及啓蒙という。

「自信の窓」の開閉については、山間地であり送電網がないという立地条件から経済面では有利であること、再生可能エネルギーの利用から市民の支持も得られていること、観光資源として外部の考え方も聞き入れていることなどが見られるものの、冬期間の凍結が厳しい地帯であるために、設備や保守に関してさらに企業の技術力等の知見が必要とされようが、マーケットの規模が乏しいことから企業の参入が見込めない「企業参加がゼロ」（北海道2012-28）の状況である。このため本件は、行政サービスの一つと捉えている。

終章 本研究の結論と残された課題

改訂版協働の窓モデルで抽出された政策の特徴は、次項の通りであった。

「自信の窓」が開いたプロジェクトは、地域の基幹産業そのものに関わる内容が多く含まれていた。第1に写真のまち東川では、「君の椅子」、「水道普及率ゼロのまちづくり」、そして、地域団体商標で認証された「東川米」であった。第2に美術館のまち美唄では、「利雪のまちづくり」であり、具体的な内容は「雪冷房マンション」と雪の冷気利用によりコメの品質を維持する「雪蔵米」であった。第3に演劇のまち富良野では、富良野メロンなどを直売する「フラノマルシェ」であった。

3市町に共通的な内容は、地域に賦存する土地・地下水・雪といった資源や、コメ等の農産物の生産・貯蔵・流通（加工、販売）そして木工製造などの技術といった、地域の強みであり成長が見込める分野であった。

このため、新たな政策の策定に際しては、トリクルダウン的な効果に期待するのではなく、地域資源という自前の水源地的な効果「fountain effect」(神野 2008-141)を優先するといった考え方も符合している。ひるがえって、多くの市町村においては、更なる地元の資源等に対する再評価や分析を進めることで新たに取り組むべき政策も見えてくるのではないかと考える。

一方、それぞれのプロジェクトを成し遂げた根底には、外部者らの情報も共有するとともに、各セクターによる協働に対し積極的に参加した人材や指導者の存在が伺われている。

したがって、今回、新たに工夫した改訂版協働の窓モデルは分析枠組みとして有効であると指定される。

他方で、「自信の窓」が開けなかった政策は、あえて企業や非営利の市民団体等とのセクターによる協働で推進するという性質のものではなく、そもそも行政サービスの一環として位置付けられるもの、または位置付けざるを得ない政策であった。このため、「自信の窓」による分析がすべての政策に該当するものではないという事も判明したことになる。

しかしながら、人口減少等の危機的な諸問題や、厳しい財政状況を鑑みれば、可能なものは出来る限り市民や企業との協働により資源を補いながら、(法令に抵触しない範囲で)なりふり構わず柔軟な発想で事に当たらざるを得ないものと考ええる。

さらに、例えていえば地方創生に関する新事業の採択などにあっては、国会の動きにより年度末に差し詰まって予算化される状況も予想されることから、申請の機会を逸することのなきようにある程度予想をつけた事前準備も必要となる。

このような場合担当者は、関係部局を始め議会事務局等との調整、さらに必要に応じて他の自治体との調整も十分に行う事であろう。

一方で留意すべきことは、首長やJA・商工団体(企業)並びに市民(非営利組織)の代表者をはじめ、各組織の構成員がセクター間の協働により Win-Win の関係を構築するために、日頃から親密な関係⁵⁹を築いておくことが当然必要となる。

⁵⁹ 新規事業等の採択に際しては、(多くの地域で他のセクターとの交流が進められているであろうが)いわゆる地元の熱意についても注視する可能性があるからである。

「自信の窓」を開くには、入念なプロセスが不可欠となるのである。

今回、プロジェクトが成し遂げられた要因には、次の点も挙げられよう。

(1) 過疎や辺地そして自然公園の指定は、二市町間に共通するなど自然条件には恵まれている一方で、「文化芸術の東京一極集中が続く中」(北海 16.12.9) にありながら、あえてそれらの活動に取り組んでいることが注目される。

(2) 本稿で取り上げた各市町における文化活動開始の契機は、次の通り U ターン者や移住者そして企画会社などいわゆる外部者の提案等が大きく影響している。

写真文化を採り上げた東川町は、町内に昭和の記録を伝えるとされる写真愛好家がいたものの、写真の町の宣言と、そもそも中央で開催される写真フェスティバルをあえて導入したのは企画会社の提案を参考としている。

校舎再利用の美術館によるまちづくりを始めた美唄市は、炭鉱の記憶保存等の必要性があったことに加え、イタリアで修業し世界的に活躍する美唄市出身の作家の存在、そして市内外の市民による強力な応援が好影響を及ぼしている。

演劇活動によるまちづくりを手掛ける富良野市は、首都圏から移住しテレビドラマ「北の国から」の作家により統制された役者や脚本家、そして、演劇活動を熱心に応援している転入者や市内外のファンなども注目される。

(3) 市民参加の多さは、市民と企業等とが互いに顔の見える近さであったこと、地方公務員と市民という「二足の草鞋」(田尾 2015-179) を履いている者の参加などから、濃密なコミュニケーションがあったことがあげられる。

(4) ボランティア活動が活発であったのは、小規模的な市町であるために全員参加を余儀なくされていたこと、市民が選ぶ表彰の設定や市民演劇などのように市民を巻き込んでいたことが市民のやる気を醸成させたものと言えよう。

(5) 文化活動に当たっては、外部者の提案や見解に対して排除や無視することなく前向きに取り組んでいる。

(6) イベントの開催では、第 1 に写真によるまちづくりの東川が行政主導とはいえ、あくまでも町の枠を超えて多くの市民の提案を採り入れ

るなどから、多くの支持を得ていること。第2に校舎再利用の美術館によるまちづくりの美唄並びに、第3の演劇活動によるまちづくりの富良野は、NPO 法人の主導ではあるものの、ボランティアという市民力や行政そして企業との協働が大きな役割を果たしていること等があげられる。

(7) 各イベントに対する地元の反応は、各市町とも外部の評価によって大きな影響を受けている。例えば、第1に写真によるまちづくりでは、全国の高校（中高一貫校等も含む）の写真部などを対象とした「写真甲子園」への予選参加校の増加、写真家を対象としている「東川国際写真フェス」などに対する国内外関係者の反響、さらにこれらに対するマスコミ露出の多さ。第2に美術館によるまちづくりでは、天皇皇后両陛下の行幸啓（2003）や毎年開かれる盆踊りなどの行事がエネルギー政策の転換によって転出を余儀なくされた市民の里帰りや帰省客等にとっての望郷と癒しの場に対する評価によって。第3に演劇によるまちづくりでは、テレビドラマに対するロケ地巡礼など観光客の多さ、演劇工場という小劇場の使用を「プロの演劇人だけの使用ではなく、市民に開放されていることが理解」（編集工房 NODE 2004-89）されたこと。さらにそれぞれのまちなどが、文化庁などや各種団体の表彰を受賞するなどまちの知名度が日増しに増すことに安堵感や好感をいただいていることが挙げられる。

(8) 文化活動と市民とのかかわりは、さきのボランティアの参加のみならず第1に東川では、ホームステイによる交流や写真少年団の活躍。第2に美唄では、野外音楽会などのイベントや落ち葉ひろいなどの交流を通じて。第3に富良野では、演劇などのワークショップや演劇リハビリ、そして、小中学生や市民演劇などの交流を通じてである。

(9) 「北海道文化振興条例」（平成6年北海道条例第31号、6.3.31公布）そして、「文化芸術振興基本法」（平成13年12月4日法律第148号）年が文化活動を安定的なものとしていることもあげられる。

(10) 芸術文化政策を推進するに当たっては、当然なことに賛同者のみではなく様々な見解があったのである。その主たる内容は、「何が『写真の町』だ」、「彫刻芸術と言ったって高級な墓石のようではないか」、「演劇より他にやることがあるじゃろ」といった指摘である。一方、意見交換において市民などは、「まちの子らが将来も住みたくなるようなまちにする必要がある」などと、まちづくりの原点とも示唆されるような対

話を重ねてきたことや、公平でポジティブな世評などもあって事業の推進に弾みがついた模様である。

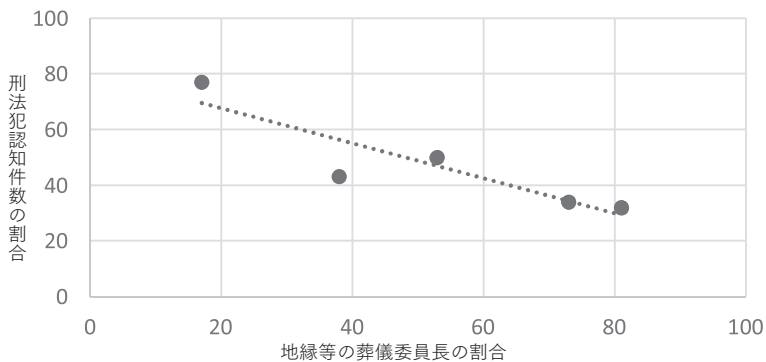
(11) 社会関係資本 (social capital) については、Putnam (2000-360) や内閣府 (2003) が社会関係資本と犯罪との関連を指摘しているが、今回三市町等⁶⁰における共助による葬儀委員長と刑法犯認知件数との関係を見ようとしている。

その結果、地縁等の葬儀委員長が多い地域では、社会関係資本 (きずな) の蓄積から刑法犯認知係数が少ない傾向であった (相関係数 -0.9001)。

葬儀の出所は、北海道新聞 (旭川市、美唄市、大空町が 2015.1.3~3.31、富良野市が 2015.1.3~4.30 まで、そして東川町が 2001.1.3~2016.12.31) のおくやみ欄からである。

市町	標本件数	葬儀会場等の割合 %				認知件数	葬儀委員長
		寺院	公営	民営	終了		
旭川	698	4		61	35	77	17
美唄	86	17	39	32	12	50	53
富良野	80	1	1	80	18	43	38
東川	1165	59	9	19	13	34	73
大空	31	74		23	3	32	81

刑法犯認知件数は、2010~2014 年人口 1 万人当たり平均である⁶¹。



⁶⁰ 東川町と人口が同規模の大空町と近隣の旭川市とを加えている。

⁶¹ 富良野市 JA では、民営葬儀社の 1 施設を経営している。

残された課題

今後、地域資源の活用等に係る先行事例については、さらに資料の収集や分析を行っていく必要があると考える。

なお、次の事項は、地域内等における協働の推進に向けて検討に値すると考えられるため参考までに提示する。

(1) 北海道内のNPO法人(1166団体)に勤務する職員の給与は、15万円未満が34%、「15万円から20万円未満が41%」(北海16.11.5)とされる。このため、美唄市と富良野市におけるNPO法人の職員は、地方公務員対比で高いとは言えないが文化活動等を「次世代に(伝えたい)との思いを抱いている」(北海15.7.6)。

一方、私見ではあるが近時の消費生活においては、現在の給与水準に対して厳しい面があるため、NPO法人が社会的企業化などへの移行によって、人件費等の上積みや、ボランティアに対しても交通費の一部を支給⁶²する程度は必要と考える。したがって、認定NPO法人制度における要件の緩和策等が望まれる。

要件の緩和とは、例えば、コンサートに対しNPO法人が入場料を徴収していることから認定要件には該当せず、あくまでも、多くの支援会員がいることが認定NPO法人への認可要件であるとするならば、それは再考の余地があるということである。なぜならば、300席で2千円の入場料を徴収した場合の総額は60万円であり、年間10回の開催であれば600万円となり地方公務員の年収⁶³に相当する場合もある。

一方で、支援会員100名以上等が認定要件という事であるならば、個人の年会費が3千円の場合100名で年間30万円に過ぎないのである。

ちなみに総務省の平成26年「地方公務員給与の実態」によると、全国の市域における一般行政職(平均年齢42.5歳)の場合は、各種手当を含み324,410円であり、北海道の義務教育を担う教育職平均給与月額は、392,838円(平均年齢43.2歳)という(北海道教育委員会、平成27年4月1日現在)。

(2) 平成の大合併で北海道の合併件数は、市町村面積が比較的大きく(人口密度も低い)、それぞれの財政事情等から少ない状況であった。その中で合併の是非に関する話し合いの場においては、開墾のため木の切

⁶² 北海道では、目的地まで50~60kmや中には200kmの参加者もみられる。

⁶³ 「栃木県佐野市607万円(平均年齢43.7歳)」(東洋経済)。

り株を取り除く伐根 (stumping) 作業等に立ち向かって開拓の礎を築いた「先人の労苦を思えば (合併しなかったことによる) 地方交付税の減額くらいは耐えられる」という意見があったと聞く。

このような見解は、後世に伝え続けていってほしいと考える。なぜならば、開拓に伴う苦闘が本州等とは異なりわずか百数十年前からであること、戦後開拓⁶⁴ などでは 70 年前後からの出来事に過ぎないからである。さらに、少子化や高齢化時代等乗り越えるうえでも、多くの示唆に富んだ重みのある内容の一つと考えられるからである。

(3) おわりに、人口の激減などの場合には、例えば市町村組合立中学校⁶⁵ 等の連携方式もあり得るものとする。このため、市民等との危機感を共有するとともに、さきに述べた如く、市民、行政、企業とが一丸となって難局に対処せざるを得ないとする。

【参考文献】

- 彩草じん子 (2005) 『安田侃、魂の彫刻家』集英社～28p.若者定住促進、校舎整備
美唄市史編纂委員会 (1970) 『美唄市史』
藤田紘一郎 (2010) 『水と体の健康学』ソフトバンク クリエイティブ(株)～90 参考資料
富良野市市史編纂委員会 (1994) 『富良野市史』～46 山部町と合併
Gary R. VandenBos ファンデンボス (監訳者: 繁榎等男、四本裕子、2013) 『APA 心理学大辞典』self-confidence
東川町 (2010) 『町制施行 50 周年記念史 きずな』(株)ぎょうせい～14 君の椅子
北海道 (2005) 『北海道功労賞 受賞に輝く人々』平成 17 年～47 市民
北海道新聞社 (2002) 『アルテピアッツァ美唄: 安田侃の芸術広場』「炭山の碑」坑夫達は散りぢりに山を去った
神野直彦 (2008) 「グローバル下の地域開発を考える」北海道学術大学開発研究所『五十年史』～81 研究結果の概要
金子幸江 (2006) 「北海道、エネルギー新時代」北海道開発協会～白いダイヤへ発想の転換
加藤知美 (2014) 『北海道の元気! NPO 訪問』公益社団法人北海道地方自治研究所～32 元気再生
小島廣光 (2002) 「改訂・政策の窓モデルによる NPO 法立法過程の分析」北海道大学
小島廣光 (2003) 『政策形成と NPO 法』～改訂・政策の窓モデル

⁶⁴ 海外からの引揚者や復員軍人そして戦災者のほか、疎開者による開拓もある。

⁶⁵ 昭和 53 年熊本県玉名市横島町中学校組合立有明中学校設置など (現在は市と合併)。

- 小島廣光 (2009) [NPO と勤労者 OB] 札幌学院大学論集・紀要～47 NPO 法人国内第 1 号
- 小島廣光・平本健太編 (2011) 『戦略的協働の本質—NPO、政府、企業の価値創造』有斐閣～第 1 章
執筆者：後藤祐一、畑山 紀、大原昌明、相原基大、菅原浩信、横山恵子、樽見弘紀と編者
- 久米淳之 (2014) 『安田 侃一天にむすび、地をつなぐ』～25 堂田、栄小学校 62 人
久米淳之、中村聖司、北嶋晃子 編集 (2003) 『安田侃の世界一天にむすび、地をつなぐ』～30 サポーター 786 名
- 圓山彬雄 (2006) 環境と建築 (第 4 回) 「また来ます。心のふるさと」『開発こうほう』2006.2 第 211 号～29 村野藤吾、34
- 松岡市郎 2012 『三つの道がない・・・』『町村週報』7 月 16 日 全国町村会～3
- 松下勝秀、五十嵐八枝子、梅田安治 (1985) 「石狩泥炭地の生成とその変貌」地下資源調査所報告 第 57 号～28p.
- 宮川公男 (1995) 『政策科学入門』東洋経済新報社～ゴミ箱モデル
- Moretti, Michael. (2008) 「安田侃、その根源的なもの」『KAN YASUDA』～29 天モク
- 守屋貴司 (2011) 「北海道東川町の地域活性化のための地域マネジメントに関する研究—」
『立命館経営学』第 49 巻第 5 号～14 変革、挑戦ほか
- 元田結花 (2009) 「地方自治体の持続可能性に関するアクターの問題構造認識：北海道富良野を事例として」
共著者 工藤康彦、城山英明、加藤浩徳、辻 宣行『社会技術研究論文集』Vol.6、124-146～46 北の国沈静化、86
(社) 農業土木学会 (1966) 『改訂三版農業土木標準用語事典』～85 トラクタシヨベル、表土扱い
- 西本伸顕 (2013) 『フラノマルシェの奇跡—小さな街に 200 万人を呼び込んだ商店街のオヤジたち—』
- Nonaka and Takeuchi (1995) “*The Knowledge-Creating Company*”
(梅本勝博 訳 (1996) 『知識創造企業』SECI モデル)
- 鬼塚幹雄 (1991) 「写真の町から～写真文化に力を注ぐ北海道東川町～」『新聞研究』(483) ～13 やめるべき 32.9%
- Putnam, Robert. D. (2000) “*Bowling alone: The collapse and revival of American community*”
(柴内康文 訳 (2006) 『孤独なボウリング—米国コミュニティの崩壊と再生』) 89
犯罪との関係
- 齊藤勇 (2013) 「思いのままに人をあやつる心理学大全」自信を持つことで能力は最大限に発揮
- 齊藤眞 (1976) 「世界現代史 32 アメリカ現代史」1920 年のアメリカ国民出身別表
- 斎藤環 (2015) 「オーブンダイアローグとは何か」開かれた対話
- 樽見弘紀 (2007) 「非営利セクターとその資金調達」『変容する世界と法律・政治・文化』北海学園大学～第 4 章 寄付

芸術文化主導の自治体政策 (2)

- 樽見弘紀ほか (2003) 『市民と行政が一緒に創る芸術文化政策—いま我々の手中にある道具—』 北海道自治政策研修センター政策研究室
- 立木義浩監修 (2014) 写真の町実行委員会編 『写真甲子園—20年の軌跡』 北海道新聞社～12 何が写真の町だ
- 玉村雅敏 (2013) 『地域を変えるミュージアム』 栄治出版～13 倒産
- 田尾雅夫 (2015) 『公共マネジメント —組織論で読み解く地方公務員—』 二足の草鞋
- タック編 (2005) 『「またきます。安田侃の彫刻広場 アルテピアツァ美唄」』 求竜堂～30 天皇 守ってくださいね
- 徳田拓也 (2011) 「利雪事業の導入条件とはなにか」『冷熱エネルギーによるまちづくりの現状と課題』 北海道教育大学
- 旭川校 社会学研究室調査報告6. 角一典編 ～井坂市長の「雪クラスター構想 山内栄治ら (2004) 「生誕百年記念 更科源蔵作詞校歌集」
- 勇崎哲史 (2002) 「特集はくの日記帳は、カメラだった。」『自然と文化』68 昭和の記録

雑誌、官公庁資料、インターネット検索等関係資料

- 旭川駅 (mameno.blog.so-net.jp/)
- アシュランド視察 (2005) NPO 法人ふらの演劇工房 (www.furano.ne.jp/engeki/pdf/dowm/ashland2005.pdf)
- アルテ便り 2008.2.27 新日曜美術館
- 文化庁 (2014) 劇場・音楽堂等活性化事業
- 文化庁芸術文化課 (2015) 劇場・音楽堂等活性化事業
- ブランド総研 (2006) 環境に優しいまち
- 美唄市議会会議録 (2004.6.14:86) 35,000 人來館
- 美唄市 (住民情報サイト) 保存年限を 99 年
- 『チビスロウ』(2012:20) 継続/写真
- 『チビスロウ』(2012:18) ホームステイ
- 富良野イベントカレンダー 第 5 回ふらの演劇祭
- ふらの演劇工房資料 市民劇団へそ家族
- 富良野市議会 (2008) 演劇工場に係る条例の全部改正
- 富良野市 (2014) 定住自立圏 (www.city.furano.hokkaido.jp/bunya/teijuujiirituk/en/)
- 富良野市 (2014) 農畜産物生産状況
- 富良野市資料 250 万人
- ふらのまちづくり株式会社 www.furano.ne.jp/furano-machi/ 出資者と受賞歴
- FIELDS (2013) 日本財団 文化庁の演劇鑑賞事業
- FIELDS (2013) 日本財団 (<http://fields.canpan.info/organization/detail/1320794819>) 小劇場建設
- 浜辺啓 (2006) 「生き生きと輝く未来をとらえた「写真の町」」『電気のふるさと』電源地域ニュース 9 Vol.5
- 一般財団法人電源地域振興センター 写真甲子園としている

- ひがしかわ広報 (8.10) 大阪工芸高校修学旅行
 ひがしかわ広報 (2012・4) 希望の君の椅子
 ひがしかわ広報 (2012・7) 塩素が含まず退色しない
 ひがしかわ広報 (2014・3) 東アジア文化連盟
 ひがしかわ広報 (2015・5) プロの写真家五名が移住
 広島町広報 (1982・9・15) 〈新生〉79年ジョルジョの工房で製作
 編集工房 NODE (2004) 「NPO が北海道を変えた―道州制と 市民自治へのチャレンジ―」
 北海道 (2001) 「アイヌ語地名リスト」 フラヌイ
 北海道 (2006) 都市計画課 景観行政団体
 北海道 (2010) (H22) 文化選奨 www.pref.hokkaido.lg.jp/ks/bns/senshow/22senshow.htm
 北海道 (2012) 「地域新エネルギー導入プロジェクト加速化事業 地域における民間主導による取り組み調査実施報告書」
 北海道 (2014) (H26～H31) 認定 NPO 法人 (北海道所管) 2014.2.10～2019.2.9
 北海道開発局 (2000) 第 3 章活用事例集 (www.hkd.mlit.go.jp/zigyoka/z_jigyousinko/mn152o3.pdf)
 北海道警察本部 (2010～2014) 人口 1 万に当たりの刑法犯認知件数
 北海道町村会 (2014) 『まちづくり自慢集』
 石巻市議報告 (2012.10.25) 石森市雄市議会議員
 一般社団法人地域創造 (15 号) バジエロ (www.jafra.or.jp/library/magazine/015/)
 JA ひがしかわ 『大雪清流てっぺんだより』 (2013) No.478、500 (2015.3) 東川米
 経済産業省 (2015) 中心市街地活性化室・平成 27 年 3 月 19 日 マルシェ
 国交省 平成 25 年度再生可能エネルギーの活用による地域活性化に関する調査事例集平成 26 年 3 月 国土政策局 雪冷房
 国勢調査
 宮内庁、行幸啓
 Latvija (2006.3.15) 第 4 号日本ラトビア音楽協会ニュース 6 / 1 ～ 18 海外作家展・東京
 水土里ネットほっかい (2008) 北海土地改良区 北海幹線用水路
mamenoblog.so-net.ne.jp/2011-11-23-1 旭川駅・天秘
 Manchester Evening News (1996.8.5) エリザベス女王
 メロディ・美唄市広報誌 (2005・6) 設立準備会
 メロディ・美唄市広報誌 (2015.7) 高橋幹夫市長
 メロディ・美唄市広報誌 (2016.5) 安田侃彫刻美術館アルテピアッツァ美唄
 文科省 (2005) 文化審議会文化政策部会報告 (平成 17 年 2 月 3 日) 地域文化で日本を元気にしよう！
 NIKKEI BUSINESS (2012.12.10 : 124) 写甲 2,700 万円 うち 850 万円
 NPO 法人資料・びばい 法学部カフェ
 農林水産省北海道農政事務所 水稲収量の推移
 内閣府 (2003) 犯罪との関係、(2008) 中心市街地
 日本創成会議資料 2014 年

芸術文化主導の自治体政策 (2)

- ポポロだより (2015・4) 村野藤吾賞
ポポロだより (2016・4) クリスティーズ社
佐藤友哉(1990) 「北の彫刻の現在」札幌学院大学人文学部編 『北海道の現代芸術
=公開講座北海道文化論一』 洞爺湖
空知の炭鉱関連施設等 (www.hokkaidoisan.org/heritage/010.html)
空知総合振興局 (2015) そらち『炭鉱(やま)の記憶』ガイドマニュアル(美瑛市
版)
(www.sorachi.pref.hokkaido.lg.jp/ts/tss/guidebibai6.pdf) 炭鉱の閉山
写真の町ひがしかわ通信 Vol.28、29、30、31、号外、協賛
the Bazaar 2004 富良野高校→修学旅行でふりょうの高校の皆さん
安田侃(2014) 「欧米諸国の彫刻と市民の関わり」第10回北広島文化連盟研修会 3
月14日
横道清孝 「日本における市町村合併の進展」政策研究大学院大学
全国公立文化施設協会 初期の受託額
全国公立文化施設協会 倉本とフランチャイズ契約

〈第三章、第四章〉

新聞各紙

- | | | |
|-------|--------------|--|
| 朝日新聞 | 2010・4・5 | 「谷は眠っていた」 |
| 朝日新聞 | 2013・10・10 | 北海道文化賞・作家 |
| 朝日新聞 | 2015・10・19 | へそ家族、身体表現 A の授業 |
| 朝日新聞 | 2016・1・12 | 演出はやめる |
| 北海道新聞 | 1994・10・24夕刊 | 石ステージ |
| 北海道新聞 | 1994・12・15 | ジョルジョ |
| 北海道新聞 | 1996・11・14 | 空知版・水の広場 |
| 北海道新聞 | 1998・5・23 | 空知版・友の会 |
| 北海道新聞 | 2001・3・28夕刊 | エリザベス女王 |
| 北海道新聞 | 2002・7・3 | 飛翔 |
| 北海道新聞 | 2002・7・31 | 新生 |
| 北海道新聞 | 2003・5・8 | 380万円着服 |
| 北海道新聞 | 2003・7・2 | イタリアからの作品輸送費が不足800万円、市
民主体の寄付(サポーター会議議長 圓山彬雄) |
| 北海道新聞 | 2003・7・3夕刊 | 行幸啓 |
| 北海道新聞 | 2004・12・16夕刊 | 全国アートNPOフォーラム |
| 北海道新聞 | 2005・2・17夕刊 | アルテで写真甲子園の写真展 |
| 北海道新聞 | 2005・3・30 | 空知版・寄附金230万円、整備基金 |
| 北海道新聞 | 2005・4・2 | アルテNPO法人設立 |
| 北海道新聞 | 2005・4・15 | 磯田 |
| 北海道新聞 | 2005・10・26 | 落ち葉ひろい |
| 北海道新聞 | 2005・11・18 | 施設の公募 |
| 北海道新聞 | 2009・7・4 | 空知版・三万人 |
| 北海道新聞 | 2009・10・7 | 空知版・未来奨励賞 |

北海道新聞	2009・10・17	空知版・磯田
北海道新聞	2010・1・6	空知版・総務大臣賞
北海道新聞	2010・6・14	空知版・加藤知美
北海道新聞	2011・11・24	旭川駅市民の寄付で
北海道新聞	2012・7・25夕刊	茶畑和昭、森本毅
北海道新聞	2013・2・19	北海道地域文化選奨
北海道新聞	2013・4・28	閉校、回生
北海道新聞	2013・7・26	空知版・武田真美江
北海道新聞	2013・9・14	栄小学校
北海道新聞	2013・11・20	空知版・旭川駅周辺の清掃
北海道新聞	2013・12・26	空知版・道民税控除の指定NPO法人 13.11～18.12
北海道新聞	2014・4・14夕刊	能登再選
北海道新聞	2014・11・21	文化庁表彰
北海道新聞	2015・6・5	ふらの観光協会
北海道新聞	2015・7・6	「次世代に（伝えたいとの）思いを抱いている」
北海道新聞	2015・10・28	受動喫煙防止条例
北海道新聞	2015・11・3	北島三郎表彰
北海道新聞	2016・4・4	クリスティーズ社
北海道新聞	2016・5・10	ごみの埋め立て処分でメロン等に野獣被害が 80年代
北海道新聞	2017・1・20	富良野塾二期生の山下澄人が芥川賞に
北海道新聞	2017・1・25	「16～17世紀英国演劇」シェイクスピア
北海道新聞	2017・1・29	戦後日本の高度経済成長を支えた石炭
北海道新聞	2017・2・18	美幌町の演劇集団タカトや大空町の劇団そら
毎日新聞	2018・1・16	美唄市コンパクトシティ構想
毎日新聞	2018・1・19	エクセレントNPO大賞受賞
日刊富良野	2000・4・13	工場は象徴的な殿堂（2000年）、日刊富良野新聞
日本経済新聞	2015・8・19	大衆の目線で
産経新聞	2010・3・29	教師にコミュニケーション能力を育成
読売新聞	1999・1・1	基本財産として3,000万円集める必要がある
読売新聞	1999・4・21	空知版・札幌駅妙夢
読売新聞	1999・5・10	市民が支える広場
読売新聞	2010・5・30	美唄のアートは我らが守る
〈第五章〉		
北海道新聞	2018・3・10	飼料用イネ多収で大臣賞受賞
北海道新聞	2011・6・23	地下水保全
北海道新聞	2015・2・13	雪屋
北海道新聞	2015・4・26	タンパク含有率が高く、湿地センター
北海道新聞	2015・9・17	基準地価 2015年

芸術文化主導の自治体政策 (2)

北海道新聞	2015・9・22	フラノマルシェ近隣基準地価5.1%増
北海道新聞	2016・7・1	道内自治体で初となる受動喫煙防止条例
北海道新聞	2016・7・10	シンガポールへ水を輸出
北海道新聞	2016・10・7	不妊治療費42組が産科医から代理申請
北海道新聞	2016・11・5	米誌「ナショナルジオグラフィック」の旅行写真家コンテストで1位。道内NPO法人数1166団体。
北海道新聞	2016・12・1	小水力発電
北海道新聞	2016・12・9	文化芸術の東京一極集中
北海道新聞	2016・12・21	2017年産の主食用米生産数量目標
北海道新聞	2016・12・29	渡り鳥ルート
北海道新聞	2017・1・3	受動喫煙防止条例
北海道新聞	2017・2・4	地方創生拠点整備交付金 文化首都創生館が採択
北海道新聞	2017・3・2	道内の飼料用米作付け面積2,770ha、「そらゆたか」
北海道新聞	2017・3・29	企業版ふるさと納税。コメ販売における市場等を通さずにスーパー等へ直販割合拡大へ
北海道新聞	2017・4・20	発電コスト
北海道新聞	2017・10・14	北海道産米の「ゆめぴりか」が、魚沼産に次ぐ価格。
北海道新聞	2017・12・3	東川米をロシアに輸出する計画。
北海道新聞	2017・12・8	水田大規模化 国営農地再編事業
北海道新聞	2017・12・18	東川米サハリンで好評
北海道新聞	2018・3・10	飼料用イネ多収で大臣賞受賞
北海道新聞	2018・4・3	宮島沼の水面縮小
北海道新聞	2018・4・14	君の椅子に葛尾村が参加
日本経済新聞	2011・8・16	不妊治療健保適用外全額匿名助成
日本経済新聞	2017・3・23	日本語学校在籍数56,317人、法務省(入国管理局)所管
日本経済新聞	2017・5・9	加藤登紀子、百万本のバラ(原曲は、マアラが与えた人生)